

取付説明書 — 総合編 —

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付けをしていただくために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- ウッドデッキ仕様の場合には、各種ウッドデッキ材質に合わせたそれぞれの「エクシオール 自然浴家族 — デッキ編 —」を参照してください。

1

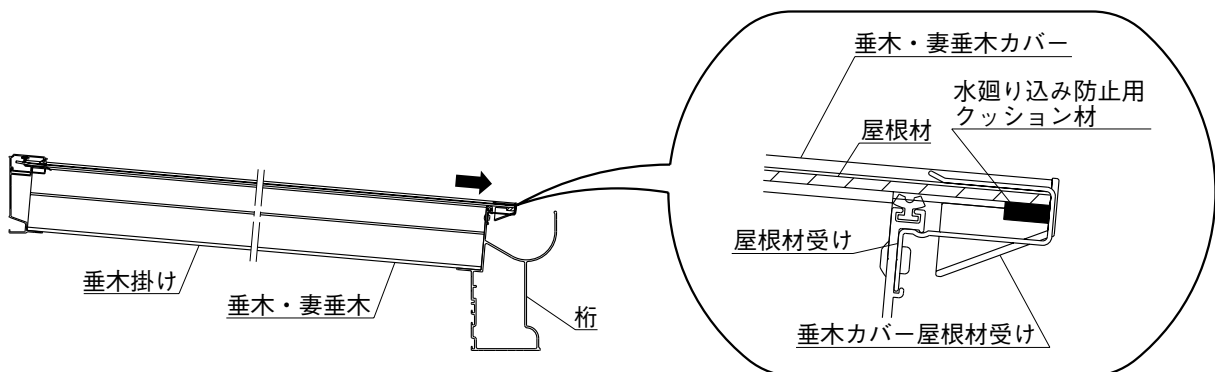
自然浴家族

施工時の重要注意項目

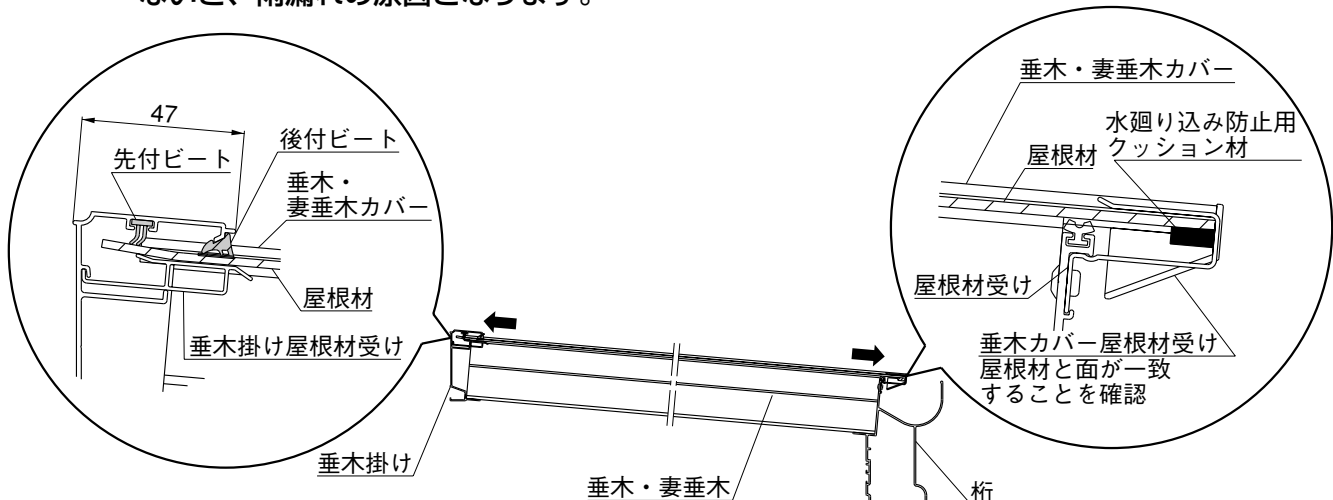
施工のまえにご確認ください

注1 納め(2)・連棟に於きましては、現場切断・加工を伴いますので各項目の詳細説明を必ずお読みください。

注2 屋根材の取付けは桁側の屋根材受けまで引出してセットしてください。
屋根材受けまで引出しないと、先端から水が回り込むおそれがあります。
屋根材の片寄りに注意してください。
屋根材が片寄ると、垂木カバーのセットが不十分になり浮いてしまい、そのまま固定すると吹き上げ力(風)に対し弱くなるおそれがあり、水が侵入するおそれもあります。



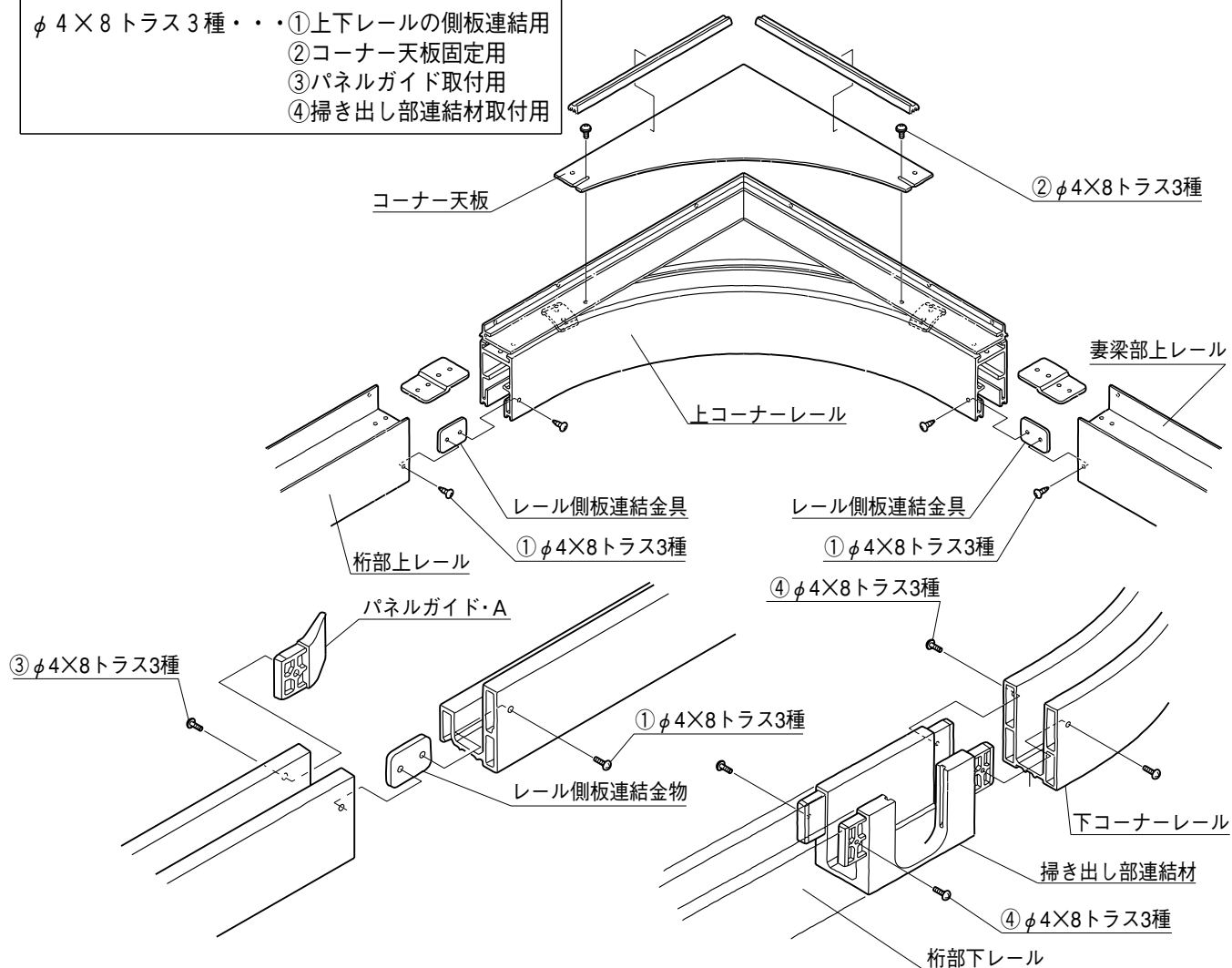
注3 垂木カバーおよび妻垂木カバーは図示のように垂木掛けの中に挿入して施工してください。
垂木カバーおよび妻垂木カバーを垂木掛けの中まで(先付けビートに当たるまで)挿入しないと、雨漏れの原因となります。



施工のまえにご確認ください つづき

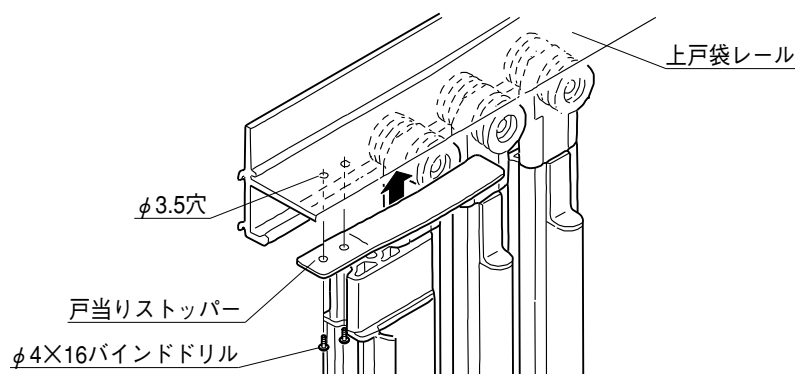
注 3 本体、レール、パネル等エクシオール「自然浴家族」の各部材の組付けにあたって、下記の部所には必ず指定のネジを使用してください。

- φ4×8 トラス 3 種・・・①上下レールの側板連結用
②コーナー天板固定用
③パネルガイド取付用
④掃き出し部連結材取付用

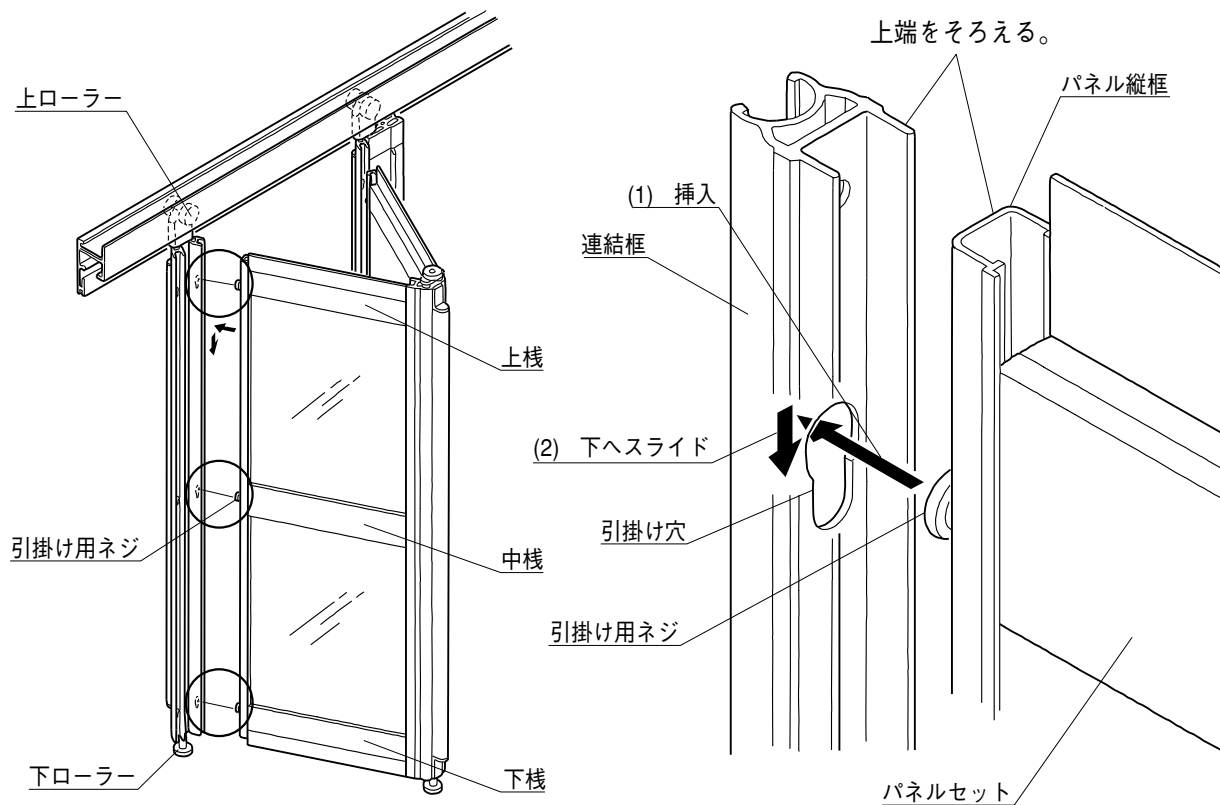


注 4 戸当たりストッパーの取付け

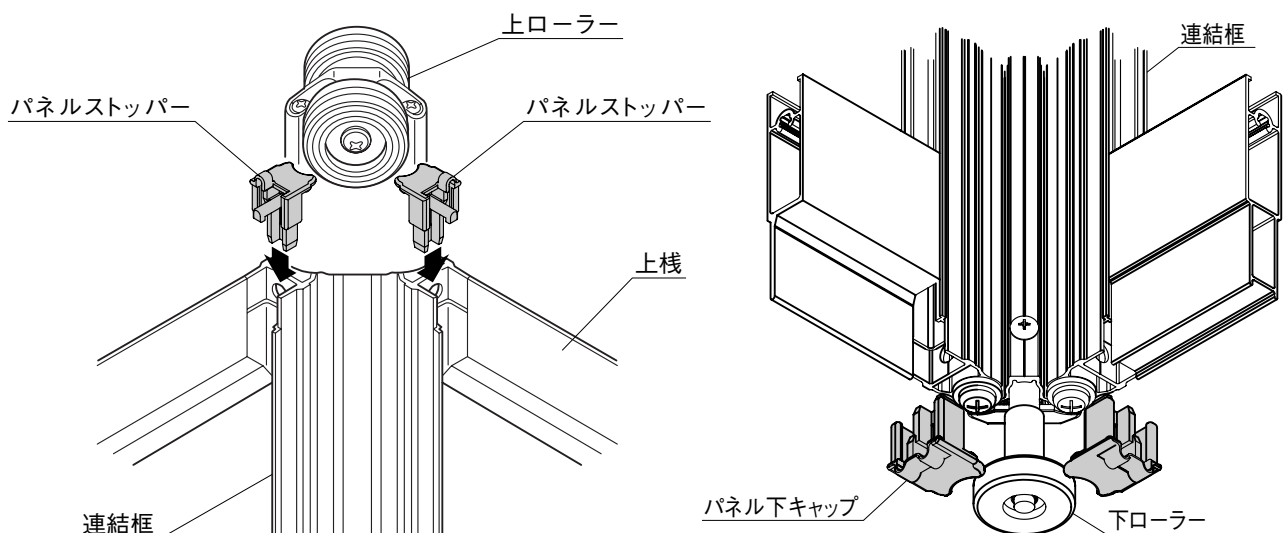
戸袋レール(引っ掛け側)に組付け前に必ず「戸当りストッパー取付説明書」に従って、所定位置にφ5の穴加工を行なってください。また、戸当りストッパーは、パネル吊込み後に必ず取付けてください。所定位置に取付けないと、パネルを閉めるときに戸袋出口でロックして(戸袋内でパネルが広がる為)スムーズに出なくなり、破損の原因となります。



- 注 5** パネルセットの吊込時は、パネル縦框上端と連結框上端とをそろえてから、パネル部を引掛け穴に挿入し下へスライドさせて嵌合させてください。この時必ずパネルの上中下3ヶ所に引掛け用ネジの頭が完全に引っ掛かっていることを確認してください。
引掛け用ネジの頭が完全に引っ掛かっていないと、パネルが脱落したり、破損のおそれがあります。

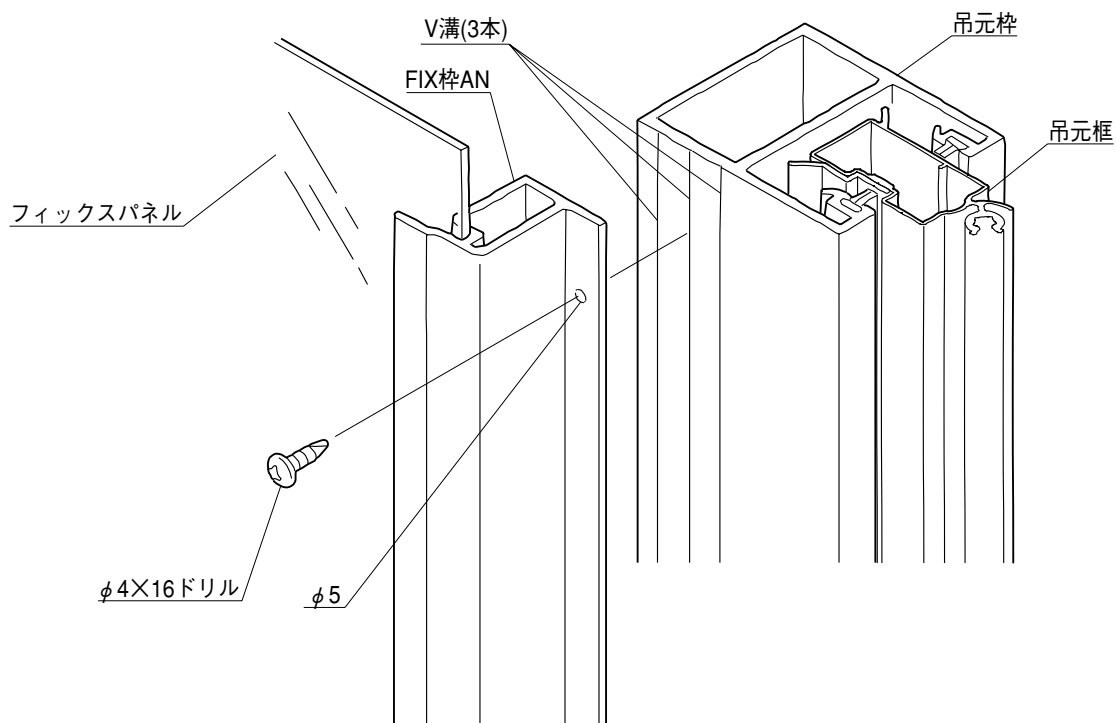


- 注 6** ● 全パネルの吊込みが完了後、連結框上部にパネルストッパーを取付けてください。
パネルストッパーがないと開閉時や地震時にパネルが脱落したり、強風ではずれてケガをするおそれがあります。
● エッジ保護のため、連結框下部にパネル下キャップを取付けてください。

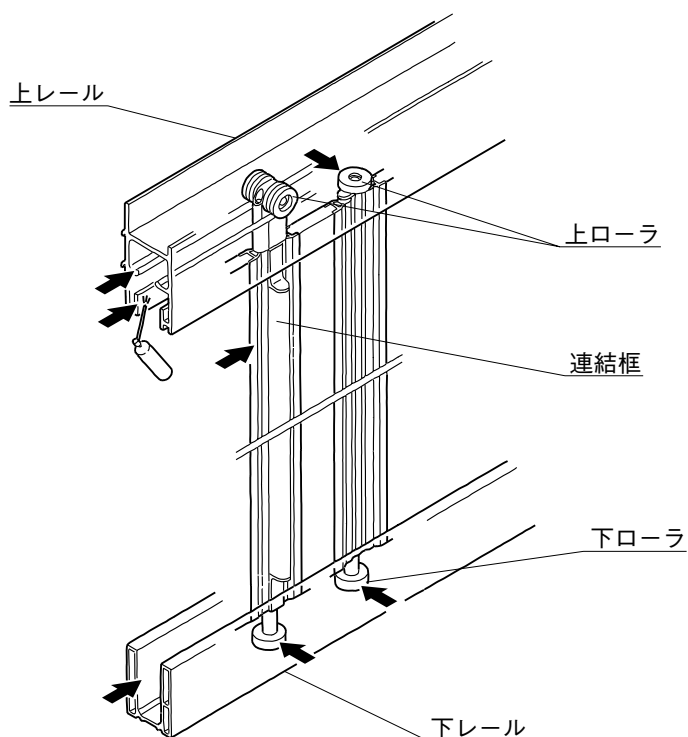


施工のまえにご確認ください つづき

- 注 7** 吊元枠への F I X 枠 A N の固定は、下図のように吊元枠側面の 3 本の V 溝内に納まる位置で固定してください。
V 溝よりはずれると折戸パネルの開閉に不具合を生じるおそれがあります。



- 注 8** 施工完了後、上下レール内、上下ローラー、摺動部に C R C 等の潤滑剤を吹きつけ、パネルがスムーズに開閉できることを確認してください。



2 自然浴家族

セット部品梱包明細

①主柱セット

名 称	員 数
主柱(右)	1
主柱(左)	1
柱カバー	2
樋受け	2
アンカー棒	2

②中間柱セット

名 称	員 数
中間柱	1
柱桁組付金具	1
アンカー棒	1

③桁垂木掛けセット

名 称	員 数			
	1.5間	2 間	2.5間	3 間
桁	1	1	1	1
垂木掛け	1	1	1	1
垂木掛け 屋根材受け	4	5	6	8
垂木掛け 後付ビート材	4	5	6	8
桁キャップB	2	2	2	2
垂木掛けキャップ(右)	1	1	1	1
垂木掛けキャップ(左)	1	1	1	1
エルボ	4	4	4	4
竪樋	1	1	1	1
コーキング剤	1	1	1	1
接着剤	1	1	1	1
水廻り込み防止用クッション材	4	5	6	8
取付説明書 総合編	1	1	1	1
取付説明書 デッキ編	1	1	1	1
取付説明書 (コーキングのお願い)	1	1	1	1
取扱説明書	1	1	1	1
エクシオール本体保証書	1	1	1	1

④垂木セット

名 称	員 数			
	7 尺		9 尺	
	2 本入	3 本入	2 本入	3 本入
垂木	2	3	2	3
垂木カバー	2	3	2	3
中骨	4	6	6	9

⑤妻垂木セット

名 称	員 数	
	7 尺	9 尺
妻垂木(右)	1	1
妻垂木(左)	1	1
妻垂木カバー	2	2
中骨	2	3
妻梁妻垂木組付金具(右)	1	1
妻梁妻垂木組付金具(左)	1	1
妻梁妻垂木組付金具取付ネジ	4	4

⑥妻梁セット

名 称	員 数
妻梁	2
上部方立て(右)	1
上部方立て(左)	1
妻垂木押え縁	2
上部方立て用グレチャン	2
妻梁上部フィックスパッキン	2

⑦妻梁上部フィックスパネルセット

名 称	員 数
妻梁上部フィックスパネル	2

⑧屋根材セット

名 称	員 数	
	2 枚入り	3 枚入り
屋根材	2	3

⑨主柱ベースセット

名 称	員 数
柱ベース(右)	1
柱ベース(左)	1
柱ベース組付ネジ	8
ベース固定ネジ	14

⑩中間柱ベースセット

名 称	員 数
中間柱ベース	1
柱ベース組付ネジ	4
ベース固定ネジ	8

⑪桁レールセット

名 称	員 数
桁部上レール	1
桁部下レール	1
掃き出し部連結材	1
掃き出し部キャップ	1

⑫桁レール 4 尺用・納め(2)用

名 称	員 数
桁部上レール	1
桁部下レール	1
掃き出し部連結材	1
掃き出し部キャップ	1

⑬コーナーレールセット ()内片側コーナー用

名 称	員 数
上コーナーレール	2(1)
下コーナーレール	2(1)
レール吊金具	4(2)
上コーナーレール組付ネジ	5(3)
上レール天板連結金物(B)	4(2)
レール側板連結金物	14(6)

⑭妻梁レールセット

名 称	員 数
妻梁部上レール	2
妻梁部下レール	2

梱包明細書 つづき

16妻梁レールセット 納め(2)用

名 称	員 数
妻梁部上部レール納め(2)用	1
妻梁部下部レール納め(2)用	1
5φ用プッシュボタン	5
妻梁レール加工指示書	1

17コーナー部材セット ()内片側コーナー用

名 称	員 数
コーナー天板	2(1)
コーナーレール吊枠(A)	2(1)
コーナーレール吊枠(B)	2(1)
水切りビート	4(2)
コーナー型紙	1(1)
潤滑剤(CRC)	1(1)

18内収納用戸袋レールセット

名 称	員 数
上戸袋レール(妻梁引掛け側)	1
上戸袋レール(カバー側)	1
下戸袋レール	1
戸袋枠(1)	1
戸袋枠(2)	1
戸袋枠(3)	1
パネルガイド・A	1
パネルガイド・B	1
5φ用プッシュボタン	3
戸当りストッパー	1
上レール天板連結金物(A)	1
上レール天板連結金物(B)	1
レール側板連結金物	2
戸袋枠連結金物(30)	1
戸袋枠連結金物(90)	1
戸当りストッパー取付位置指示書	1
ストッパーガイド	1
ストッパーガイド取付ネジ	1

19外収納用戸袋レールセット

名 称	員 数	
	(1)・(3)	(2)・(4)
上戸袋レール(妻梁引掛け側)	1	1
上戸袋レール(カバー側)	1	1
下戸袋レール	1	1
パネルガイド・A	1	1
5φ用プッシュボタン	3	3
戸当りストッパー	1	1
上レール天板連結金物(A)	1	1
上レール天板連結金物(B)	1	1
レール側板連結金物	2	2
戸当りストッパー取付位置指示書	1	1
上枠カバー	4	3
連結枠カバーA	2	2
連結枠カバーB	2	2
ロック枠カバーA	2	1
ロック枠カバーB	2	1

名 称	員 数	
	(1)・(3)	(2)・(4)
ストッパーガイド	1	1
枠カバー取付ネジ	13	9
ストッパーガイド取付ネジ	1	1

20妻梁レールセットA

名 称	員 数
妻梁部上レールA(引掛け側)	1
妻梁部上レールA(カバー側)	1
妻梁部下レールA	1
パッキン	1
下レール連結材A	1
下レール連結材B	1
戸当りストッパー	1
ストッパーガイド	1
ストッパーガイド取付ネジ	1
上枠カバー	2
連結枠カバーA	1
連結枠カバーB	1
ロック枠カバーA	1
ロック枠カバーB	1

21側面レールセット

名 称	員 数
側面上レール	1
側面下レール	2
掃き出し部連結材	1
掃き出し部キャップ	1
5φプッシュボタン	5
側面レール加工指示書	1

22吊元枠セット

名 称	員 数
吊元枠	1
スモース	1
吊元枠固定ビス	3
スモース固定用ビス	2
スモース固定用ナット	2

23フィックス枠セット

名 称	員 数
F I X 枠A N	2
F I X 枠B(縦)	2
F I X 枠B(横)	4

24フィックスパネルセット

名 称	員 数
F I X パネル	2

25 パネルセット(外収納)

名 称	員 数	
	4 枚入り	6 枚入り
パネル (外収納)	2	3
パネルストッパー	4	6

26 パネルセット(内収納)

名 称	員 数	
	4 枚入り	6 枚入り
パネル(内収納)	2	3
パネルストッパー	4	6

27 ロックパネルセット

名 称	員 数
ロックパネル	1
パネルストッパー	4

28 戸当り吊元框セット A

名 称	員 数
戸当り框(掛け)	1
片引き用戸当り受け A	1
吊元框	1
吊元ストッパー	1

29 戸当り吊元框セット

名 称	員 数
戸当り框(掛け)	1
戸当り框(受け)	1
吊元框	2
吊元ストッパー	2

30 戸当り吊元框セット 片引き用

名 称	員 数
戸当り框(掛け)	1
片引き用戸当り受け	1
吊元框	1
吊元ストッパー	1
アングル	2

31 吊元枠セット A

名 称	員 数
吊元枠 A	1

32 錠セット

名 称	員 数		
	1 個入り	2 個入り	3 個入り
シリンダー錠	1	2	3
化粧リング	1	2	3
サムターン	1	2	3
シリンダー錠取付ネジ	1	2	3
化粧リング取付ネジ	2	4	6
サムターン取付ネジ	1	2	3
錠	3	3	3

33 連結框セット

名 称	員 数		
	1 本入り	4 本入り	5 本入り
連結框	1	4	5

34 シングルパネルセット

名 称	員 数
シングルパネル	1
パネルストッパー	2

35 連棟用部品セット

名 称	員 数
桁連結材	1
垂木掛け連結金具	1
桁連結ネジ	22
妻梁・柱取付金具取付ネジ	12
垂木掛け連結金具取付ネジ	10

36 連棟用妻垂木カバーセット

名 称	員 数
連棟用妻垂木カバー	1

37 ネジセット

名 称	員 数	
	ネジセット1	ネジセット2
φ 4×8 トラス 3 種(D=8)	70	70
φ 4×12 トラス 3 種(D=8)	100	120
φ 4×14 トラス 3 種(D=8)	85	130
平座金、樹脂パッキン付		
φ 4×12 六角フランジ付 1 種	21	27
φ 4×16 バインドドリル	80	80
φ 6×70 六角コーチスクリュー	11	13
φ 4.1×32 丸木ネジ	55	55
φ 4.5×63 丸木ネジ	15	15
φ 4×8 特サラ 3 種(D=6)	10	—

38 側面部材用ネジセット

名 称	員 数
φ 4×12 トラス 1 種(D=8)	45
φ 4×14 バインドドリル	25
φ 4.1×32 丸木ネジ	10
φ 4.1×45 サラ木ネジ	5

39 方立セット

名 称	員 数
方立	2
方立溝フタ	2
中柱 (A) 取付アングル	2
中柱 (A) 取付金具	4

エクシオール 自然浴家族 INDEX

1	施工前の重要確認事項	1
2	セット部品梱包明細	5
3	基本寸法図	10
3-1	1.5間×7尺 基本寸法図	10
3-2	2間×7尺 基本寸法図	11
3-3	2.5間×7尺 基本寸法図	12
3-4	3間×7尺 基本寸法図	13
3-5	1.5間×9尺 基本寸法図	14
3-6	2間×9尺 基本寸法図	15
3-7	2.5間×9尺 基本寸法図	16
3-8	3間×9尺 基本寸法図	17
4	テラス仕様の床施工方法	18
4-1	土間コンクリート打ち	19
4-2	柱位置出し	19
4-3	テラス面仕上げ	20
5	本体の施工方法	21
5-1	垂木掛け・上部方立の取付け	22
5-2	柱の建て込み	23
5-3	妻梁・桁の取付け	24
5-4	垂木・妻垂木および中骨の取付け	26
5-5	柱カバー・樋受けの取付け	27
5-6	妻梁上部フィックスパネルの取付け	28
5-7	屋根材の取付け	28
5-8	連棟	30
6	上下レールの施工方法(両開き)	37
6-1	上レールの取付け(桁部上レール、上コーナーレール、妻梁部上レール)	38
6-2	上戸袋レール(妻梁引掛け側)の取付け	39
6-3	下レールの取付け(桁部下レール、下コーナーレール、妻梁部下レール)	40
6-4	戸当り框・連結框・吊元框の吊込み	41
6-5	上戸袋レール(カバー側)の取付け	42
6-6	戸袋枠の取付け	43
7	パネルの施工方法(両開き)	44
7-1	戸当り框への錠の取付け	45
7-2	パネルの吊込み	46
7-3	戸当りストッパー及びストッパーガイドの取付け	47
7-4	パネル上枠への戸袋水切りカバーの取付け(外収納のみ)	48
7-5	フィックスパネルの取付け	49
7-6	パネルの調整	50
8	納め(2)仕様上下レールの施工方法	52
8-1	妻梁レール納め(2)用・側面レール加工	53
8-2	各レール納まりおよび片引き戸当り受けの取付け	54
9	納め(2)仕様パネルの施工方法	55
9-1	戸当り框への錠の取付け	56
9-2	戸当りストッパーおよびストッパーガイドの取付け	57
9-3	フィックスパネルの取付け	58
9-4	側面部材すべてF I Xの場合の取付け	59

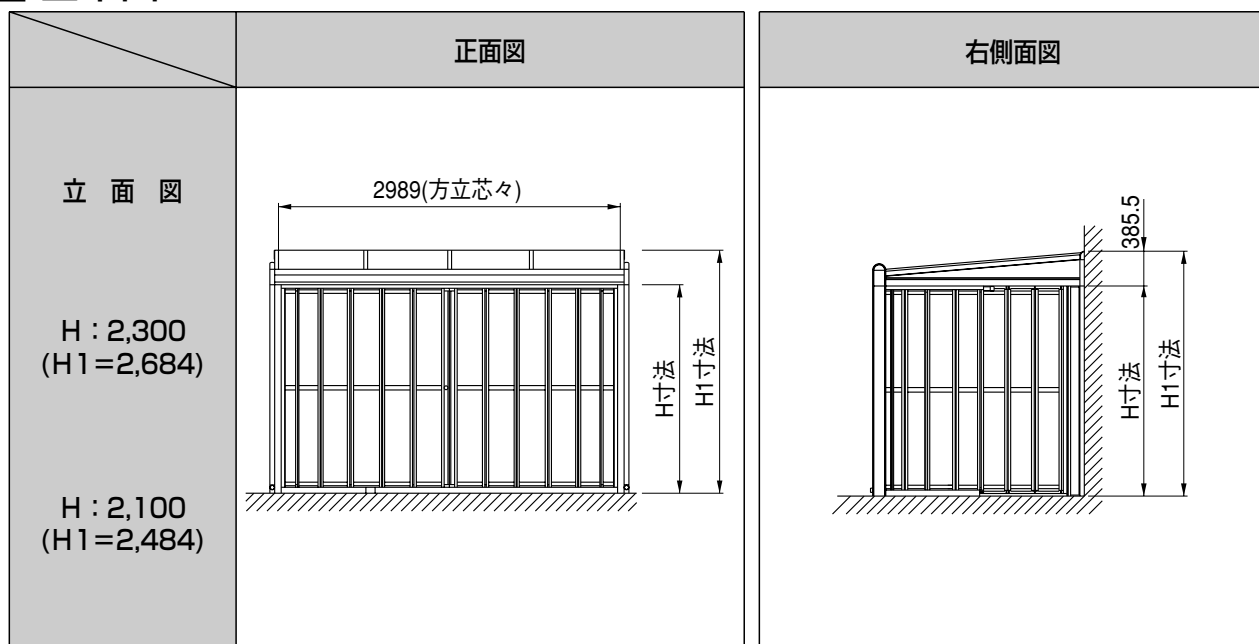
10	オプションの施工方法 下レール調整金具の取付け(10ヶ入)	61
11	形材一覧表	63
12	自然浴家族取付寸法図	65
13	自然浴家族出幅断面納まり図	66
14	自然浴家族間口断面納まり図	68
15	チェックリスト	70

3 自然浴家族

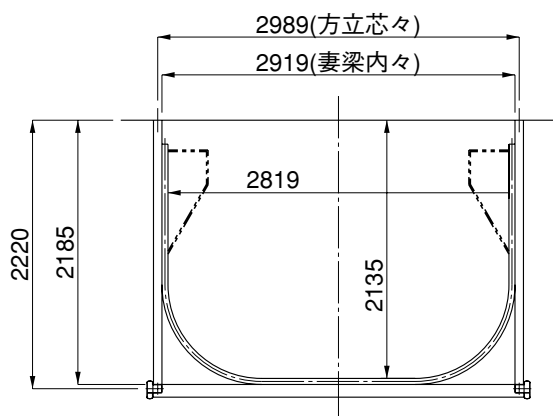
基本寸法図

3-1 1.5間×7尺 基本寸法図

① 基本図



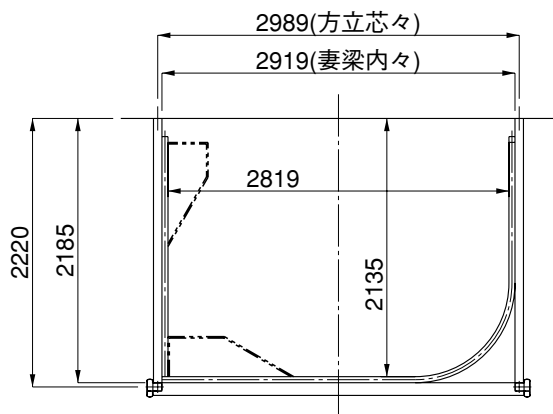
② 両開き平面図



<注意>

- 外収納仕様の場合は、戸袋枠不要。
- 内収納仕様で一段張りデッキ仕様の場合は戸袋枠不要。
- 内収納仕様で二段張りデッキ仕様の場合は戸袋枠が必要。

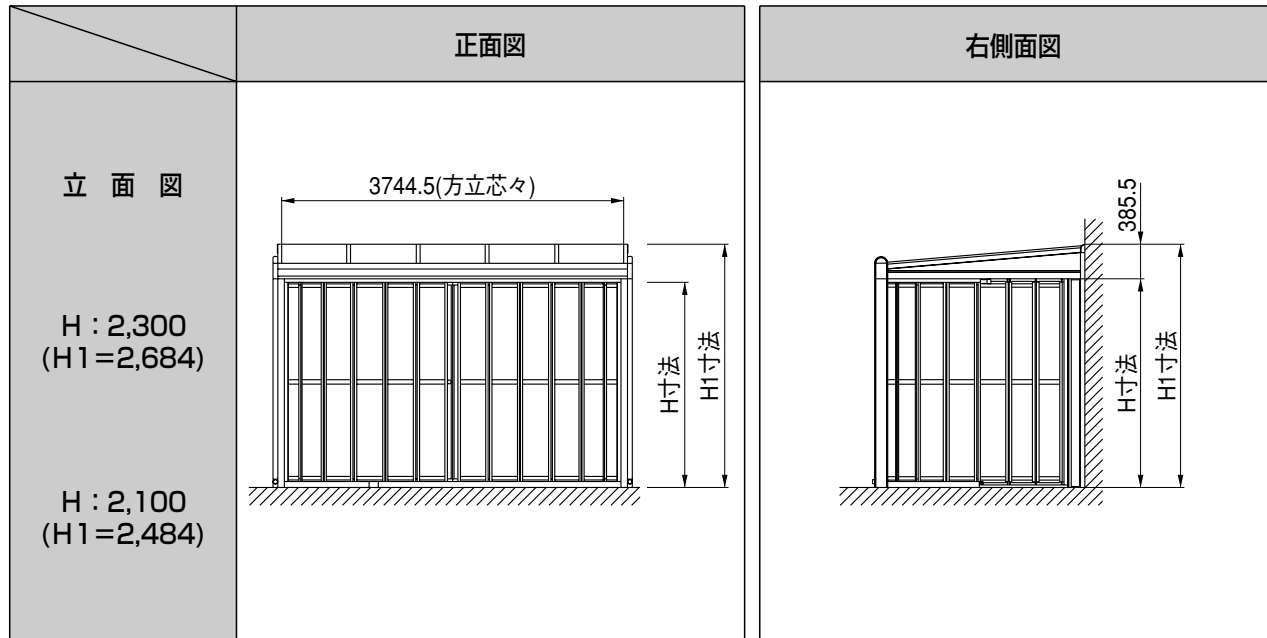
③ 納め(2)平面図



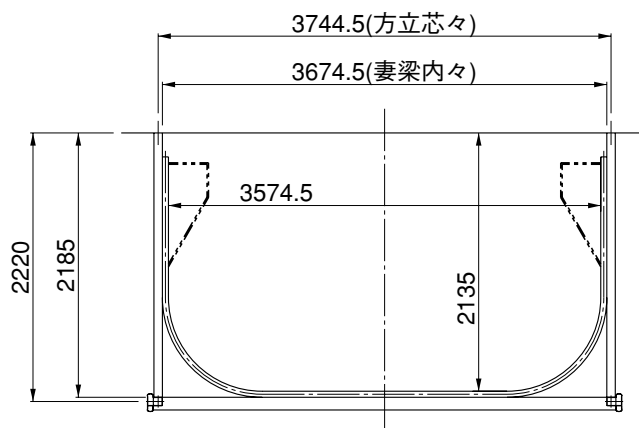
ウッドデッキ仕様の基礎伏図は各種デッキの材質に合わせたそれぞれの「エクシオール 自然浴家族 ーデッキ編ー」を参照してください。

3-2 2間×7尺 基本寸法図

① 基本図



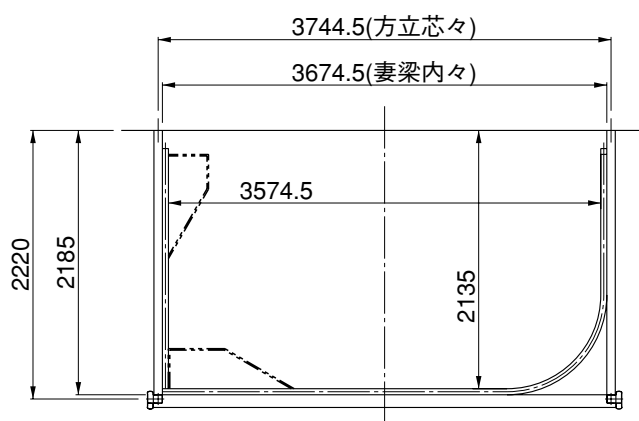
② 両開き平面図



<注 意>

- 外収納仕様の場合は、戸袋枠不要。
- 内収納仕様で一段張りデッキ仕様の場合は戸袋枠不要。
- 内収納仕様で二段張りデッキ仕様の場合は戸袋枠が必要。

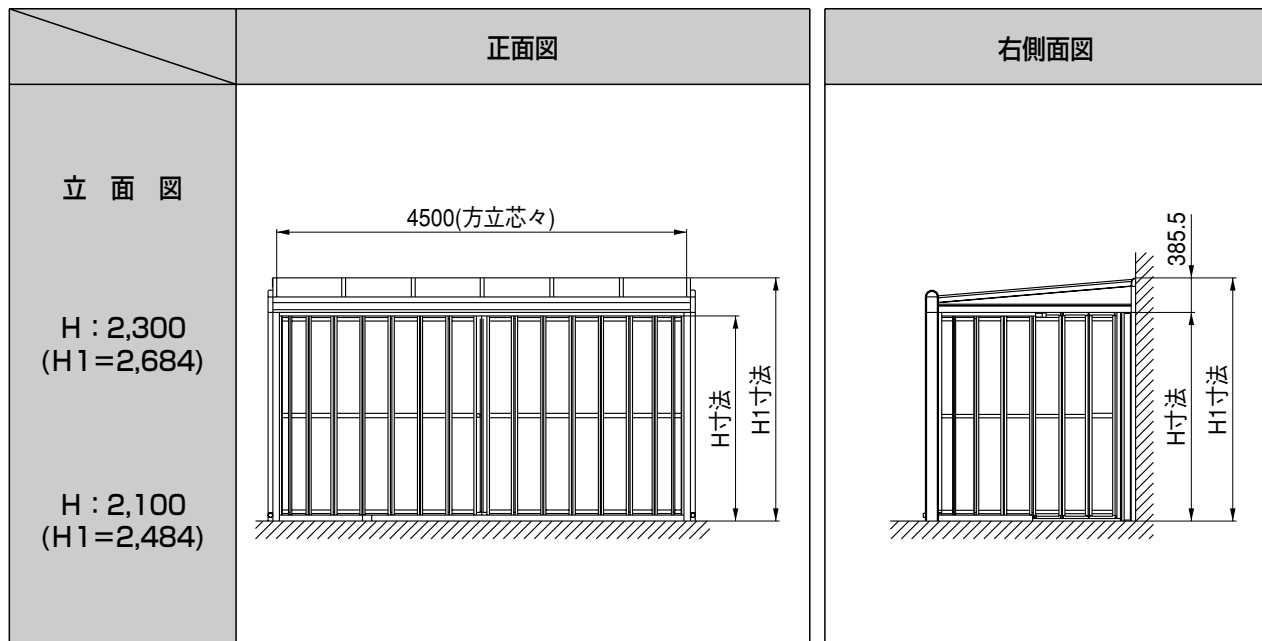
③ 納め(2)平面図



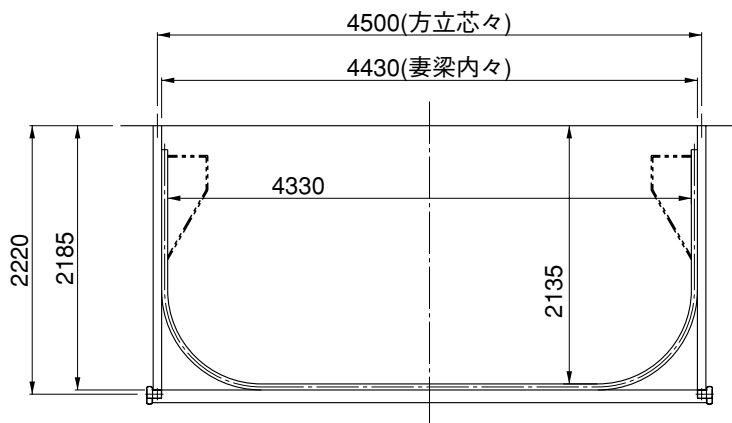
ウッドデッキ仕様の基礎伏図は各種デッキの材質に合わせたそれぞれの「エクシオール 自然浴家族 ーデッキ編ー」を参照してください。

3-3 2.5間×7尺 基本寸法図

① 基本図



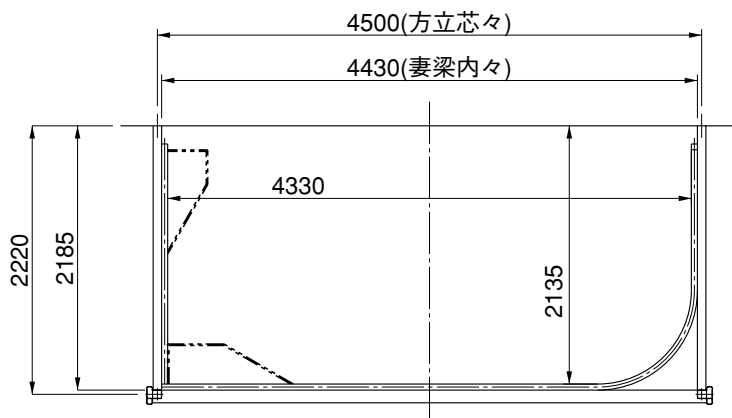
② 両開き平面図



<注 意>

- 外収納仕様の場合は、戸袋枠不要。
- 内収納仕様で一段張りデッキ仕様の場合は戸袋枠不要。
- 内収納仕様で二段張りデッキ仕様の場合は戸袋枠が必要。

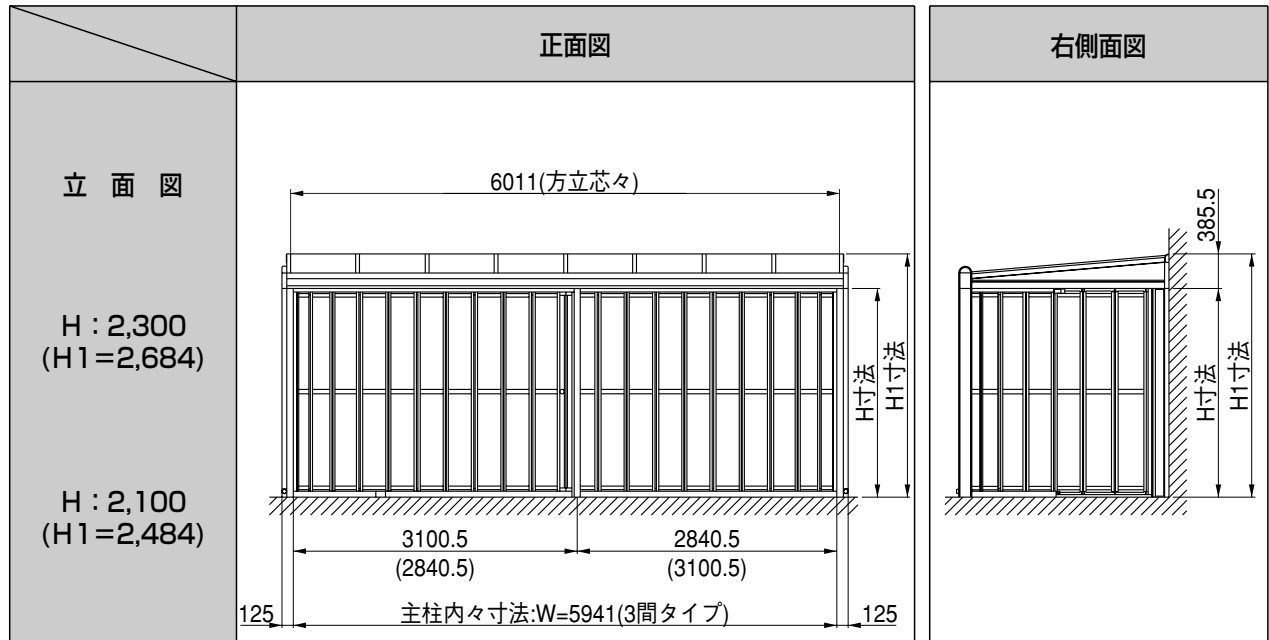
③ 納め(2)平面図



ウッドデッキ仕様の基礎伏図は各種デッキの材質に合わせたそれぞれの「エクシオール 自然浴家族 ーデッキ編ー」を参照してください。

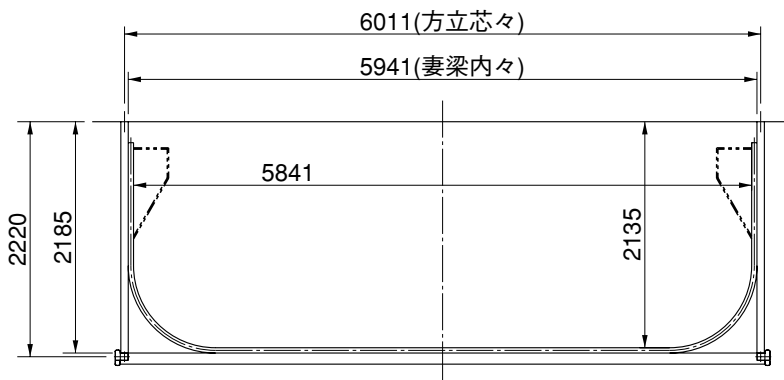
3-4 3間×7尺 基本寸法図

① 基本図



中間柱は間口中心から左右どちらかに 130mm ずらして施工してください。
(間口中心に取付けると外側からの施錠ができなくなります。)

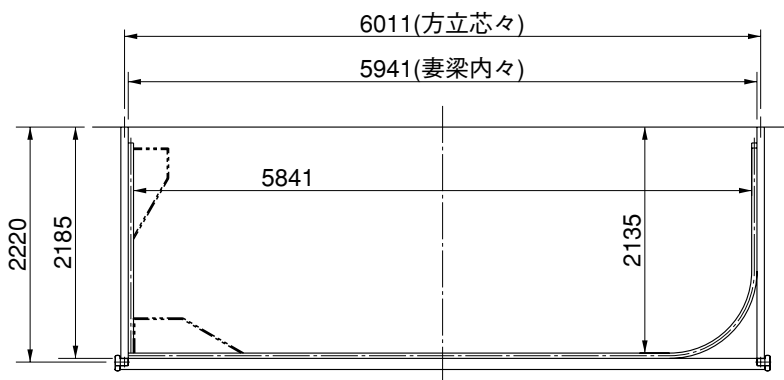
② 両開き平面図



< 注 意 >

- 外収納仕様の場合は、戸袋枠不要。
- 内収納仕様で一段張りデッキ仕様の場合は戸袋枠不要。
- 内収納仕様で二段張りデッキ仕様の場合は戸袋枠が必要。

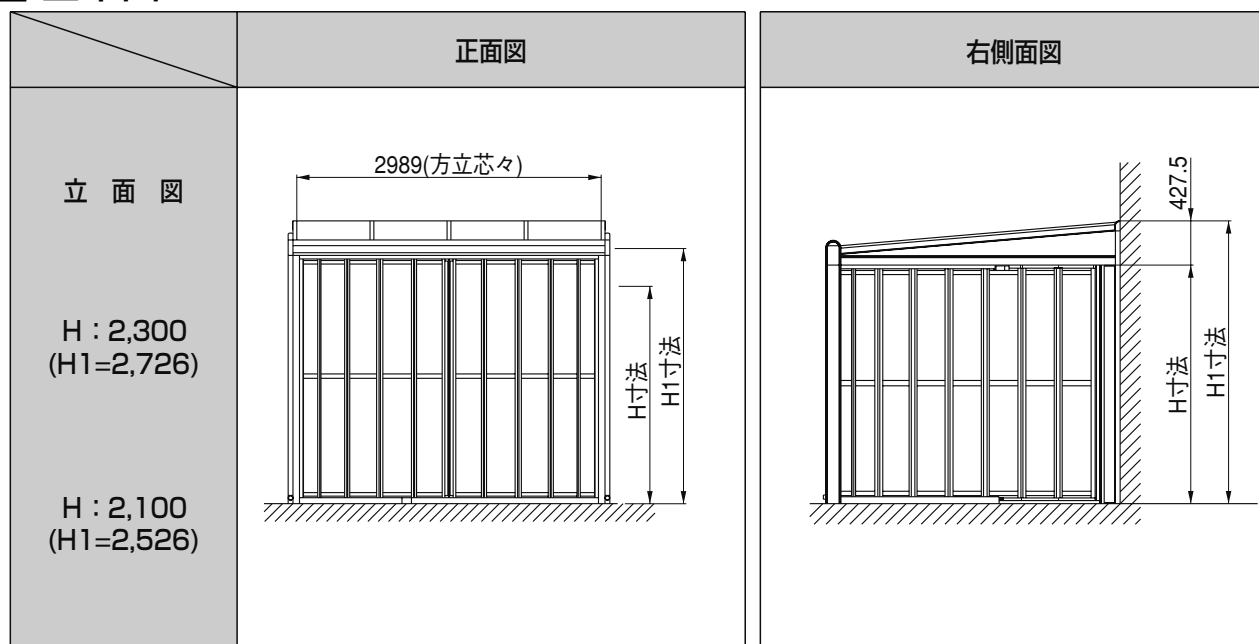
③ 納め(2)平面図



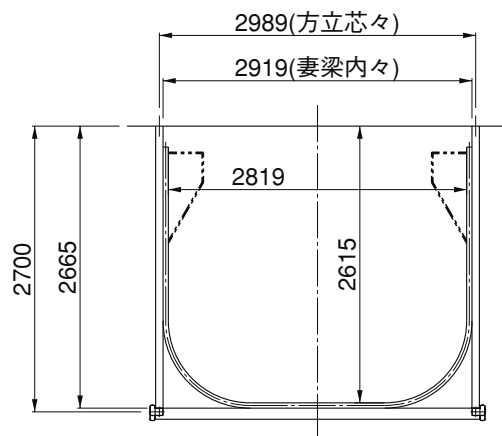
ウッドデッキ仕様の基礎伏図は各種デッキの材質に合わせたそれぞれの「エクシオール 自然浴家族 ーデッキ編ー」を参照してください。

3-5 1.5間×9尺 基本寸法図

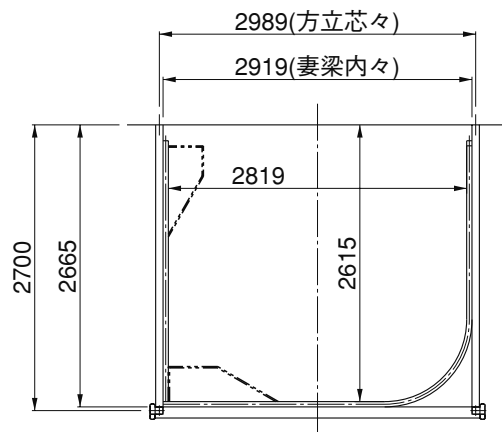
① 基本図



② 両開き平面図



③ 納め(2)平面図



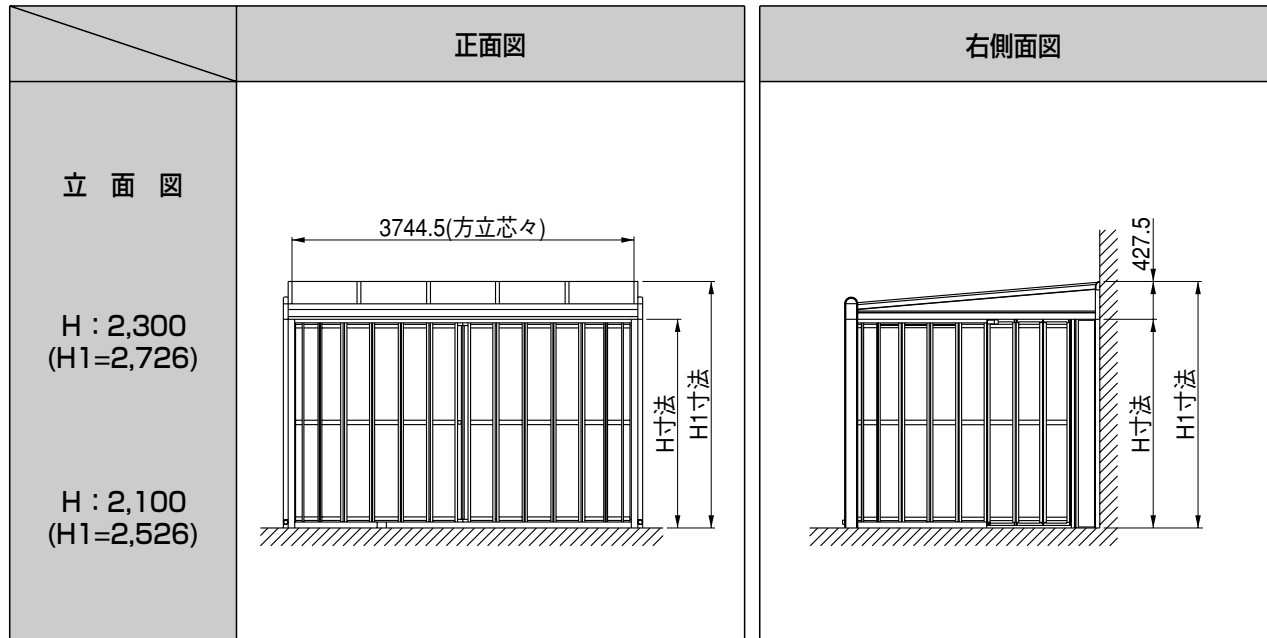
< 注 意 >

- 外収納仕様の場合は、戸袋枠不要。
- 内収納仕様で一段張りデッキ仕様の場合は戸袋枠不要。
- 内収納仕様で二段張りデッキ仕様の場合は戸袋枠が必要。

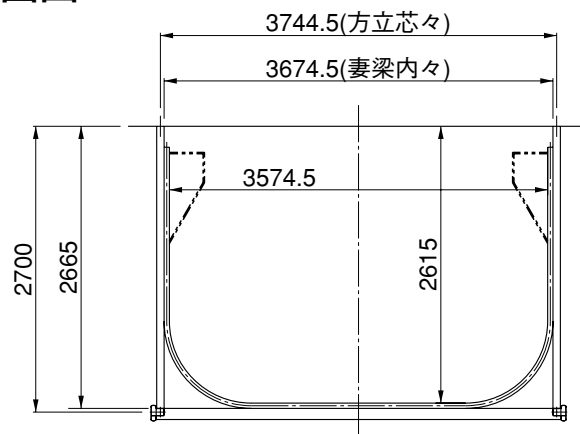
ウッドデッキ仕様の基礎伏図は各種デッキの材質に合わせたそれぞれの「エクシオール 自然浴家族 ーデッキ編ー」を参照してください。

3-6 2間×9尺 基本寸法図

① 基本図



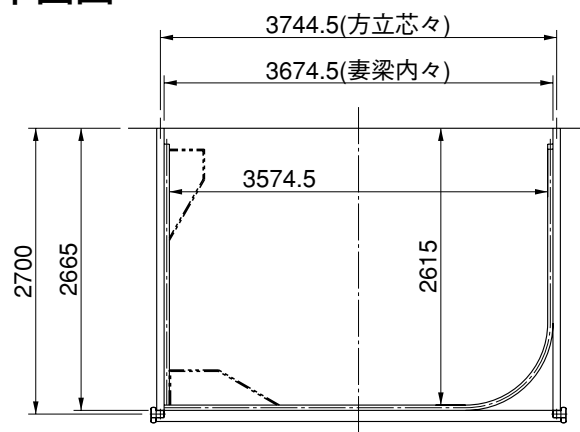
② 両開き平面図



<注意>

- 外収納仕様の場合は、戸袋枠不要。
- 内収納仕様で一段張りデッキ仕様の場合は戸袋枠不要。
- 内収納仕様で二段張りデッキ仕様の場合は戸袋枠が必要。

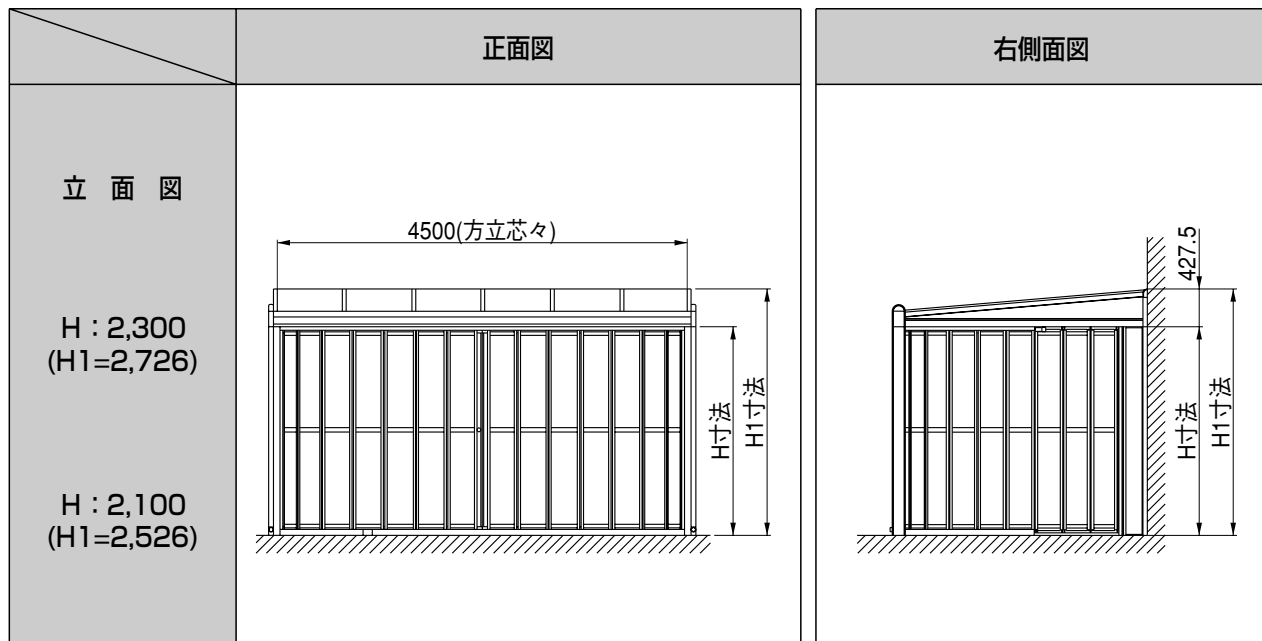
③ 納め(2)平面図



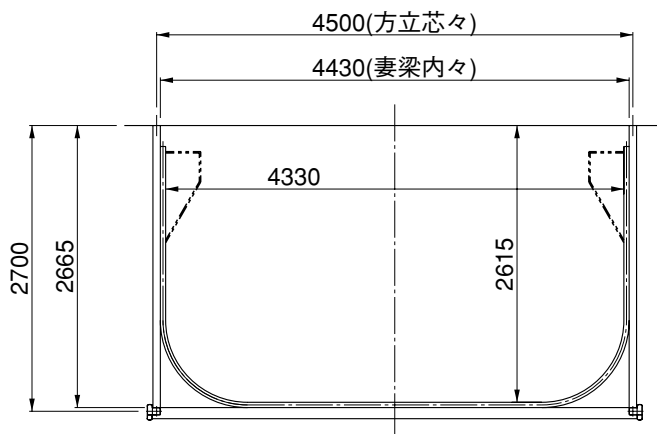
ウッドデッキ仕様の基礎伏図は各種デッキの材質に合わせたそれぞれの「エクシオール 自然浴家族 ーデッキ編ー」を参照してください。

3-7 2.5間×9尺 基本寸法図

① 基本図



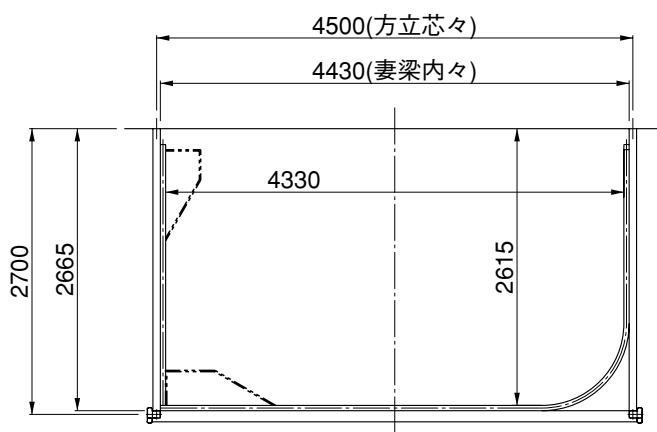
② 両開き平面図



<注 意>

- 外収納仕様の場合は、戸袋枠不要。
- 内収納仕様で一段張りデッキ仕様の場合は戸袋枠不要。
- 内収納仕様で二段張りデッキ仕様の場合は戸袋枠が必要。

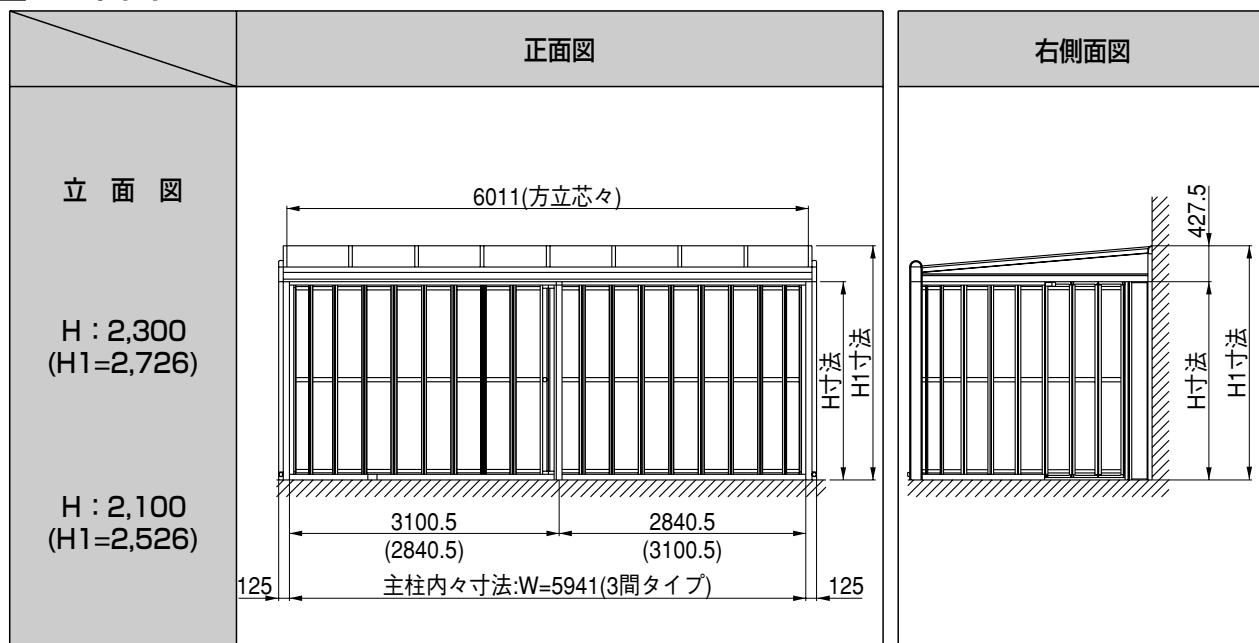
③ 納め(2)平面図



ウッドデッキ仕様の基礎伏図は各種デッキの材質に合わせたそれぞれの「エクシオール 自然浴家族 ーデッキ編ー」を参照してください。

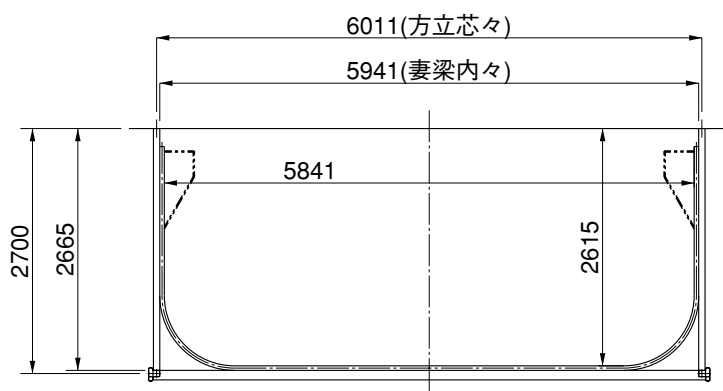
3-8 3間×9尺 基本寸法図

① 基本図



中間柱は間口中心から左右どちらかに 130mm ずらして施工してください。
(間口中心に取付けると外側からの施錠ができなくなります。)

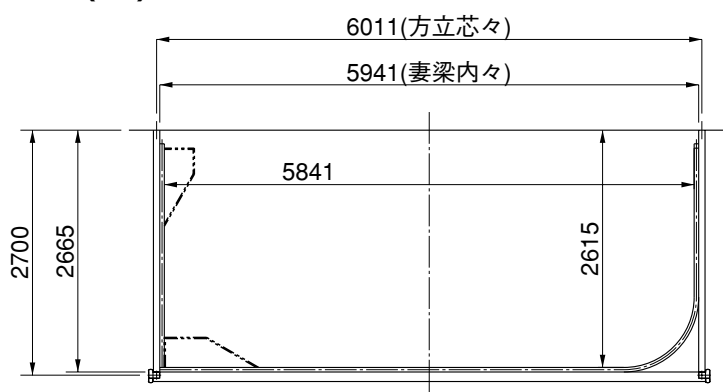
② 両開き平面図



<注 意>

- 外収納仕様の場合は、戸袋枠不要。
- 内収納仕様で一段張りデッキ仕様の場合は戸袋枠不要。
- 内収納仕様で二段張りデッキ仕様の場合は戸袋枠が必要。

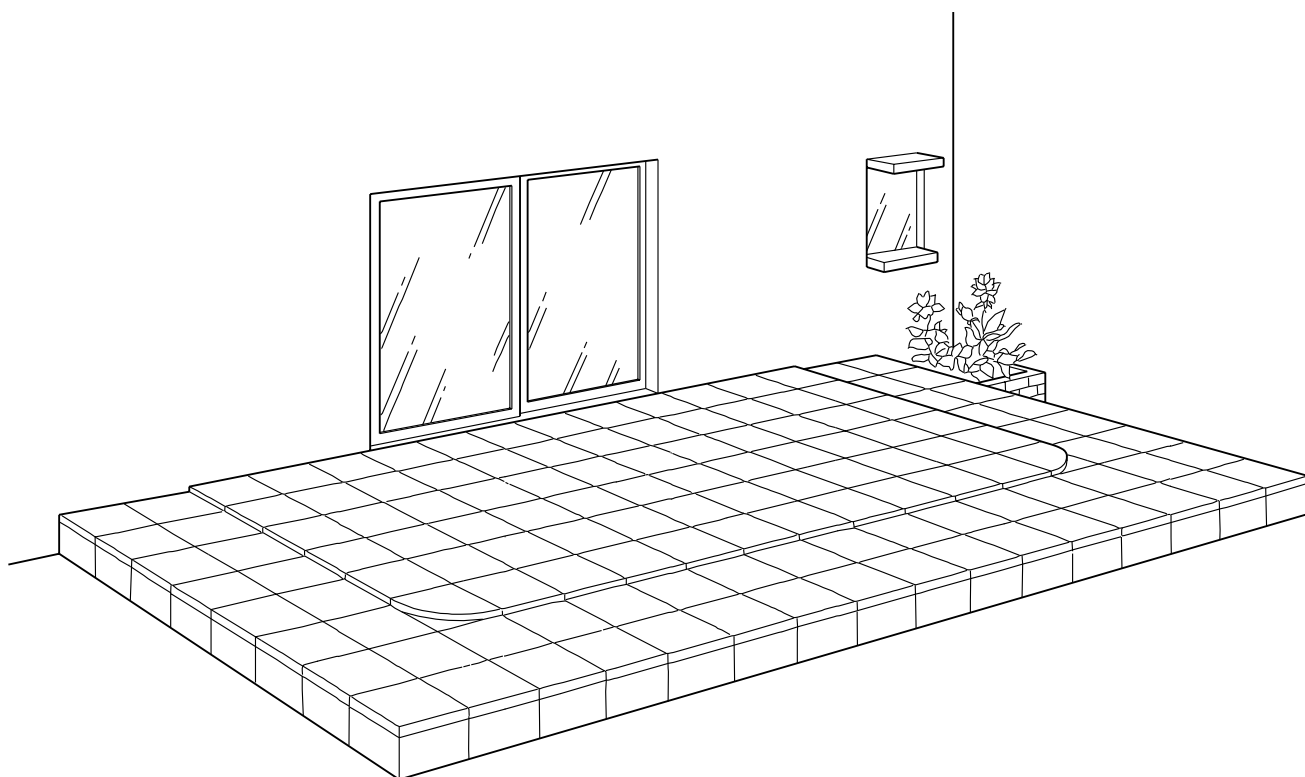
③ 納め(2)平面図



ウッドデッキ仕様の基礎伏図は各種デッキの材質に合わせたそれぞれの「エクシオール 自然浴家族 ーデッキ編ー」を参照してください。

4 自然浴家族

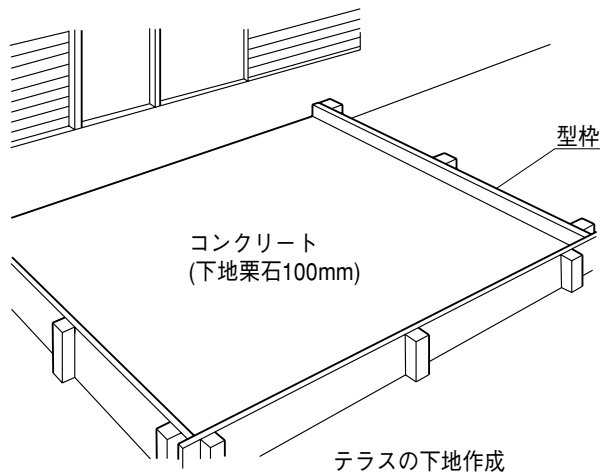
テラス仕様の床施工方法



<注 意>

- ウッドデッキ仕様の床施工は、各種ウッドデッキ材質に合わせたそれぞれの「エクシオール 自然浴家族 ーデッキ編ー」を参照してください。

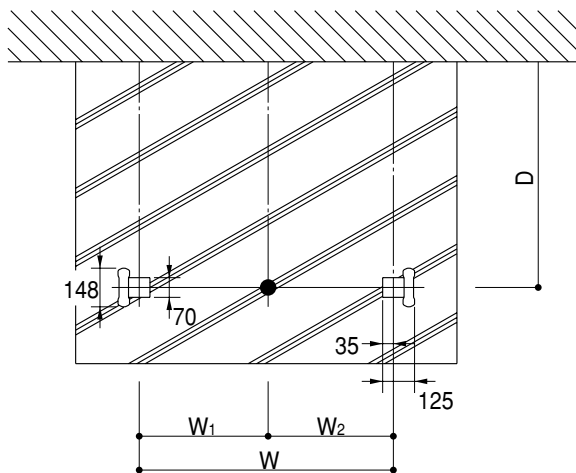
4-1 土間コンクリート下打ち



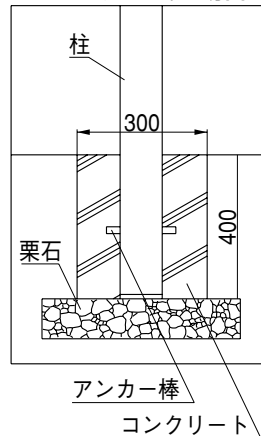
- 水盛器で床レベルを合わせてから下地栗石を敷きコンクリートを下打ちする。

4-2 柱位置出し

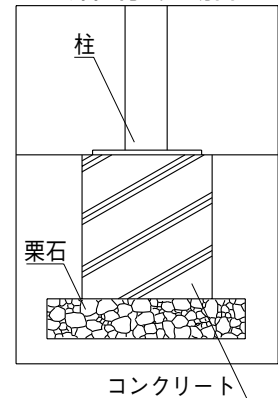
- ※間口3間タイプは●印の中間柱が必要。
- ※中間柱の位置はセンターから130mmずらした所に施工してください。



埋め込み式の場合



床直付式の場合



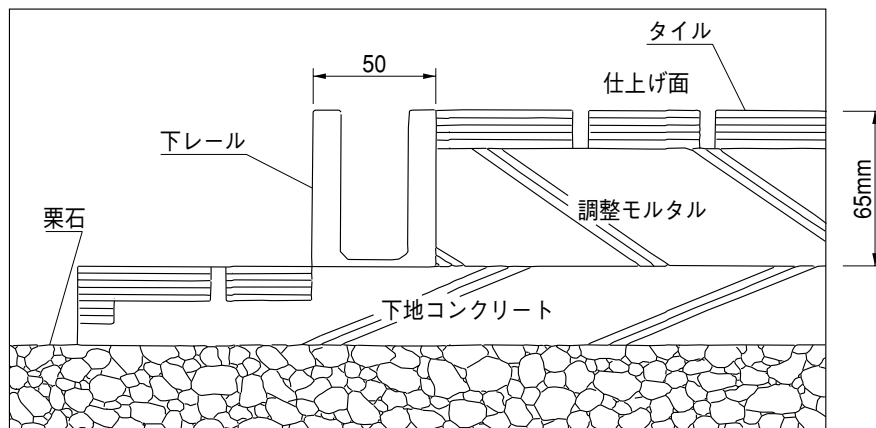
テラス仕様の場合、「柱位置出し・レベル出し」してから、本体の組立て、下レール位置出し取付け後、床の施工をしてください。

柱位置出し寸法

タイプ	間口×出幅	出幅9尺D=2.700mm		出幅7尺D=2.220mm	
		W寸法	W ₁ 寸法	W寸法	W ₁ 寸法
間口1.5間		2989mm		2989mm	
間口2間		3744.5mm		3744.5mm	
間口2.5間		4500mm		4500mm	
間口3間		6011mm	3135.5mm	6011mm	3135.5mm

4-3 テラス面仕上げ

① タイル張り仕上げの場合



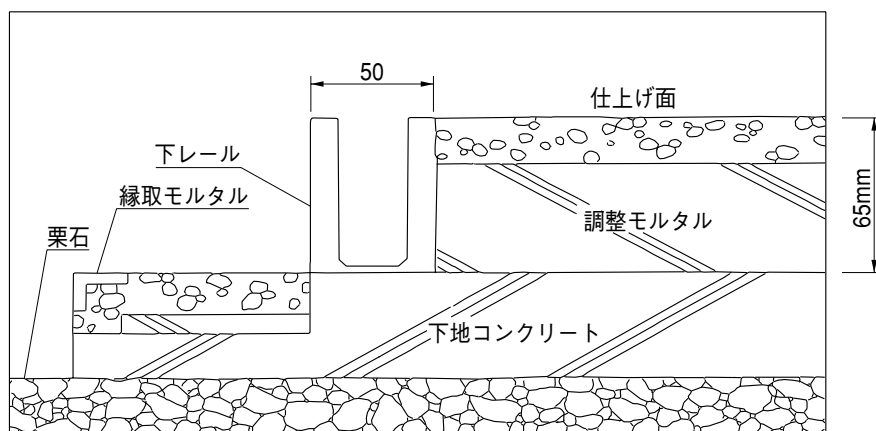
施工手順

- ①調整モルタル
 - ②タイル張り
 - ③目地止め
 - ④床面仕上げ
- ※タイル10～20mm厚

※レール内面に調整モルタルを打つ場合は、モルタルの硬化膨張により外に強くレールが押され、位置ズレや倒れが生じやすいのでレールは強固に固定してください。

② 洗い出し仕上げの場合

仕上げ断面



床仕上げ面

タイル	10～20mm厚
洗い出し	20～30mm厚
モルタル	10～15mm厚

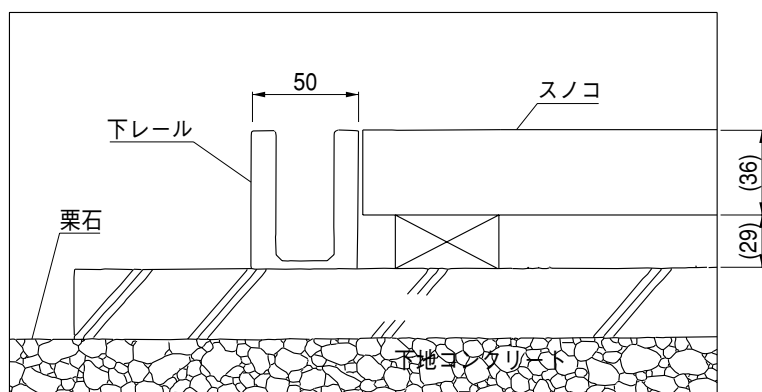
※調整モルタル 各床仕上げにより厚みを調整する。

※洗い出し20～30mm厚

※レール内面に調整モルタルを打つ場合は、モルタルの硬化膨張により外に強くレールが押され、位置ズレや倒れが生じやすいのでレールは強固に固定してください。

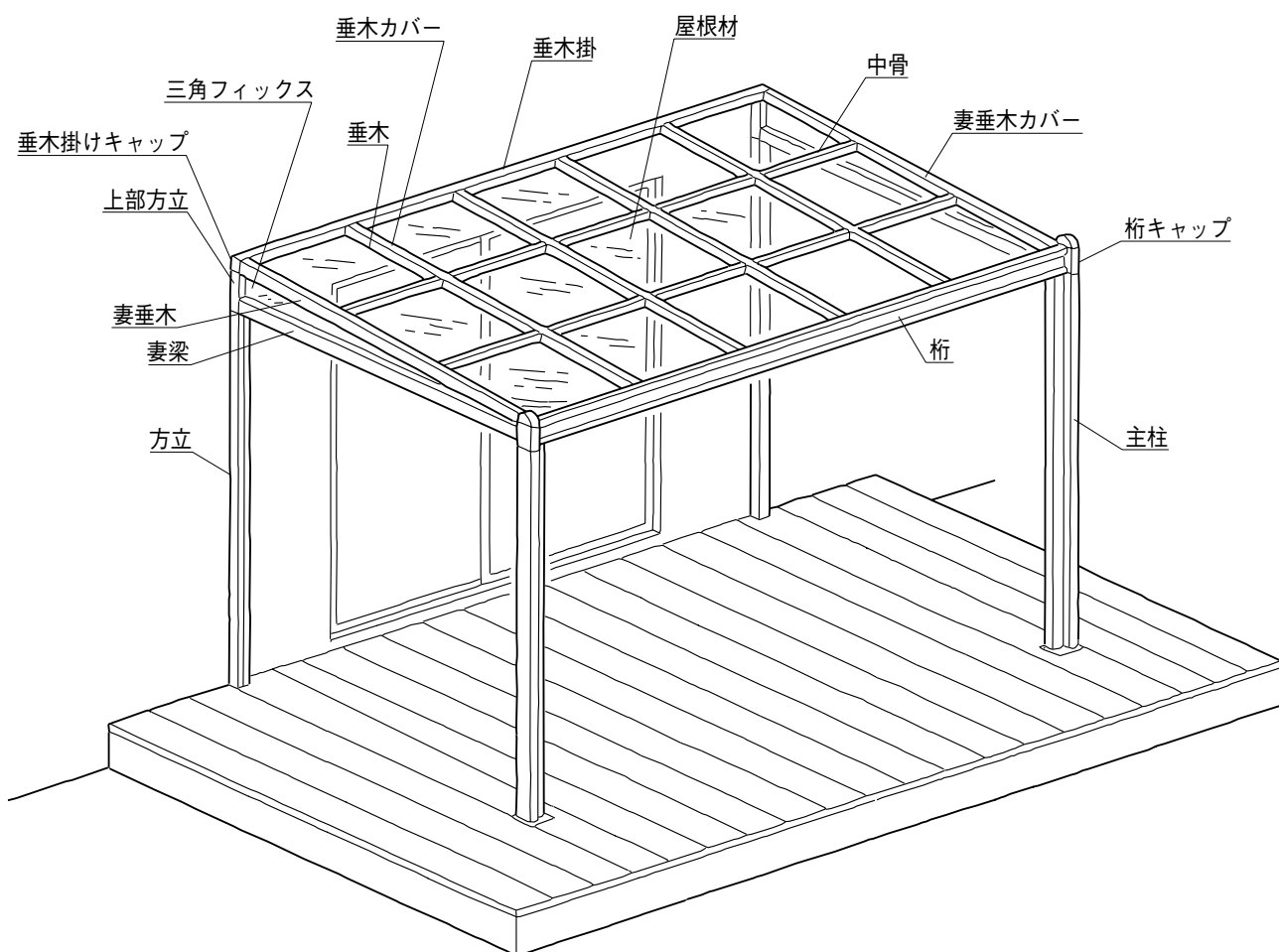
③ コンクリート+スノコ仕上げの場合

仕上げ断面



5 自然浴家族

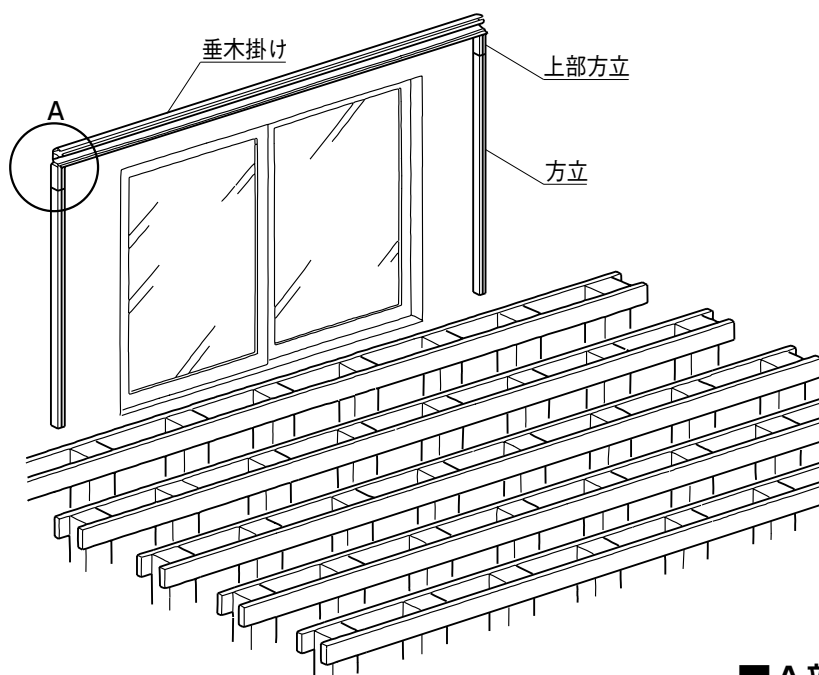
本体の施工方法



<注意>

- 方立はテラス仕様での取付けはありません。

5-1 垂木掛け・上部方立・方立の取付け



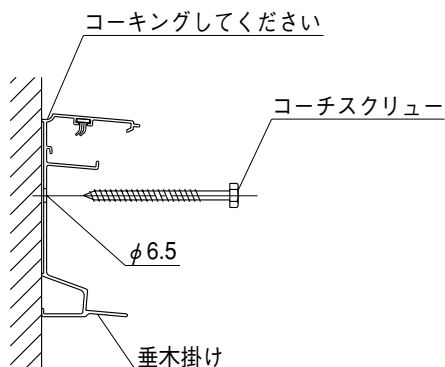
●P81を参照して垂木掛けを各サイズごとに位置出しをして、に垂木掛け中央のV溝部に $\phi 6.5$ の穴をあけコーチスクリューにて固定してください。このとき垂木掛けは、躯体側の柱または間柱等の構造部材に固定してください。

●垂木掛け上部方立組付金具に上部方立を組付けた後、躯体に取付けてください。

①「垂木掛け、上部方立組付ネジ($\phi 4 \times 12$ トラス3種)」「垂木掛け取付コーチスクリュー」「上部方立取付ネジ($\phi 4.5 \times 63$ 丸木ネジ)」を使用します。

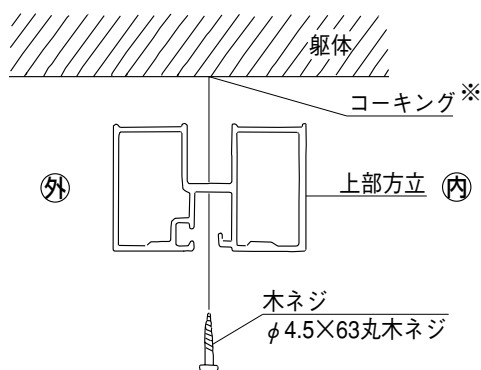
1. 上部方立および方立の「内」「外」に注意してください。
2. 「垂木掛け」「上部方立」「方立」の「水平」「垂直」に注意してください。
3. 躯体と垂木掛けのスキ間にコーキングしてください。

●垂木掛けの水平を出しコーチスクリューで躯体補強部に止めてください。

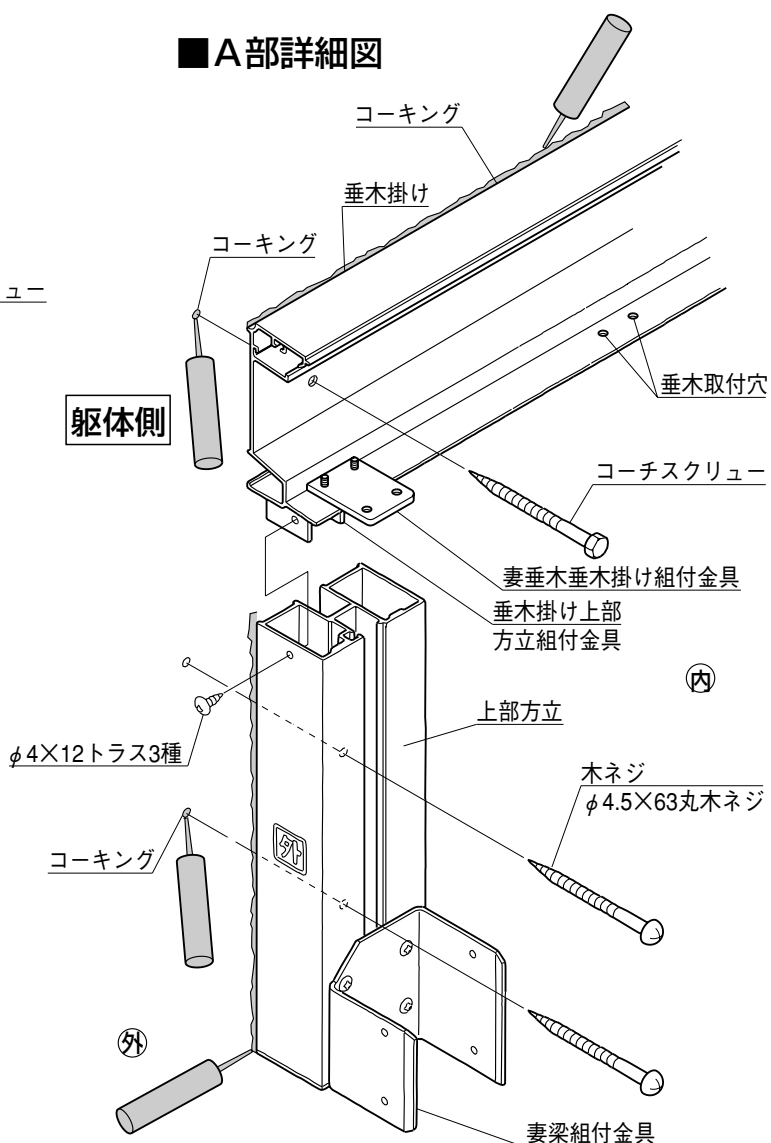


●上部方立および方立の垂直を出し丸木ネジで躯体の補強部に止めてください。

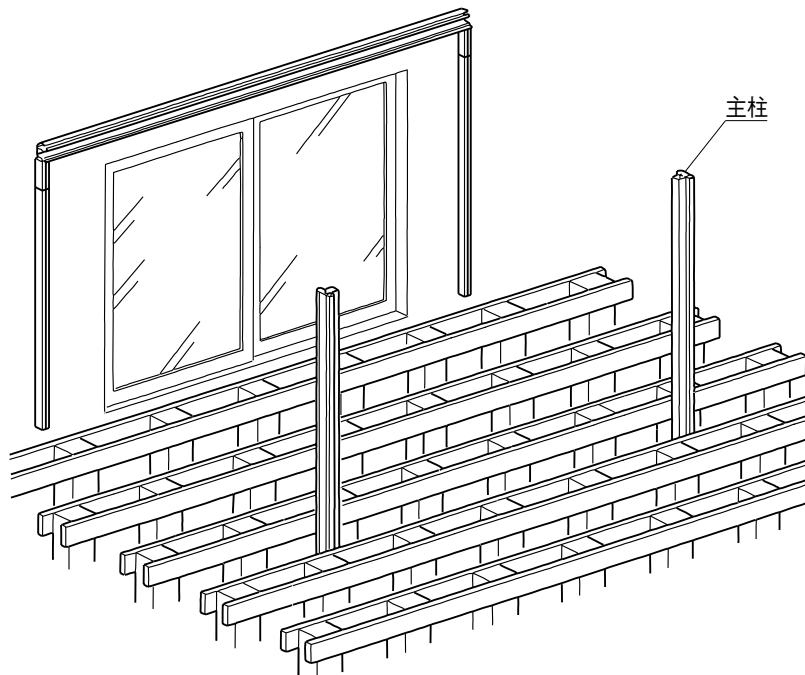
※躯体の下穴はコーキングで充てんします。



■ A部詳細図

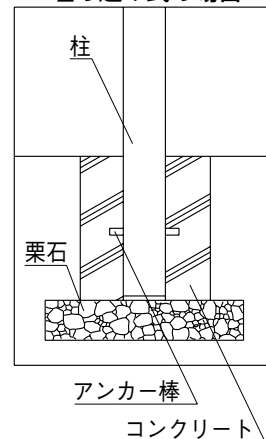


5-2 柱の建て込み



- 柱位置を出し約30cm四方深さ40cmの穴を掘り、柱を建て込んでください。

埋め込み式の場合

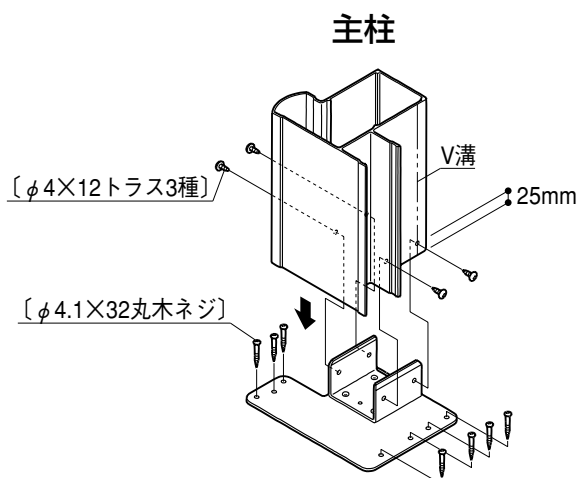


床直付式の場合は先に床板を貼ってください。

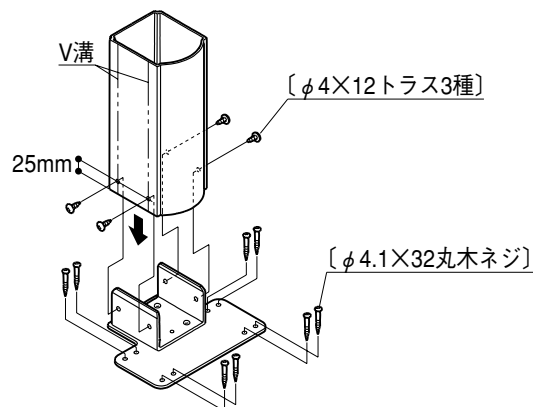
<注意>

- 柱および束柱の基礎部は転圧後必ず栗石をひき、柱内の水抜きができるようにしてください。
- モルタルには急結材は絶対に使用しないでください。アルミが腐食の原因となります。また海砂もアルミが腐食の原因となりますので、十分水洗いしたものをご使用ください。
- 地盤のやわらかい場所への施工は、柱および束柱の埋め込み深さ、基礎の大きさを充分考慮してください。地盤の影響により沈み込みや倒れが発生するおそれがあります。
- 寒冷地では凍結深度を考慮し、柱および束柱の埋め込み深さおよび基礎の大きさを充分考慮して施工してください。この作業が充分でないと凍上により柱および束柱が浮き上るおそれがあります。

① 床直付式の場合の建て込み(標準型)の場合



中間柱 (間口3間の場合のみ)

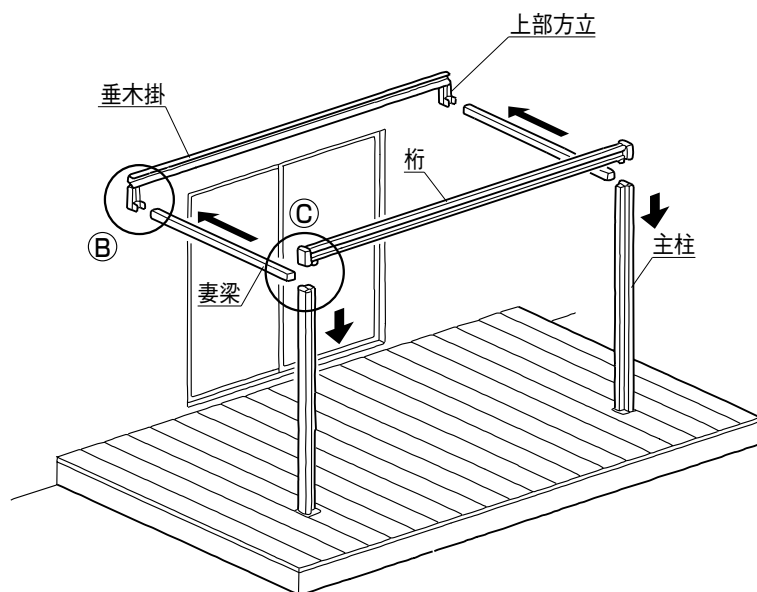


※V溝を基準にして柱取付け穴φ5をあけてください。(下部より25mm)

図中[]で示してあるネジは梱包の中に入っています。

床直付の場合の柱切断寸法
H=2300の時・・・2297mm
H=2100の時・・・2097mm

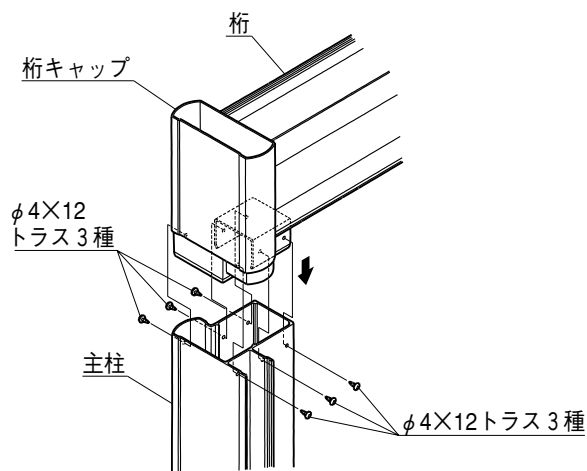
5-3 妻梁・桁の取付け



- 「柱」と「桁」を組付け後「妻梁」を「上部方立」および「桁」へ同時に組付けてください。
- 標準タイプの間口3間タイプは中間柱を取付けるための固定金具を取付けてください。

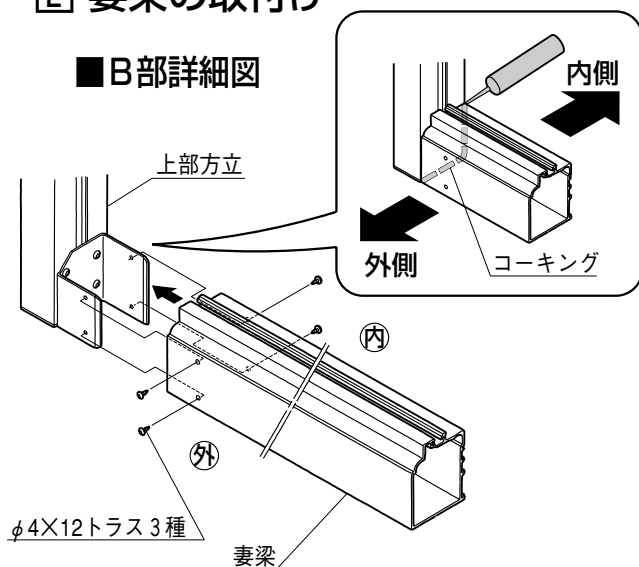
1.妻梁の「内」「外」に注意してください。
「妻梁」、「桁」、「柱」の「水平」「垂直」に注意してください。

① 柱と桁の組付け

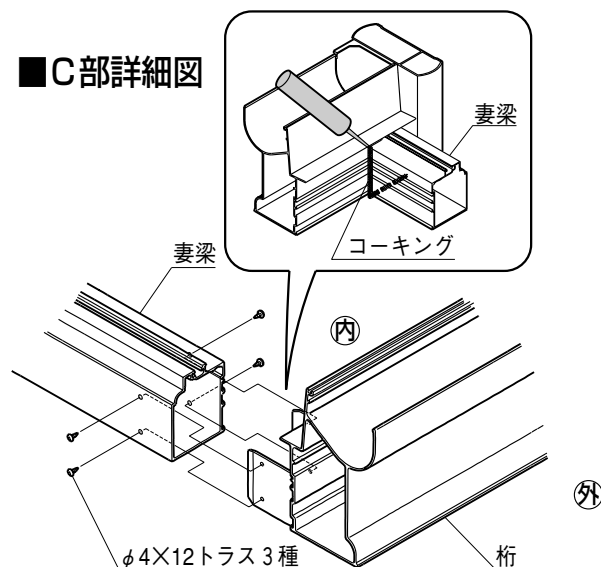


② 妻梁の取付け

■B部詳細図



■C部詳細図



③ 桁の穴あけ加工

1. 底面の加工

- (1) 間口3間(標準タイプ)の場合、桁底面に表1の寸法表を参照し、V溝部に柱・桁組付金具取付用の穴($\phi 3.5$)をあけて柱ベース金具を取付けてください。
- (2) 中間柱を取付ける前に注意シールをはがしてください。

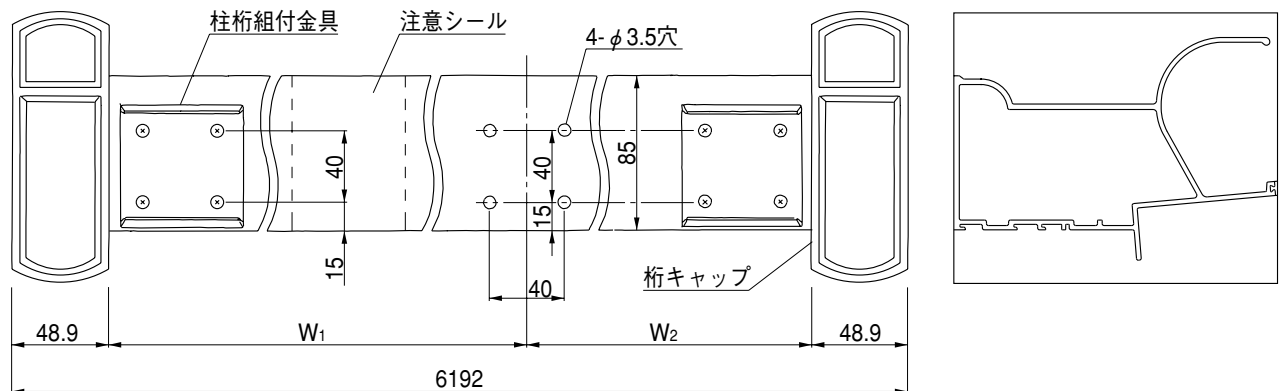
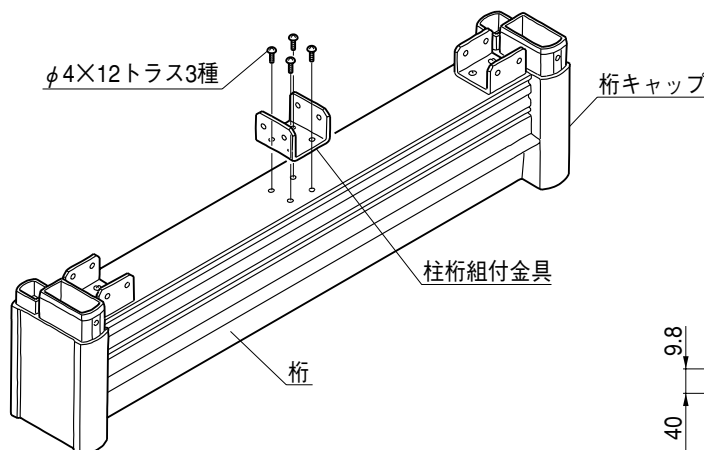
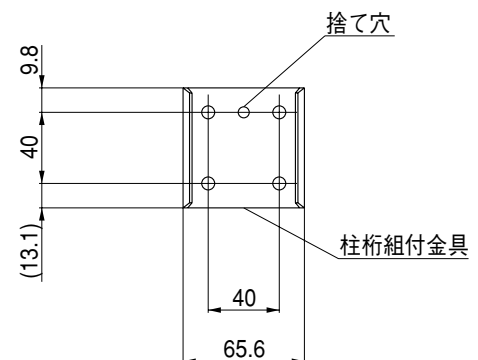


表1 (中間柱取付位置寸法表)

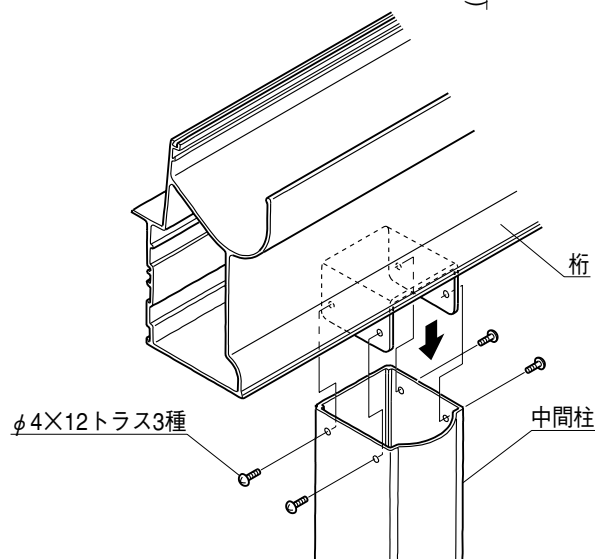
W ₁	3177.1mm
W ₂	2917.1mm



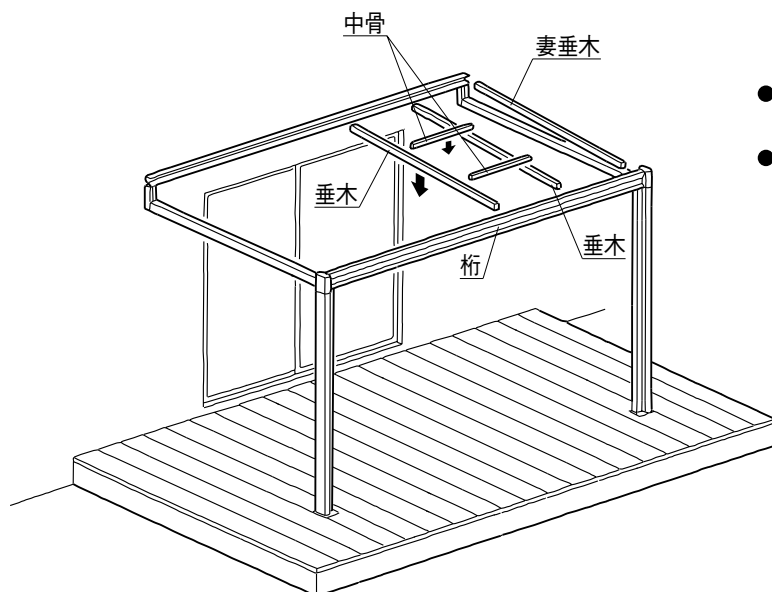
捨て穴のある方向が
桁前面側となります。



④ 中間柱と桁の組付け(間口3間の場合)



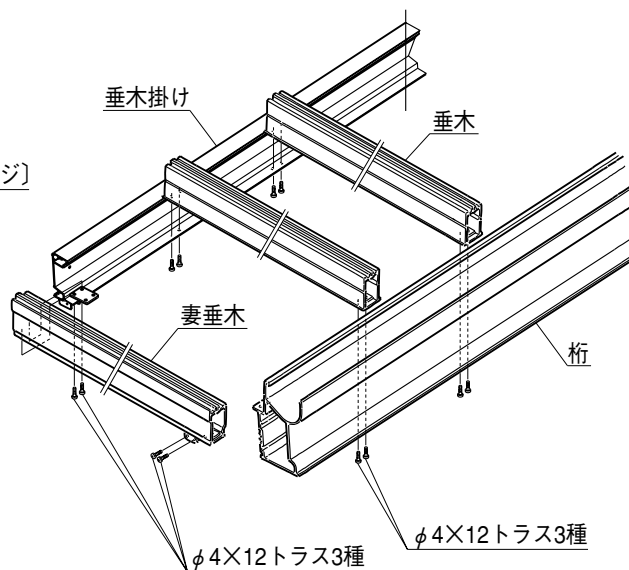
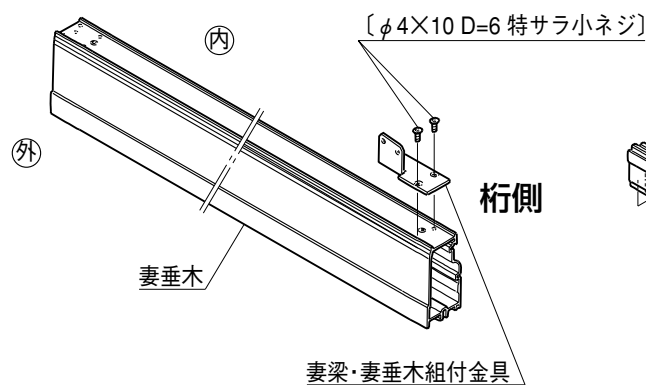
5-4 垂木・妻垂木および中骨の取付け



- 妻垂木に妻梁・妻垂木組付金具を取付けてください。
($\phi 4 \times 10$ 特サラネジは梱包の中に入っています。)
- 取付ネジにて、垂木・妻垂木を桁および垂木掛に取付けてください。

■標準タイプ

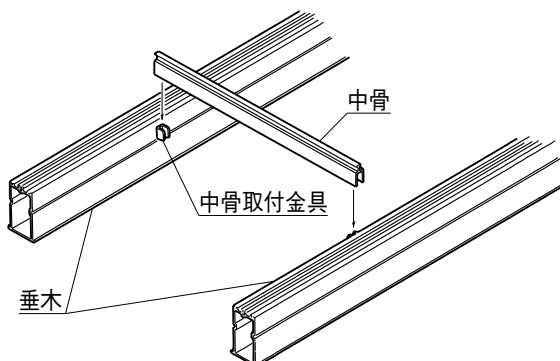
垂木掛側



図中〔 〕で示してあるネジは梱包に入っています。

① 中骨の取付け

- 右図の様に垂木に付いている中骨取付金具に中骨を上から押し込んでください。

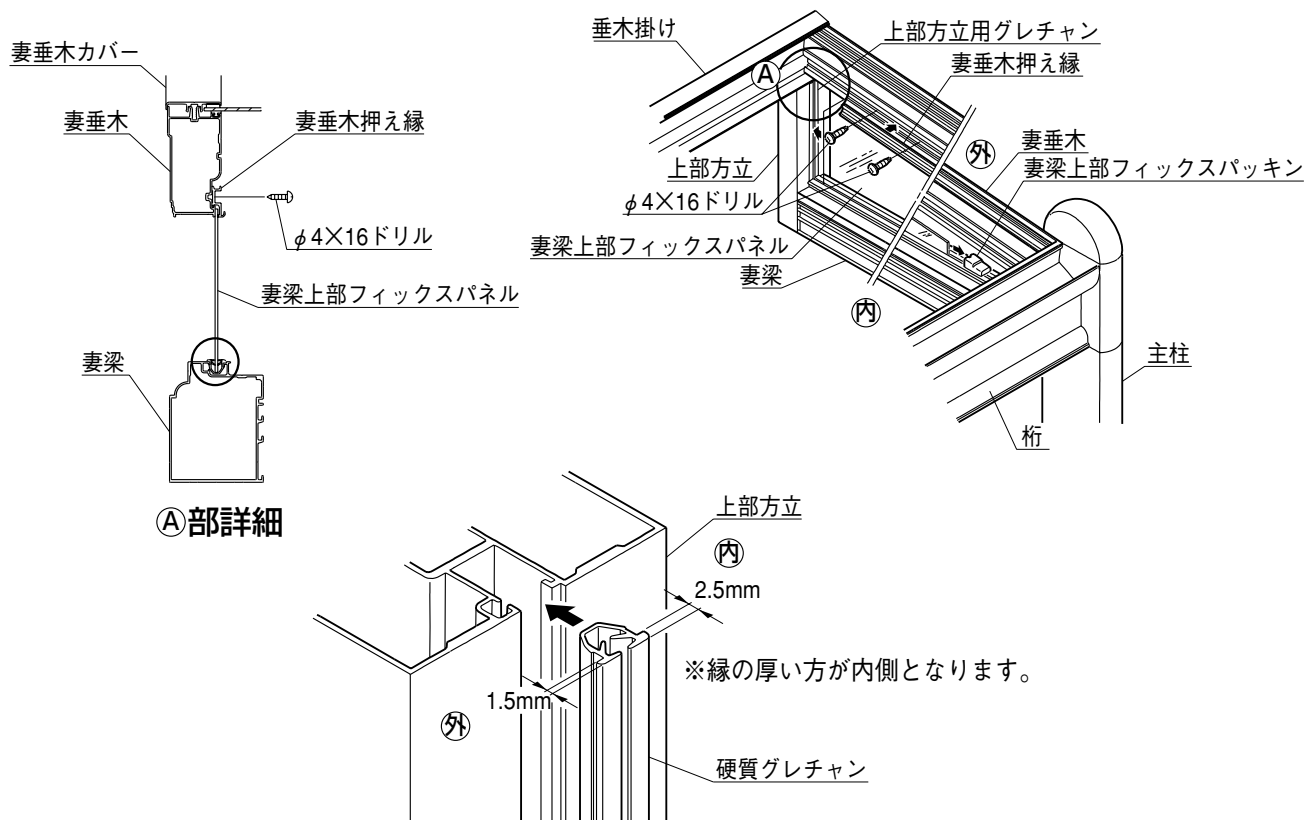


5-6 妻梁上部フィックスパネルの取付け

- 上部方立にグレチャンを挿入し、妻垂木先端下側に妻梁上部フィックスパッキンを挿入してください。
※上部方立用グレチャンは内、外側方向性有り、取付けに注意してください。
- 妻梁上部フィックスパネル(アクリル板)をセットし、妻垂木押え縁をネジ止めしてください。
注) 妻梁上部フィックスパッキンの溝にアクリル板が納まるように挿入してください。

<注 意>

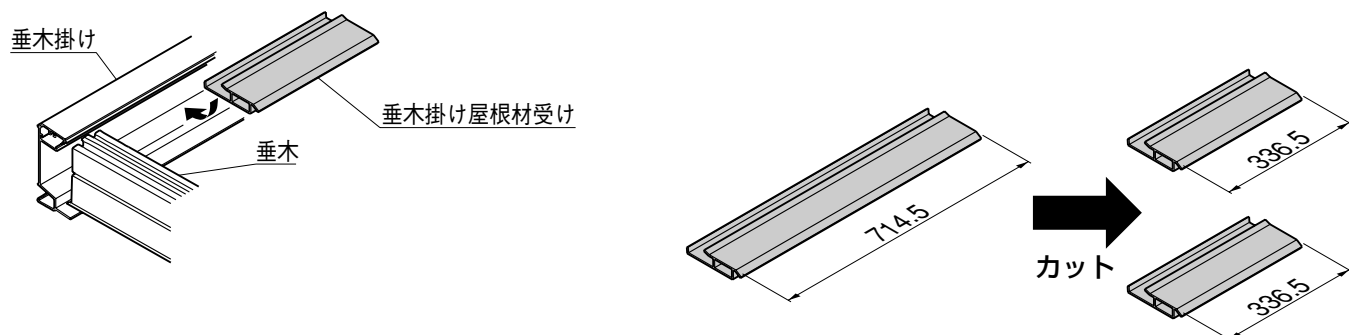
- 方立はテラス仕様での取付けはありません。



5-7 屋根材の取付け

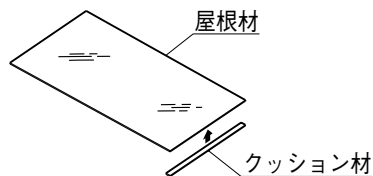
① 垂木掛け屋根材受けの取付けと加工 ※ 加工は積雪仕様の場合のみ

積雪仕様の場合のみ以下の加工を行なってください。



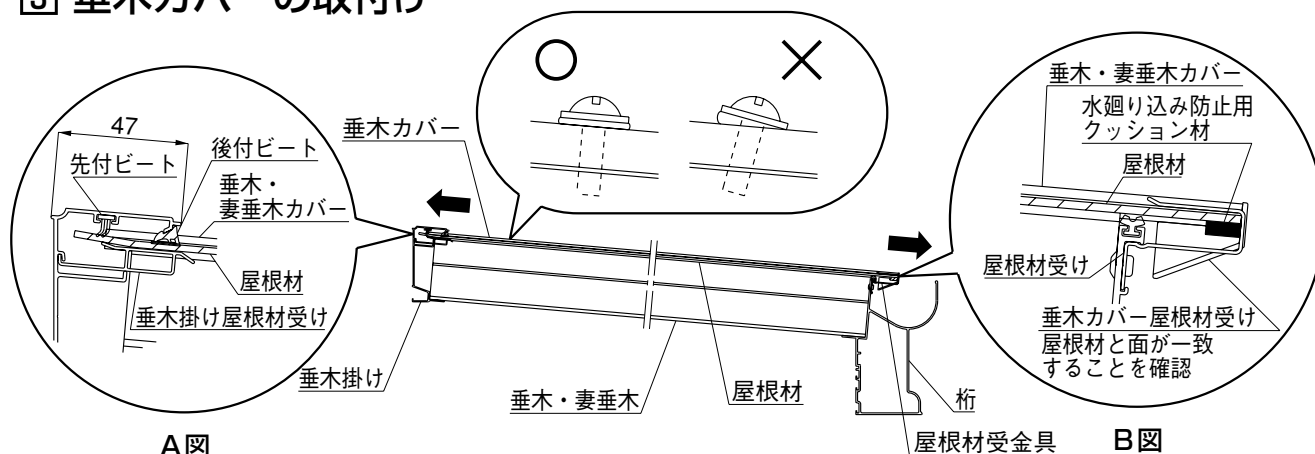
- 垂木掛け屋根材受けを垂木掛けに確実に挿入してください。(A図参照)

② 水廻り込み防止用クッションの貼付け



●水廻り込み防止用クッションを屋根材先端に貼付けてください。(B図参照)

③ 垂木カバーの取付け



- 左右どちらかの妻垂木より1スパン毎順に取付けてください。
- 垂木掛けの溝に屋根材を差込み、屋根材受金具の先端まで引き出してください。
- 垂木カバーを垂木掛けに差込み、垂木掛け側から順番にネジ止めしてください。

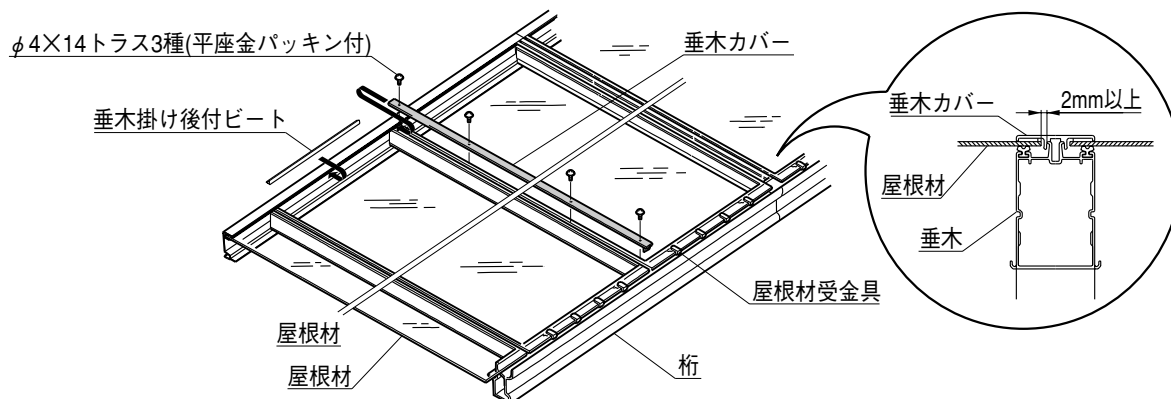
垂木カバーの先端が垂木掛けの溝に確実に挿入されたことを確認の上、垂木に固定してください。正しく挿入されると、屋根材の先端(雨樋側)と先端がそろいます。

※垂木カバー及び妻垂木カバーを垂木掛けの中まで(先付ビートに当たるまで)挿入しないと、雨漏れの原因となります。

※ネジ止めは垂木、妻垂木に対して垂直にかつ、ゴムパッキンが十分につぶれるまで行なってください。不十分な場合、雨漏れの原因となります。

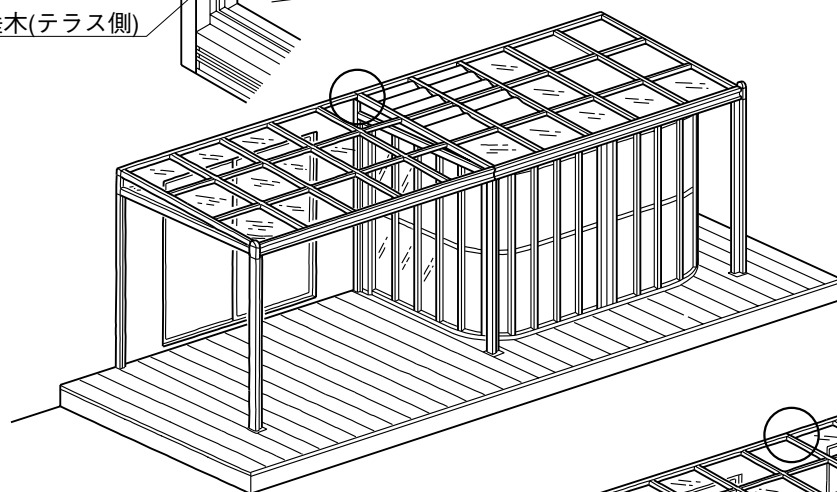
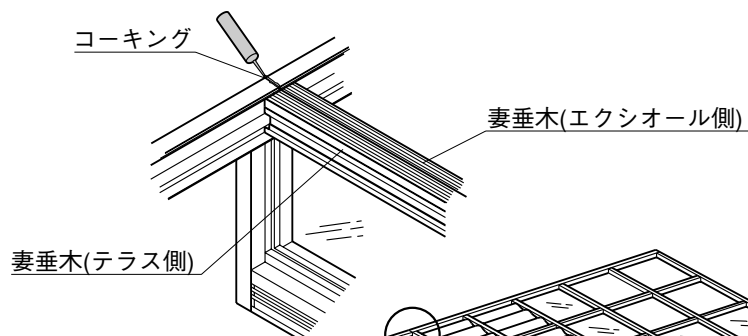
底等によりネジが取付けられない場合垂木カバーを垂木掛けに押しこみネジ止めできない箇所に、 $\phi 4 \times 12$ 六角フランジ付ネジをスパナ等で固定してください。

- 垂木掛け後付ビートを垂木掛けと屋根材の間に確実に挿入してください。
 - 本体施工後、妻垂木カバーと妻垂木及び桁の隙間にコーキングを施してください。
- ※コーキングを充分に行わないと雨漏れの原因となります。

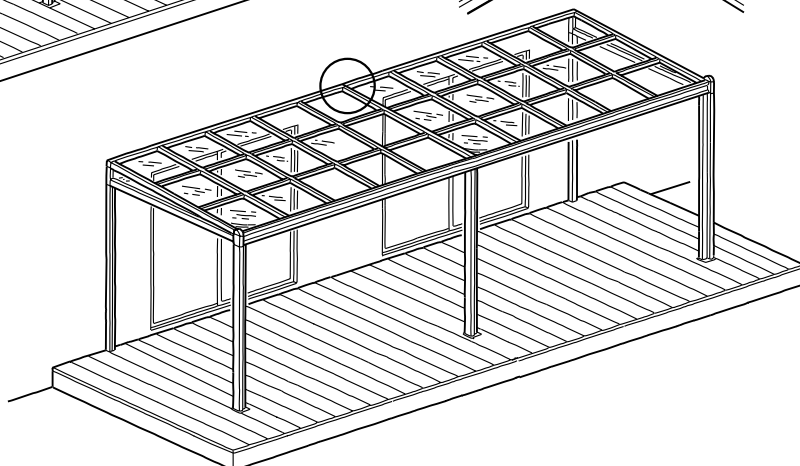
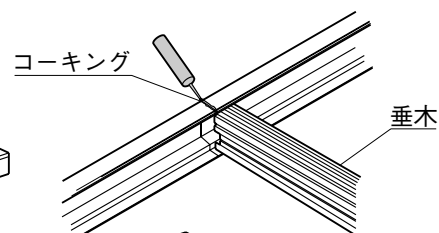


5-8 連棟

■エクシオール+テラス連棟(P.34~P.39)



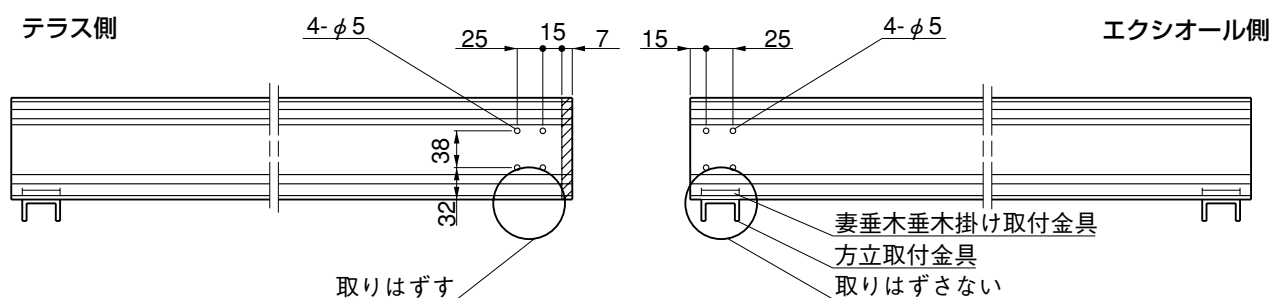
■単純連棟(P.39~P.40)



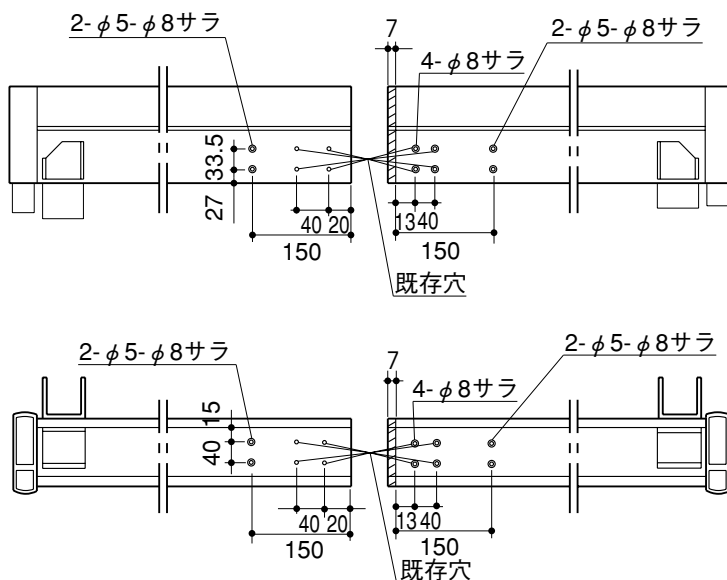
■エクシオール+テラス連棟の場合の施工

① 垂木掛けの加工

- テラス側垂木掛けの連結側の部品をはずしてください。
- ※妻垂木垂木掛け取付金具はなくさない様注意してください。
- テラス側垂木掛けを7mm切り詰めてください。
- 下図の様に垂木掛けの加工を行なってください。



② 桁の加工



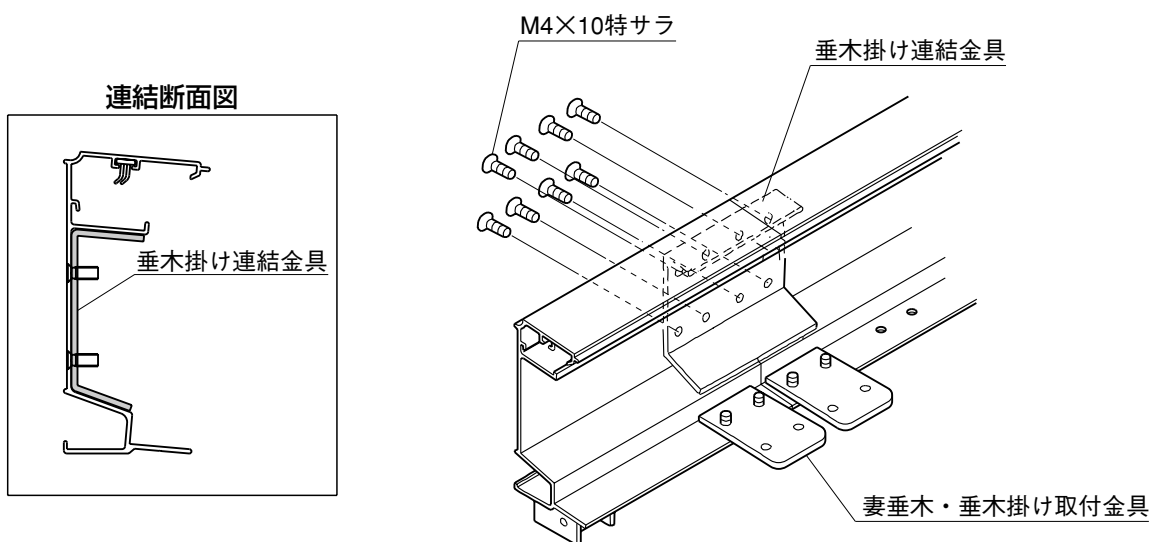
エキシオール側

テラス側

- 桁の連結側の部品をはずしてください。
- テラス側の桁の連結側を7mm切り詰めてください。
- 左図の様に穴加工を行なってください。
※ テラス側の既存穴はφ8のサラ加工を行なってください。
※ エキシオール側の既存穴は、はずした妻梁取付金具、柱取付金具の取付けに使用いたします。

③ 垂木掛けの連結

- 垂木掛け連結金具をM4×10特サラネジを使って固定してください。
- テラス側垂木掛けに妻垂木垂木掛け取付金具をM4×10特サラネジを使って固定してください。

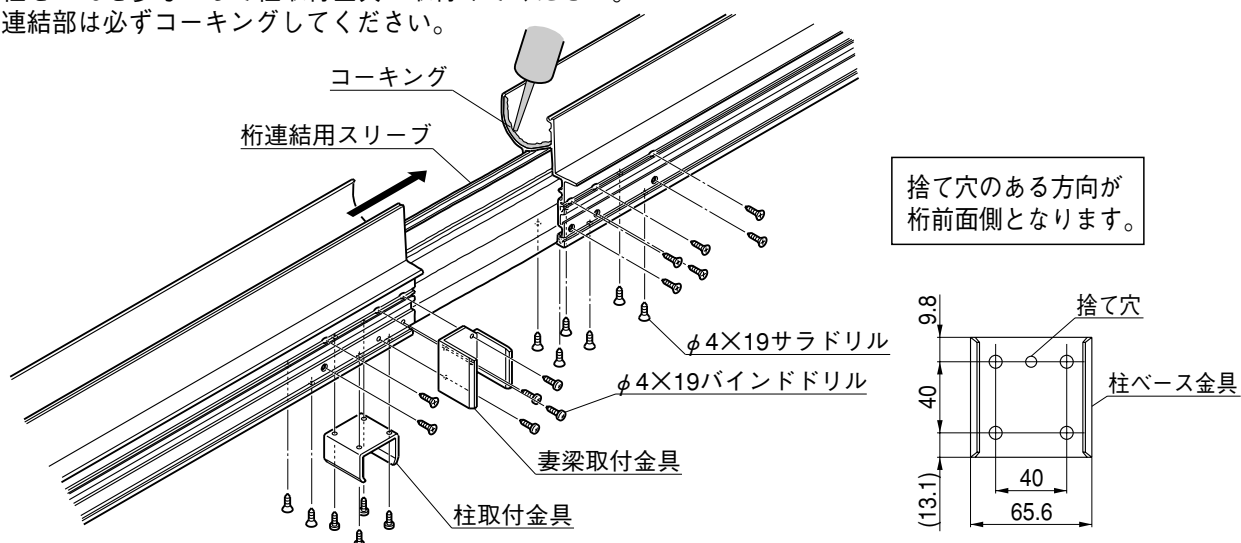


5-8 つづき

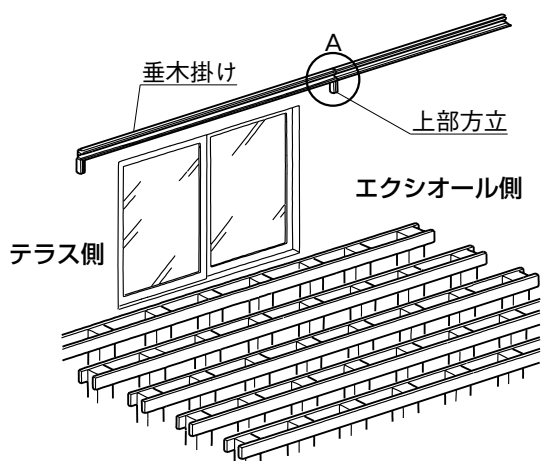
④ 桁の連結

- 桁に桁連結用スリーブを差込み、サラ加工を行なったところで $\phi 4 \times 19$ サラドリルにて固定してください。
- エクシオール側の桁に下図のように妻梁取付金具、柱取付金具を $\phi 4 \times 19$ バインドドリルにて組付けてください。
- 中間柱をP.29を参考にして柱取付金具に取付けてください。

注) 桁連結部は必ずコーキングしてください。



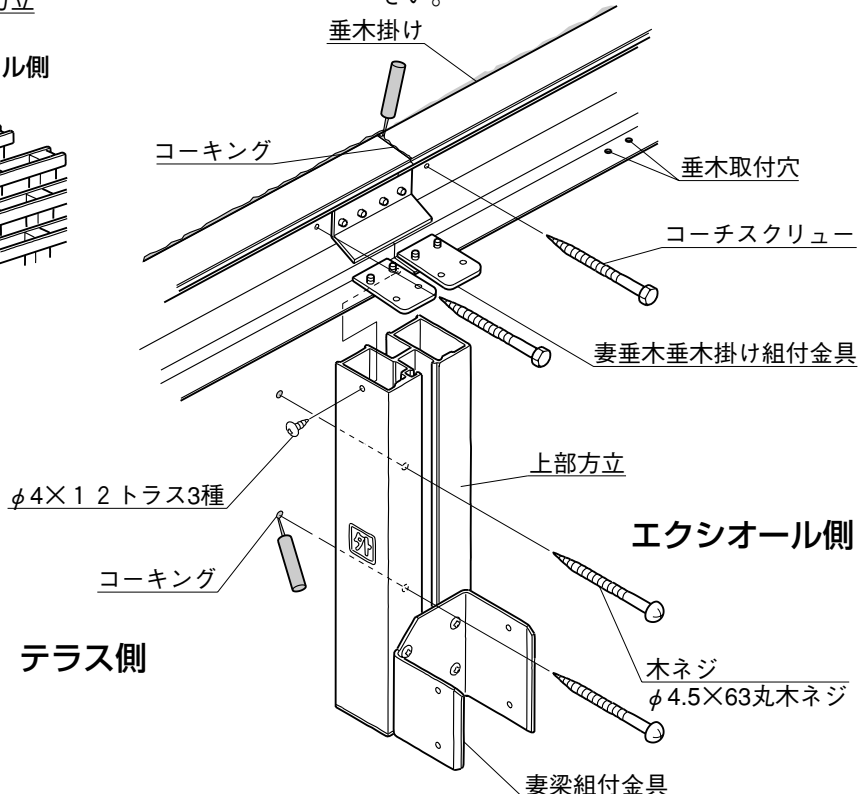
⑤ 垂木掛け・上部方立の取付け



- 基本型P.26を参照して垂木掛け、上部方立の施工を行なってください。

- エクシオール側垂木掛け連結部にも上部方立を組付けてください。

注) 垂木掛け連結部は必ずコーキングしてください。

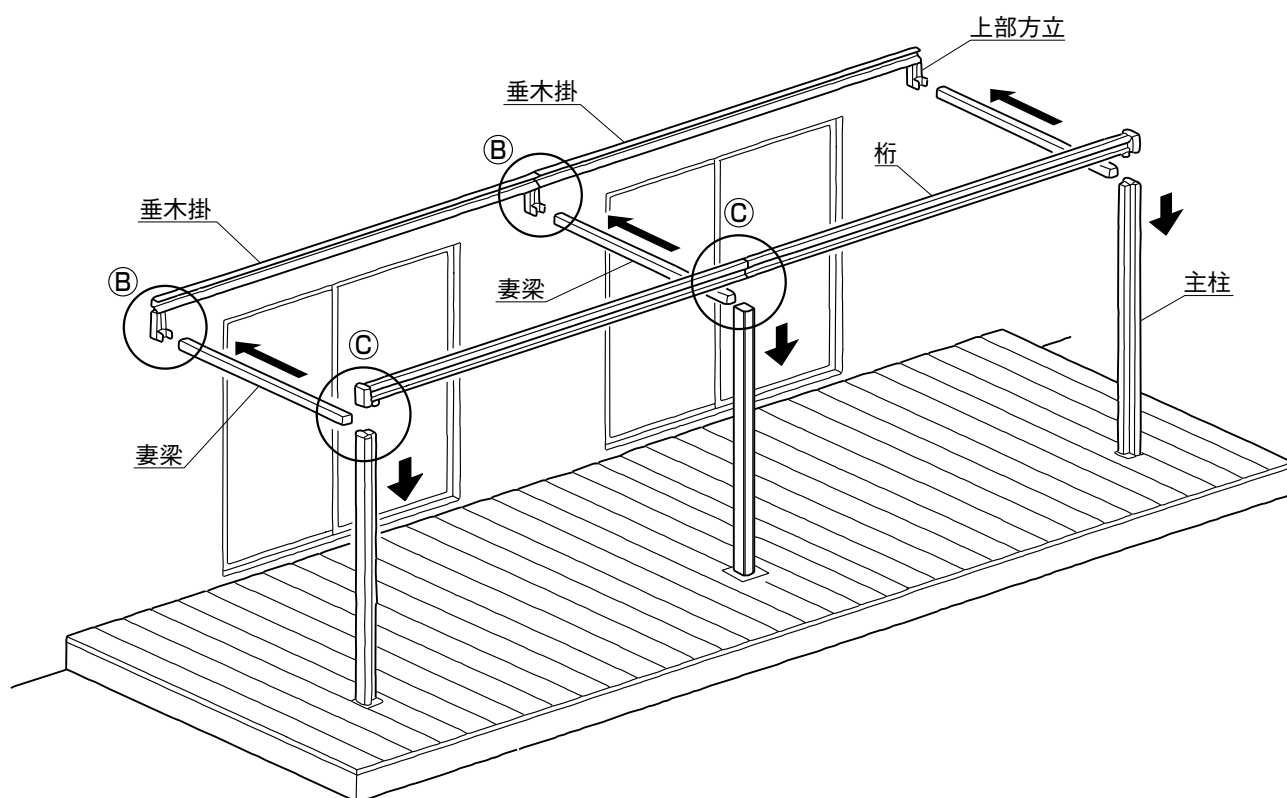


⑥ 妻梁・桁の取付け

- 「柱」と「桁」を組付け後「妻梁」を「上部方立」および「桁」へ同時に組付けてください。
- 標準タイプの間口3間タイプは中間柱を取付けるための固定金具を取付けてください。

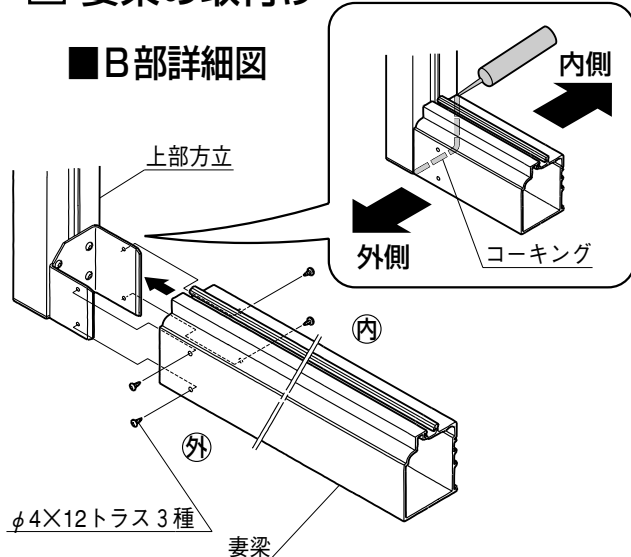
1. 妻梁の「内」「外」に注意してください。「妻梁」、「桁」、「柱」の「水平」「垂直」に注意してください。

連結部エクシオール側にも妻梁を取付けてください。

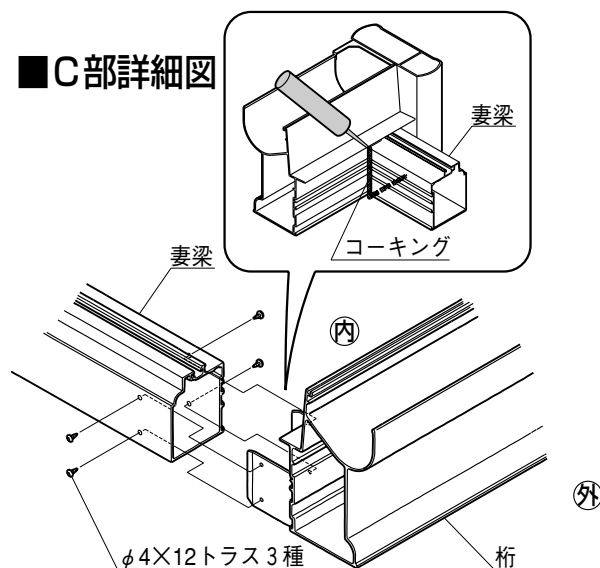


⑦ 妻梁の取付け

■ B部詳細図

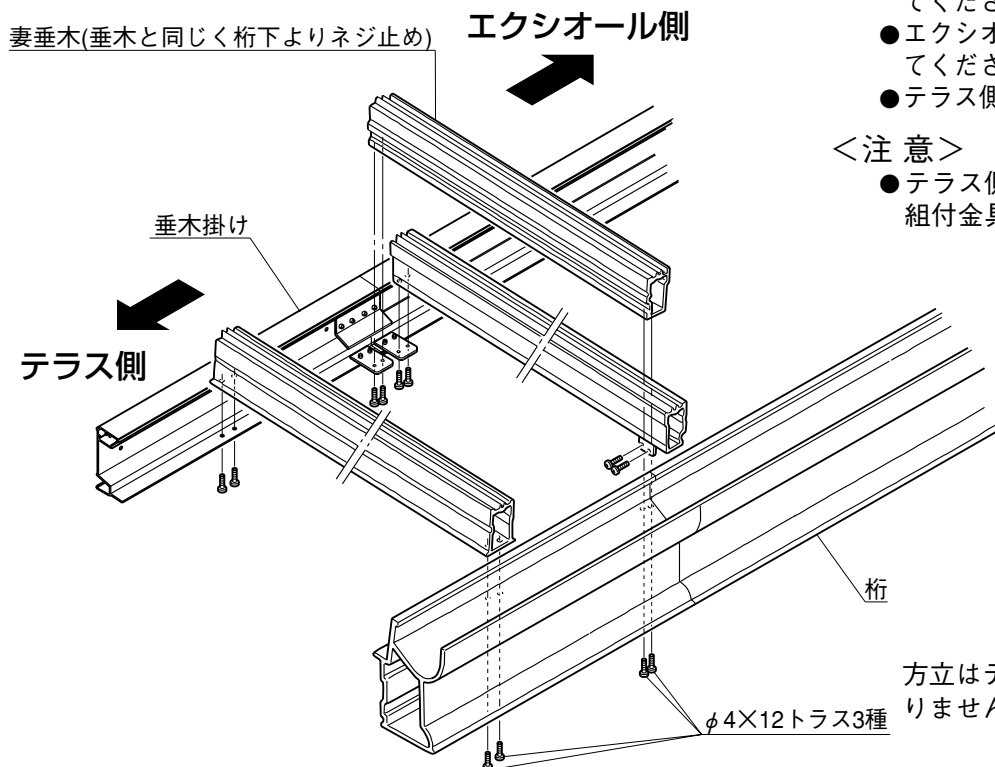


■ C部詳細図



5-8 つづき

⑦ 中間部妻垂木の組付け



- エクシオール側の妻垂木にP.48を参考にして妻梁・妻垂木組付金具を取付けてください。
- エクシオール側の妻垂木を先に組付けてください。
- テラス側の妻垂木を組付けてください。

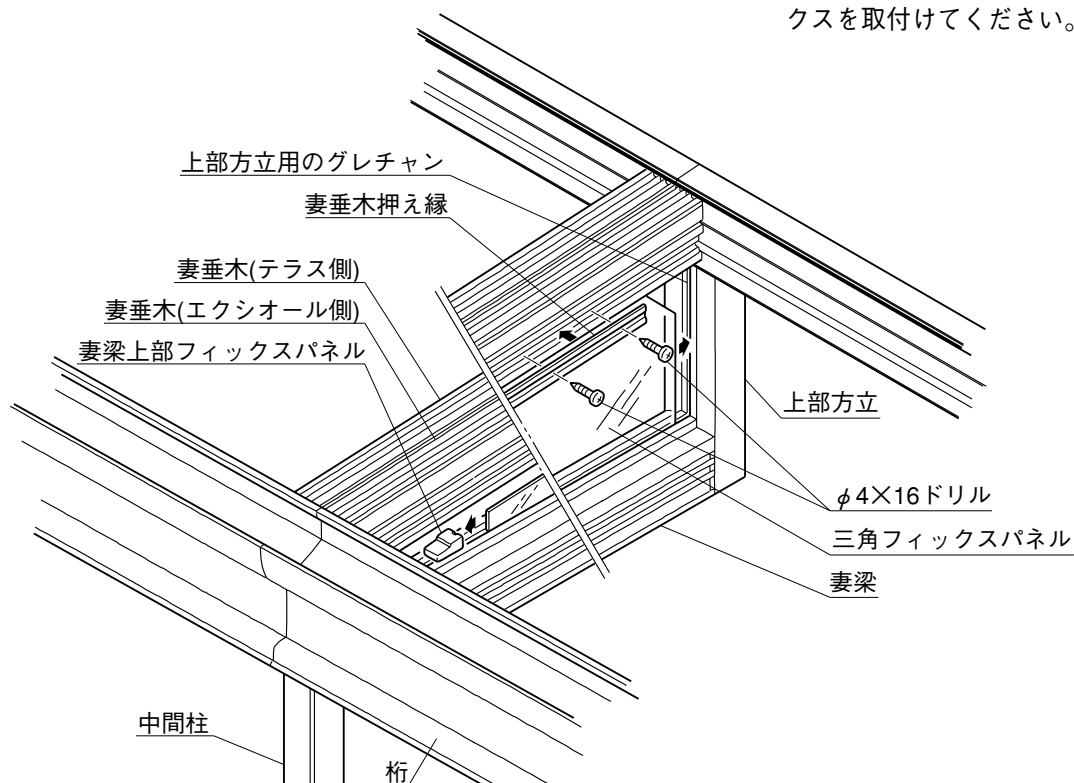
<注意>

- テラス側妻垂木は、妻梁・妻垂木組付金具は必要ありません。

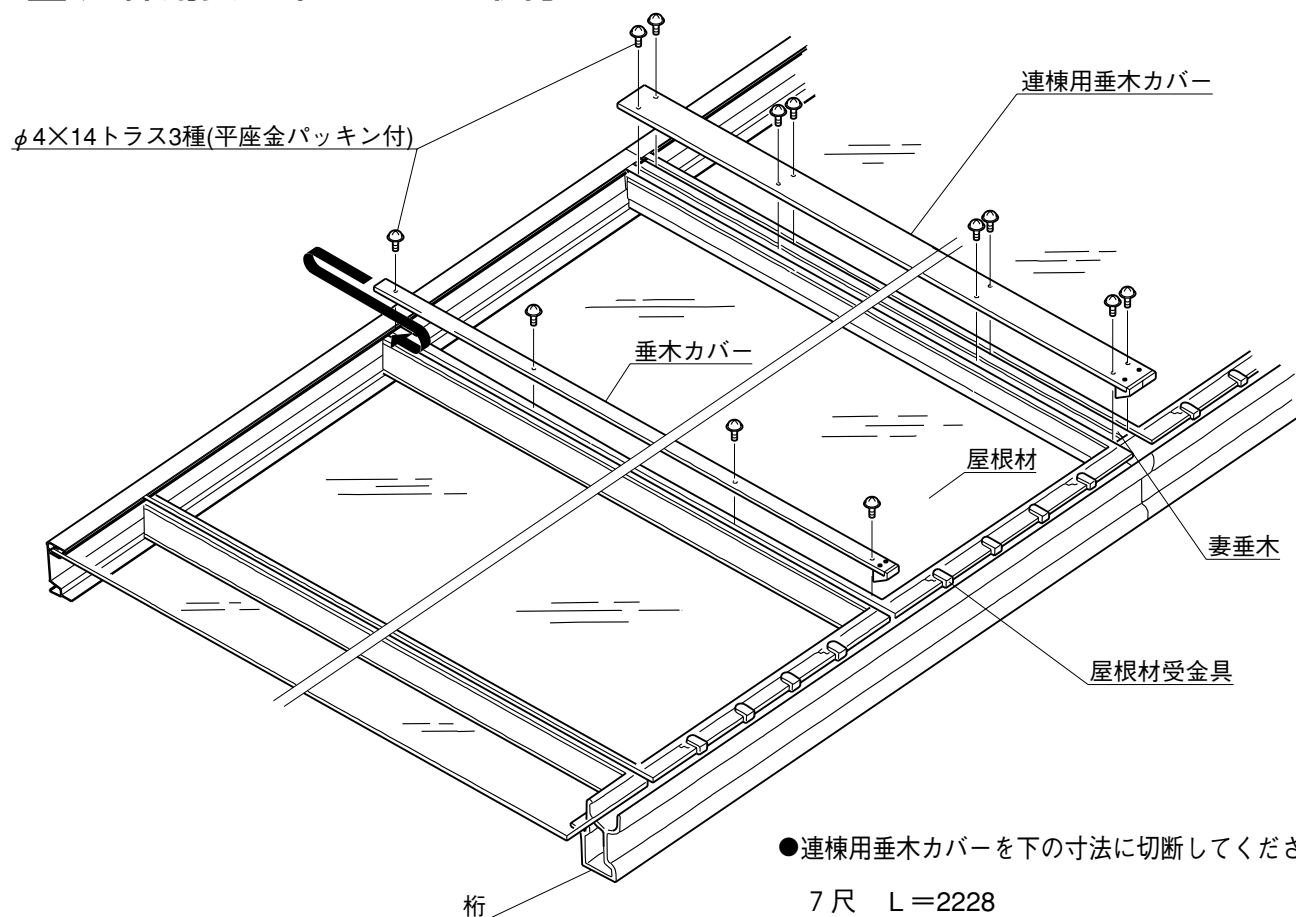
方立はテラス仕様での取付けはありません。

⑧ 三角フィックスの取付け

- 連結部エクシオール側にも三角フィックスを取付けてください。



⑨ 連棟用妻垂木カバーの取付け



- 連棟用垂木カバーを下の寸法に切断してください。

7 尺 L=2228

9 尺 L=2710

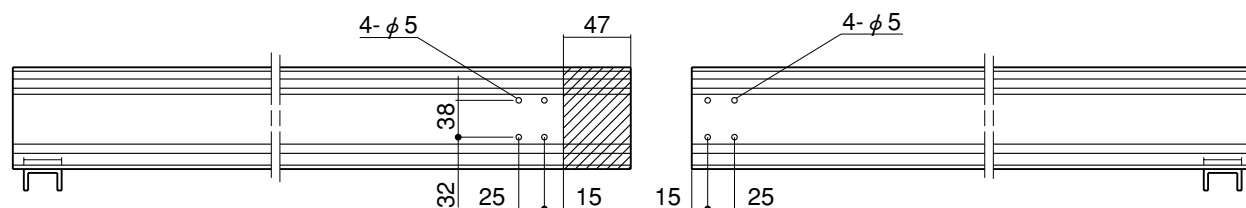
- 図のように連結部に連棟用垂木カバーを取付けてください。

その他の施工は、基本型を参照してください。
エクシオール側にレールとパネルを施工してください。

■ 単純連棟の場合の施工

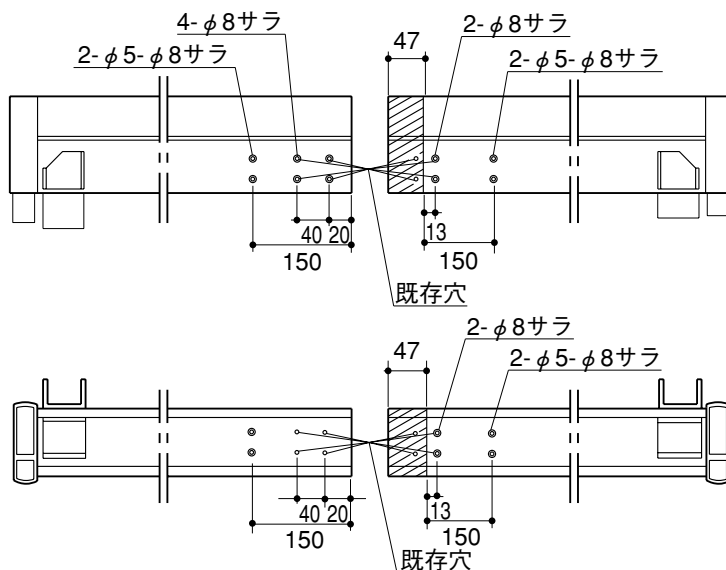
① 垂木掛けの加工

- 垂木掛け連結部の部品を取りはずしてください。
- 垂木掛けのどちらか一方を47mm切り詰めてください。
- 下図のように穴加工を行なってください。



5-8 つづき

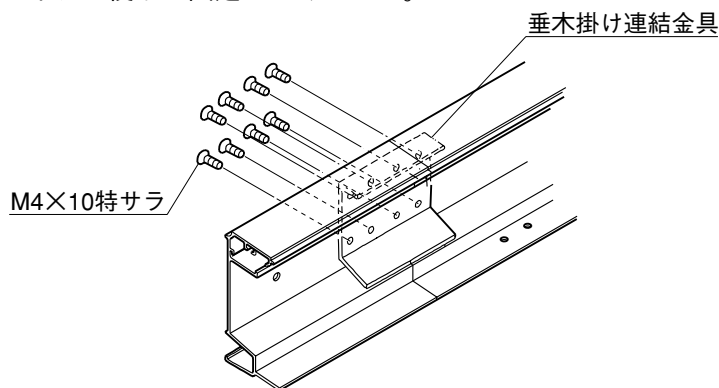
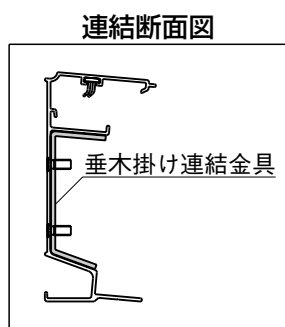
② 桁の加工



- 桁の連結側の部品をはずしてください。
- 桁の連結側のどちらか一方を47mm切り詰めてください。
- 左図のように穴加工を行なってください。
※切り詰めを行っていない桁に既存穴は柱取付金具の取付けに使用いたします。

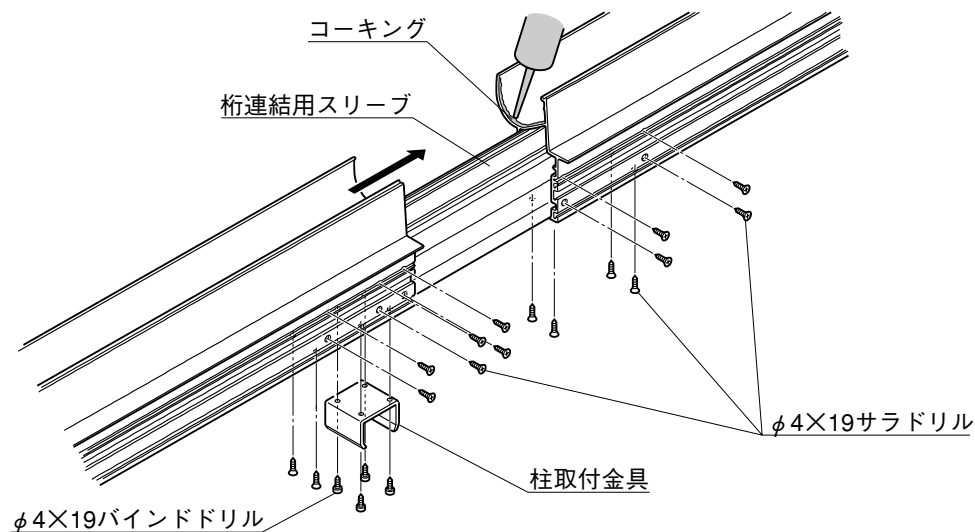
③ 垂木掛けの連結

- 垂木掛け連結金具をM4×10特サラネジを使って固定してください。



④ 桁の連結

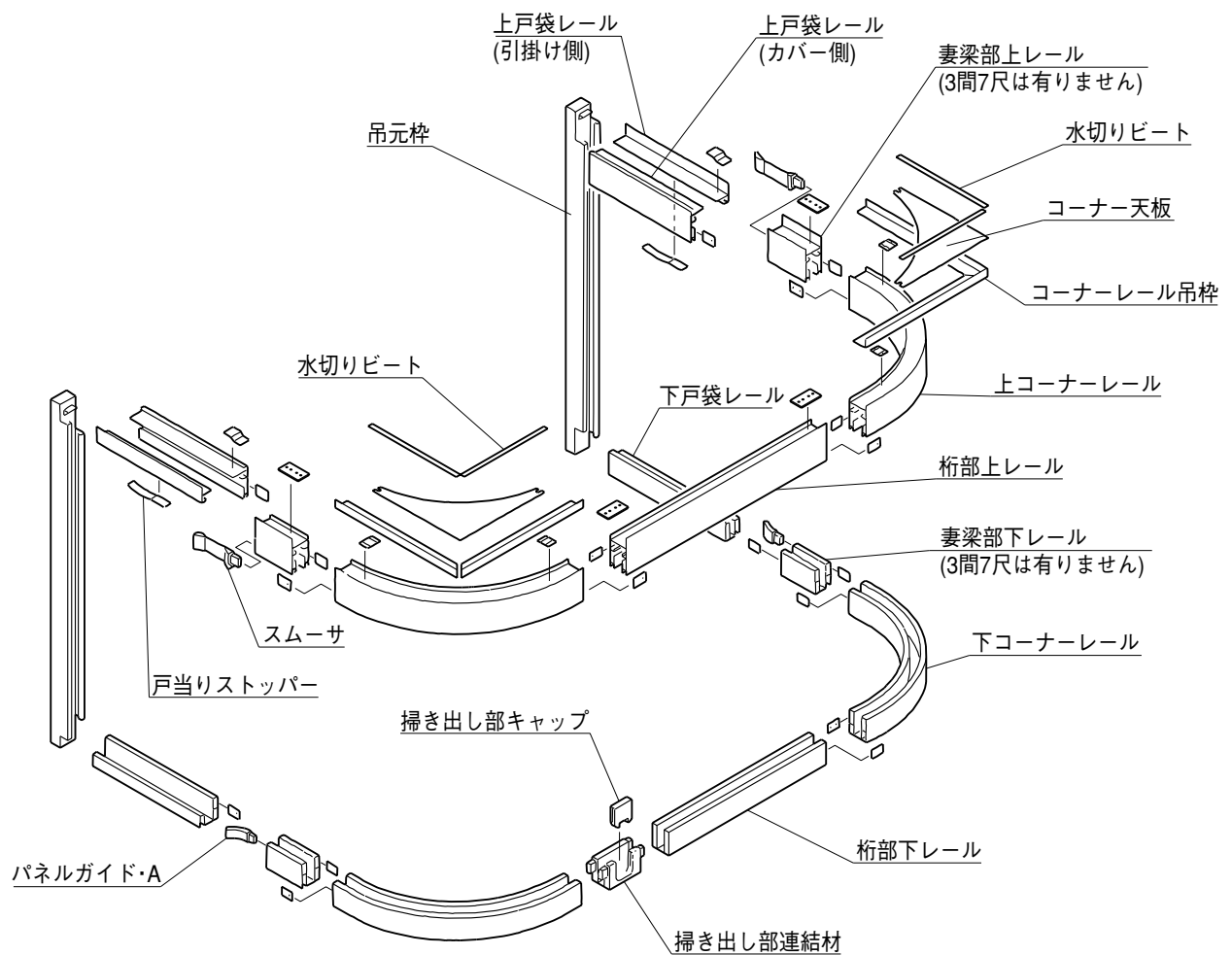
- 桁に桁連結用スリーブを差込み、サラ加工を行なった所でφ4×19サラドリルにて固定してください。



その他基本型を参照して施工してください。

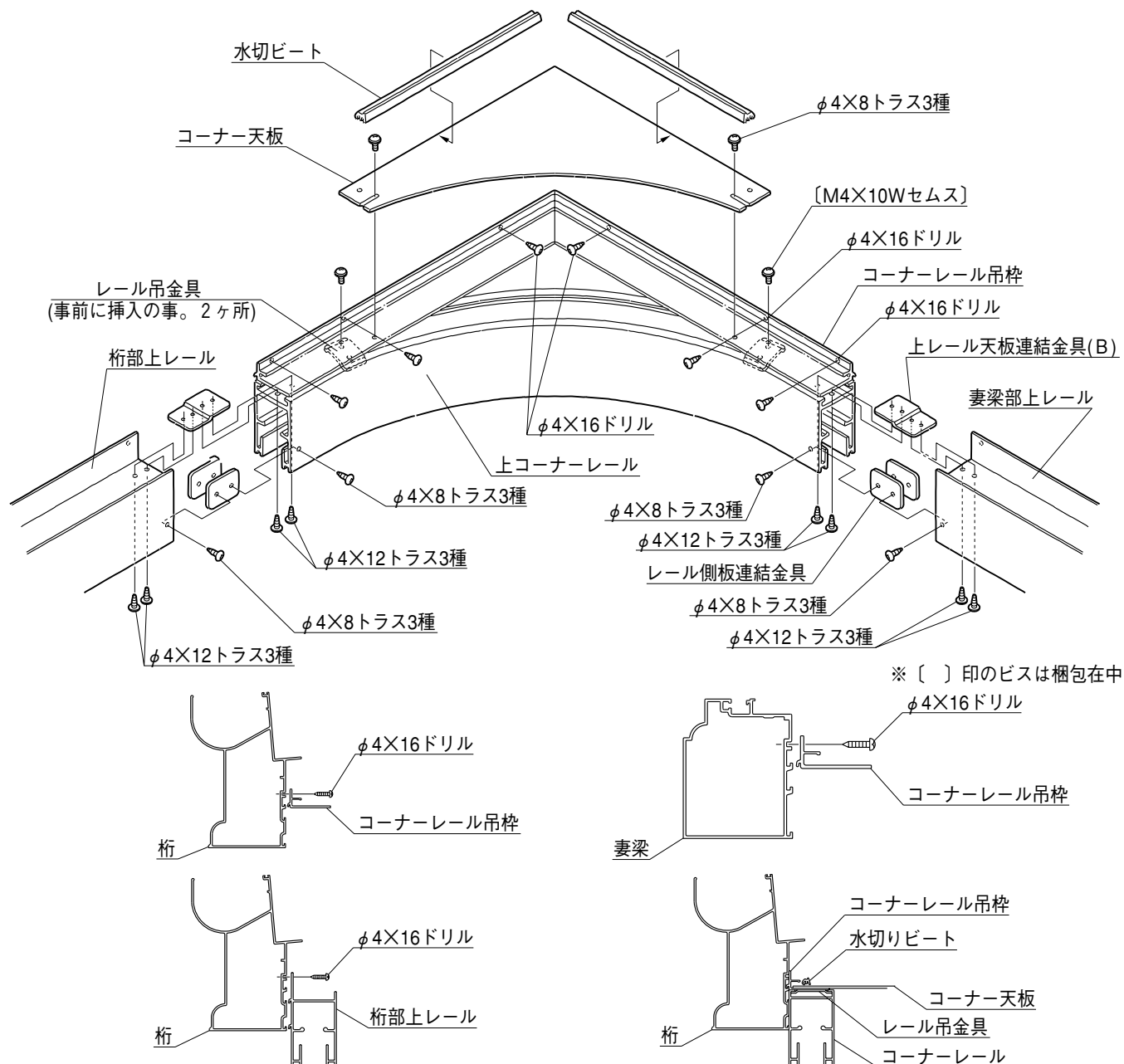
6 自然浴家族

上下レールの施工方法(両開き)



6-1 上レールの取付け

① 桁部上レールと上コーナーレール、妻梁部上レールの取付け



- コーナーレール吊枠を両コーナー部に取付けてください。
桁および妻梁の引掛け部に嵌合させるように取付けます。
- コーナーレール吊枠の端部と、桁部上レールの両端部に約1mmの間隔をあけて桁部上レールを取付けてください。
桁の引掛け部に嵌合させるように取付けます。
- 上コーナーレールにレール吊金具を2ヶ挿入し上レール天板連結金具(B)を両端に取付けてください。
- 上コーナーレールをM4×10Wセムスネジにてコーナーレール吊枠とレール吊金具とをはさみ込む形で固定してください。
- 上コーナーレールと桁部上レールを連結してください。

<注意>

- コーナーレールの両端が、コーナーレール吊枠端より1mm飛び出す位置でコーナーレールを固定します。
- 妻梁部上レールを固定、連結してください。
- コーナー天板を吊枠の溝に挿入し、コーナー吊枠に固定し水切りビート2本を挿入してください。

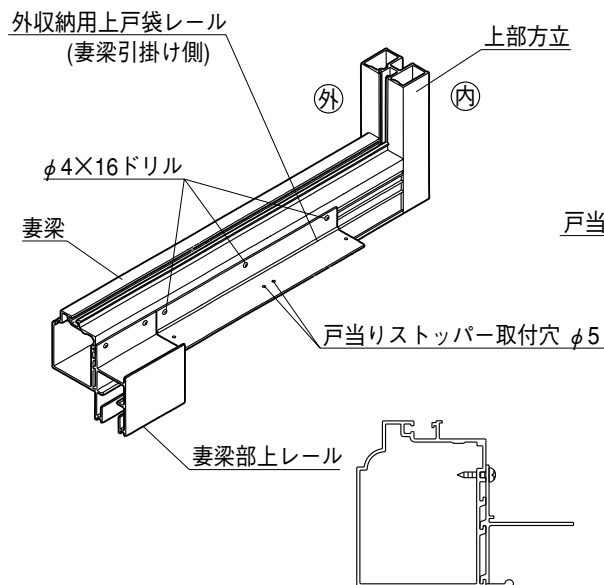
<注意>

- 3間7尺サイズでは妻梁レールは使用いたしません。

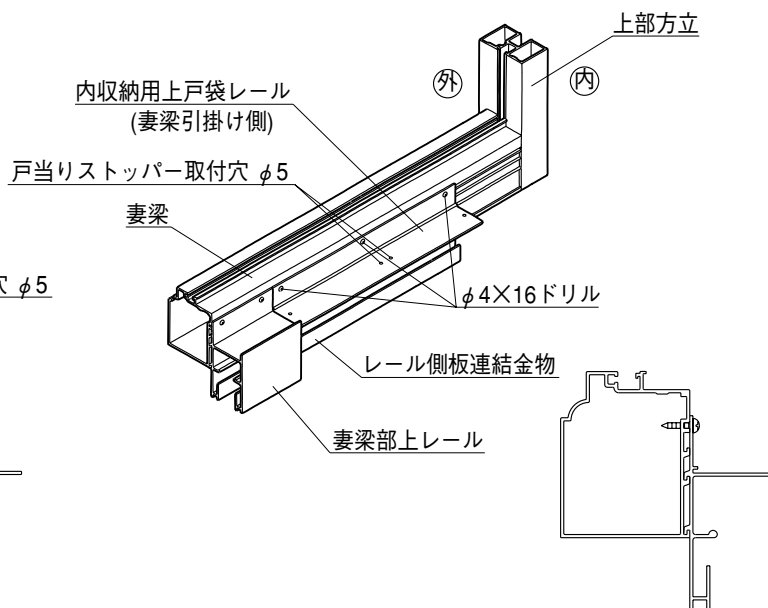
6-2 上戸袋レールの取付け

- 上戸袋レール(妻梁引掛け側)に、「戸当りストッパー取付位置指示書」に従ってストッパー取付穴($\phi 5$)を加工してください。
「戸当りストッパー取付位置指示書」は戸袋レールセットの梱包に入っています。
- 妻梁部上レールに連結および妻梁に固定してください。
※外収納の場合は妻梁に固定のみとなります。

●戸袋外収納の場合

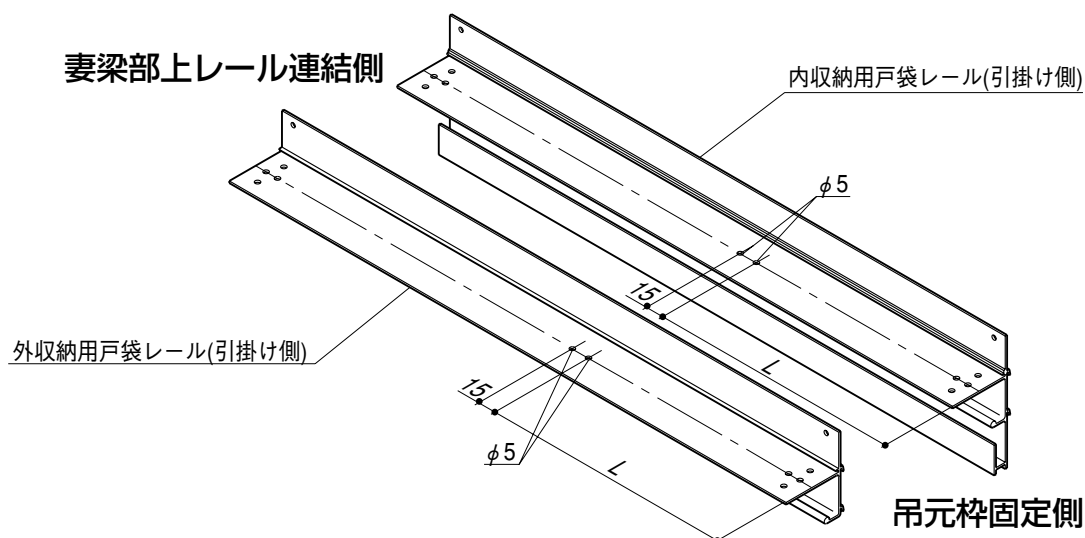


●戸袋内収納の場合



- 戸袋レールセットの梱包を開いた時点で下記の表に従って $\phi 5$ の穴加工をしてください。
位置が正確でないと、パネルの開閉に支障が生じることがあります。
内、外収納戸袋レール共、妻梁レールに引掛ける側のみ加工します。
左右どちらのレールも吊元枠に固定する側端よりL寸法をとってください。

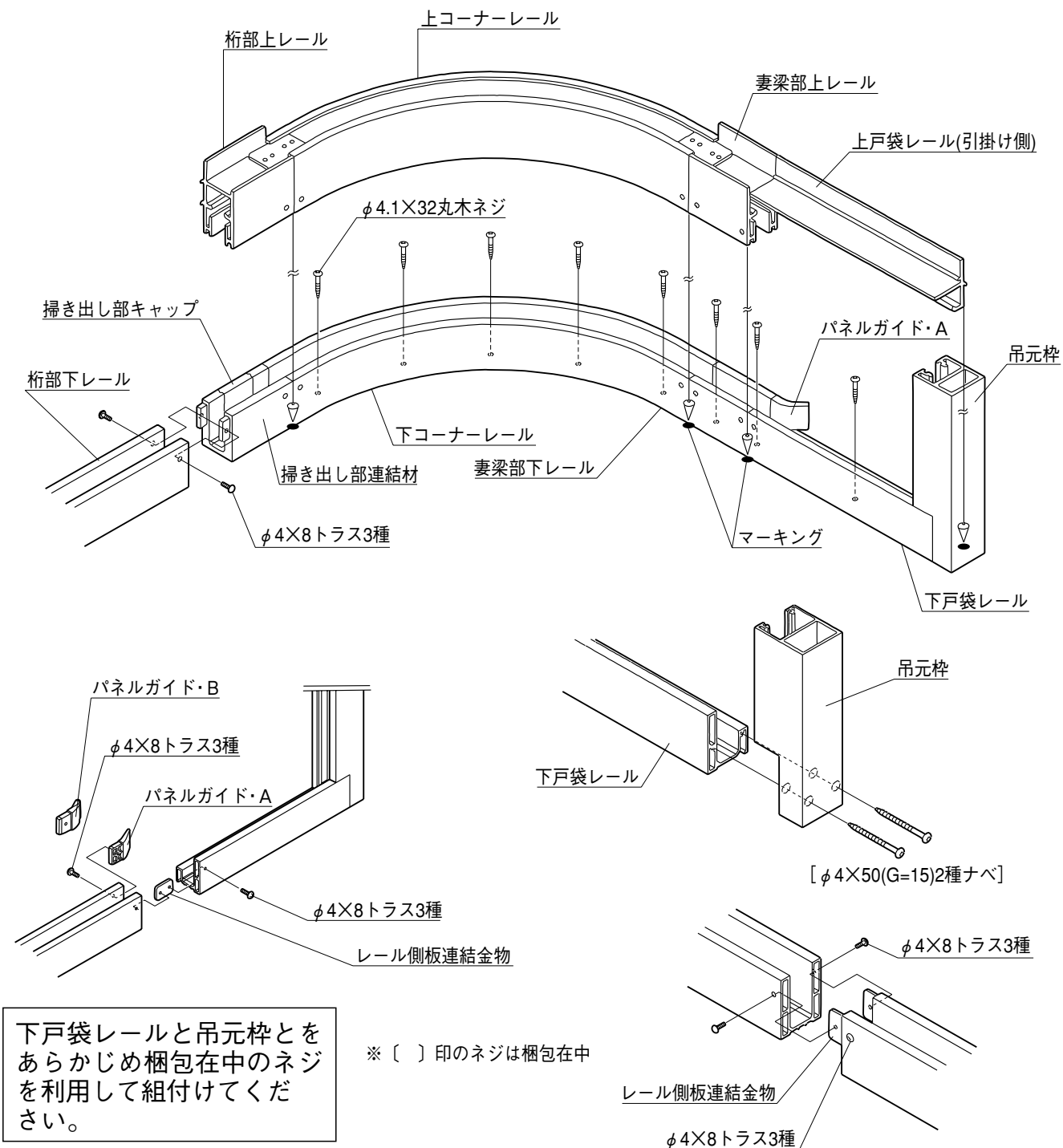
妻梁部上レール連結側



戸袋サイズ	L	備考
パネル10枚用	349	1.5間7尺, 1.5間9尺, 2間7尺
パネル12枚用	391	2.5間7尺, 2間9尺, 2.5間9尺
パネル14枚用	433	3間7尺, 3間9尺

6-3 下レールの取付け

① 桁部上レールと上コーナーレール、妻梁部上レールの取付け



下戸袋レールと吊元枠とをあらかじめ梱包在中のネジを利用して組付けてください。

※ [] 印のネジは梱包在中

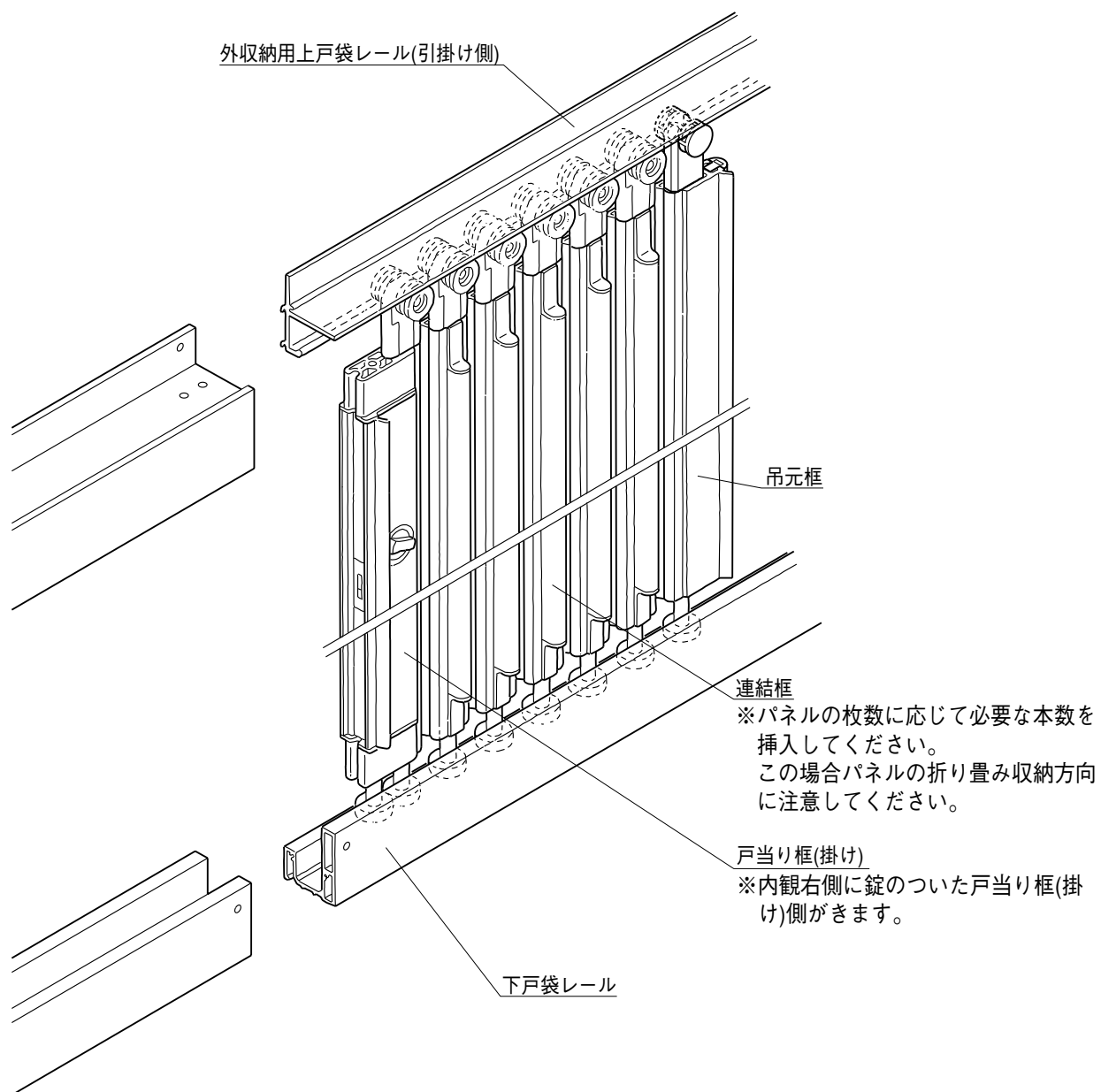
- 桁部上レール、上コーナーレール、妻梁上レール、戸袋上レールそれぞれの連結部より下げ振りにより床面に連結位置をマークしてください。
- 桁部下レールに掃き出し部連結材を取付けてください。
- 桁部下レール、下コーナーレール、下戸袋レールをマークに合わせて床板に固定し、レール側板連結金具を利用してそれぞれレール部材を連結してください。
- 下戸袋レール側にパネルガイドAを取付けてください。
(戸袋内収納で床板2段貼り仕様の場合はパネルガイド・Bを取付けてください。)

<注意>

- 3間7尺サイズでは妻梁レールは使用いたしません。

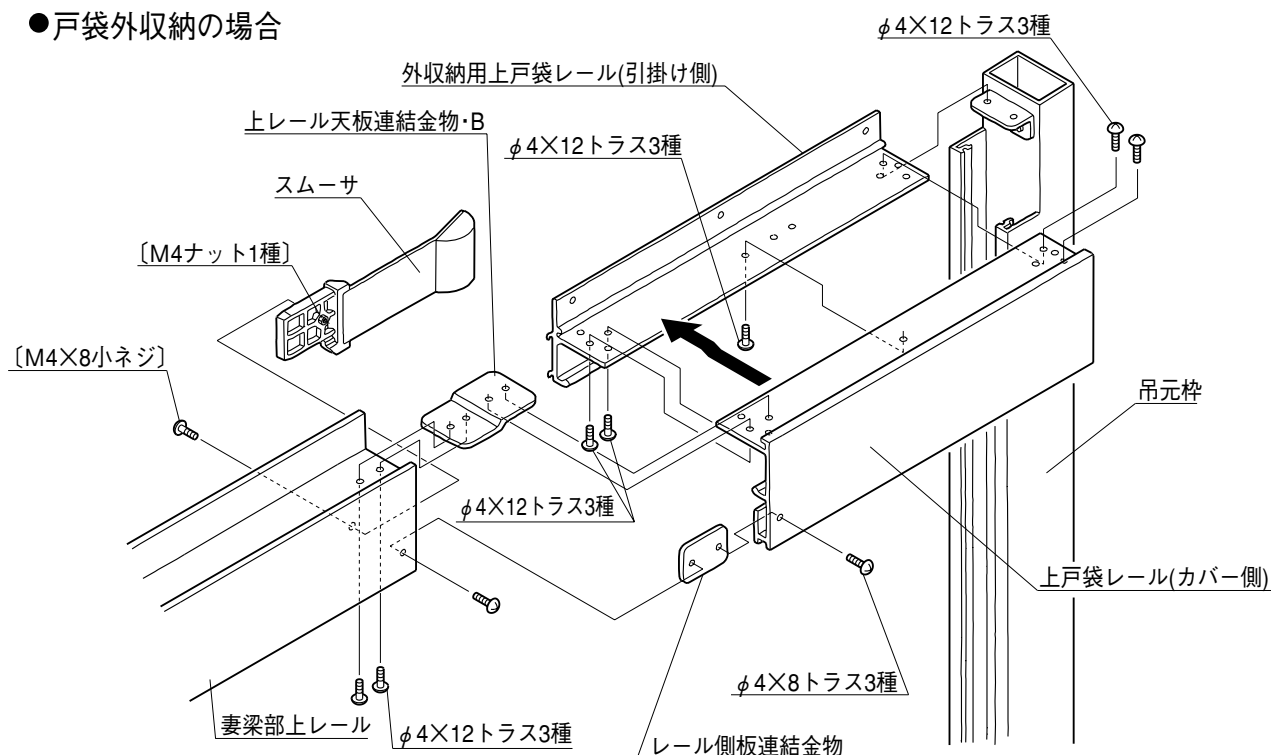
6-4 戸当り框・連結框・吊元框の吊込み

上戸袋レール部より戸当り框、連結框(必要本数)、吊元框を上下レール部に吊り込んでください。



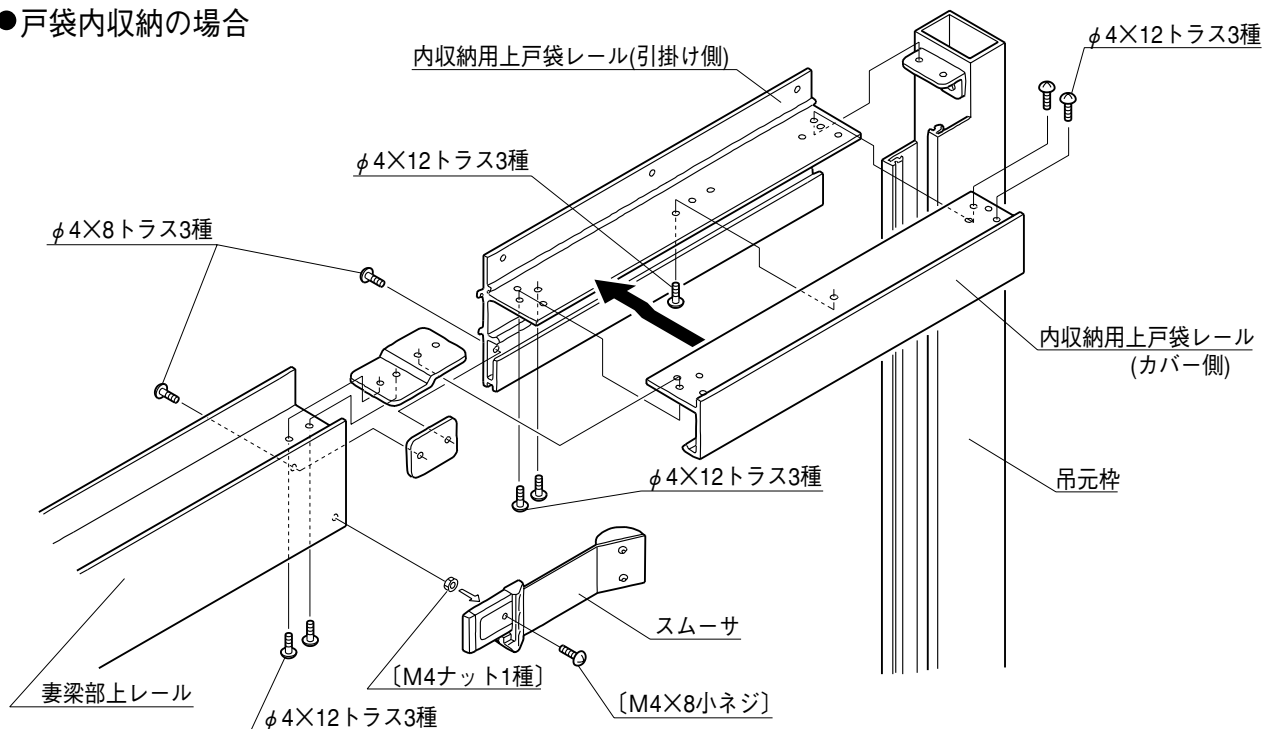
6-5 上戸袋レール(カバー側)の取付け

●戸袋外収納の場合



※〔 〕印のネジ、ナットは梱包在中

●戸袋内収納の場合

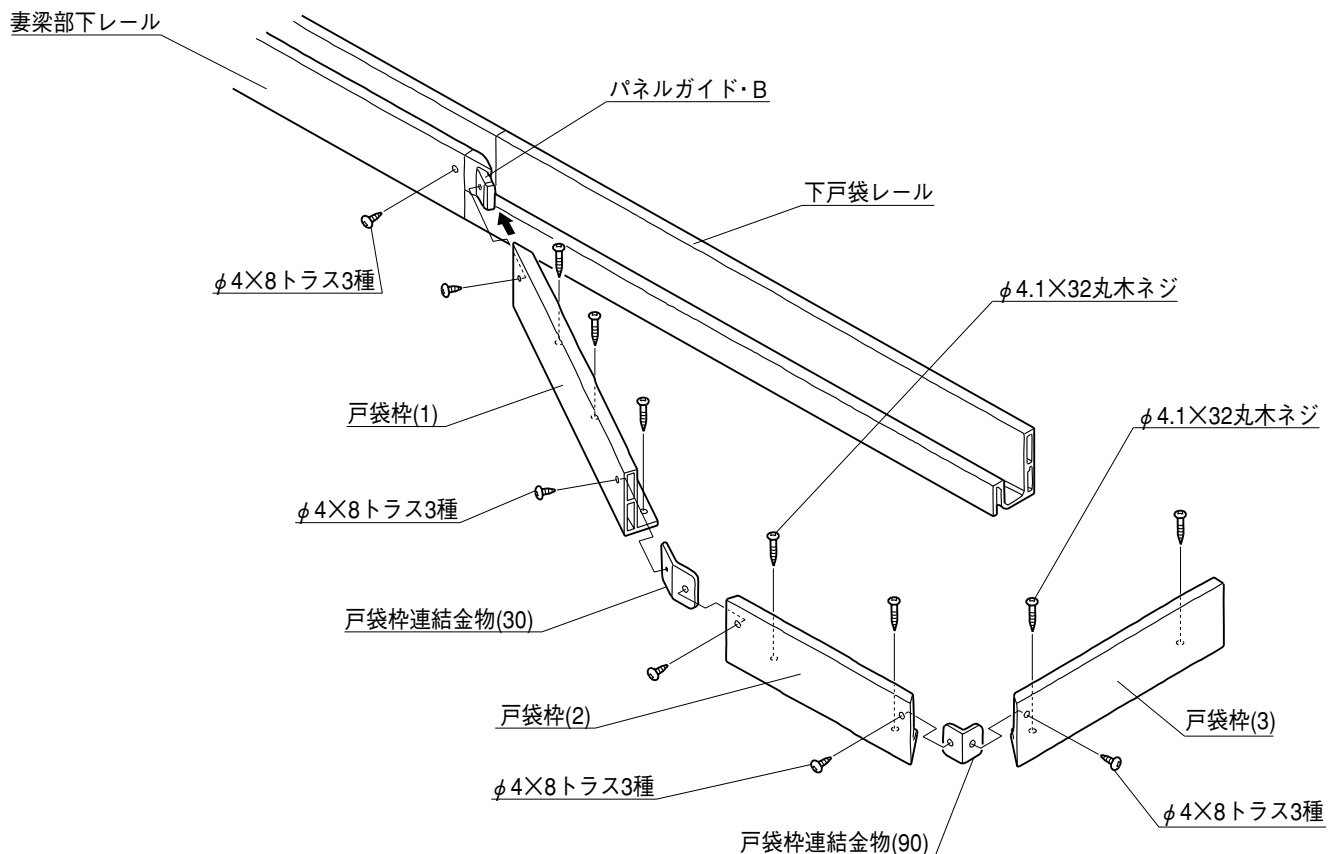


- 戸当り框、連結框、吊元框をコーナーレール部へ移動した上で、上戸袋レール(カバー側)を天板同志を嵌合させながら取付けてください。
- 妻梁部上レールと上戸袋レールを連結してください。上レール天板連結金物(B)、又は(A)およびレール側板連結金物を使用します。
- 吊元枠を上戸袋レールに組付けてください。
- 戸当り框、連結框、吊元框を戸袋レール部へ移動します。
- 上戸袋レール側にスムーサを取付けてください。

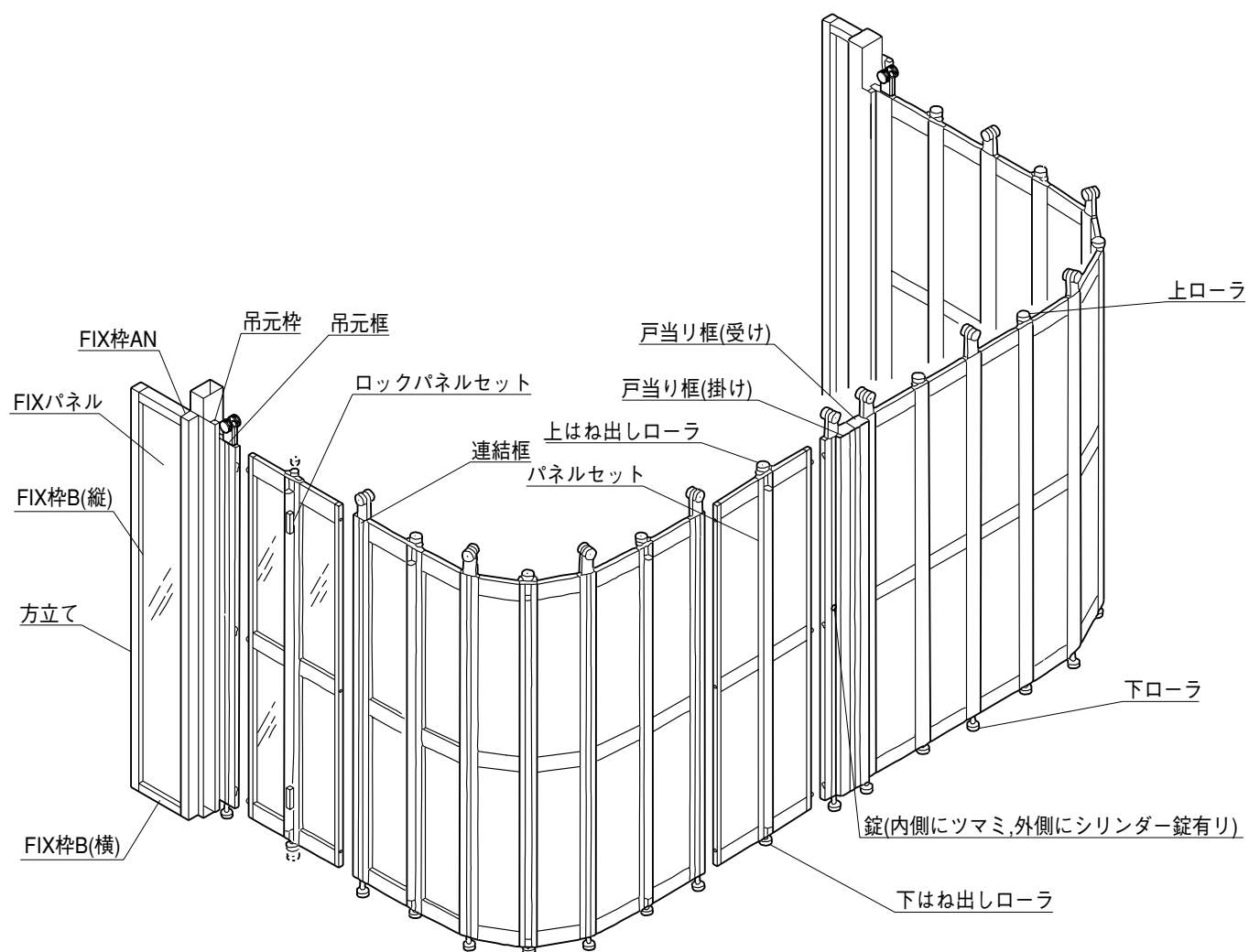
6-6 戸袋枠の取付け

戸袋内収納仕様で床板2段貼り仕様またはこれに準じた仕様の場合のみ戸袋枠の取付けが必要となります。

- パネルガイド・Bを取付けてください。
- 戸袋枠(1)、(2)、(3)を順次それぞれを戸袋枠連結金具(30)、(90)を利用して連結し、床板への固定をしてください。

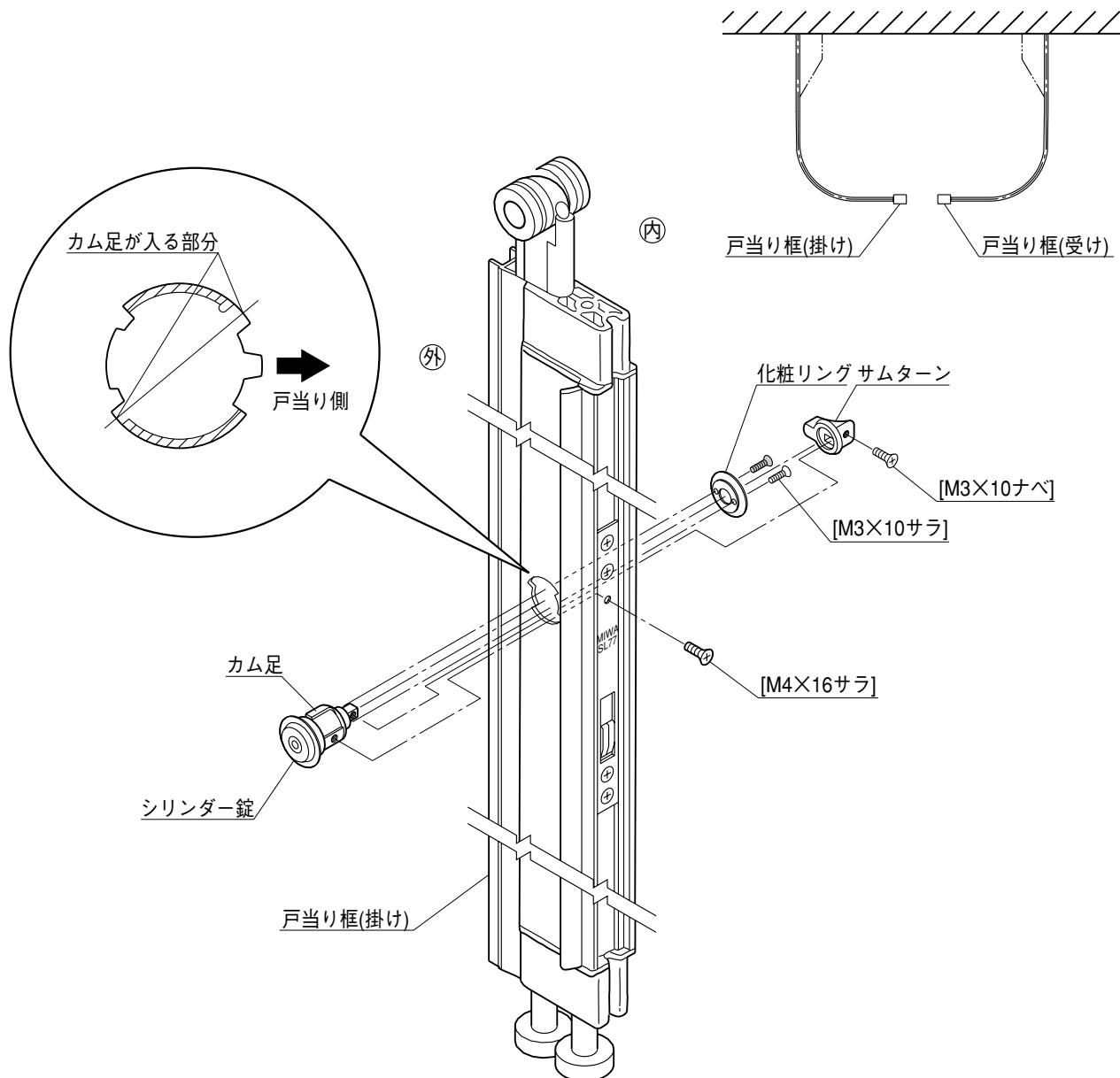


パネルの施工方法(両開き)



7-1 戸当り框への錠の取付け

- 戸当り枠(掛け)へシリンダー錠を取付ける場合、シリンダー錠が外側にくるように取付けてください。
- 両開きの場合は、外観左側に戸当り框(掛け)がきます。



※[]印のネジは、梱包在中

①シリンダー錠が外側に来るように框の向きを調整し、框の穴に挿入してください。

<注意>

- シリンダー錠側面にあるネジ穴を戸当り側へ向けてください。
- シリンダー錠の挿入部分の形状を框の中の穴形状に合わせてください。

②シリンダー挿入後、框戸当り側からシリンダーをネジ止めしてください。

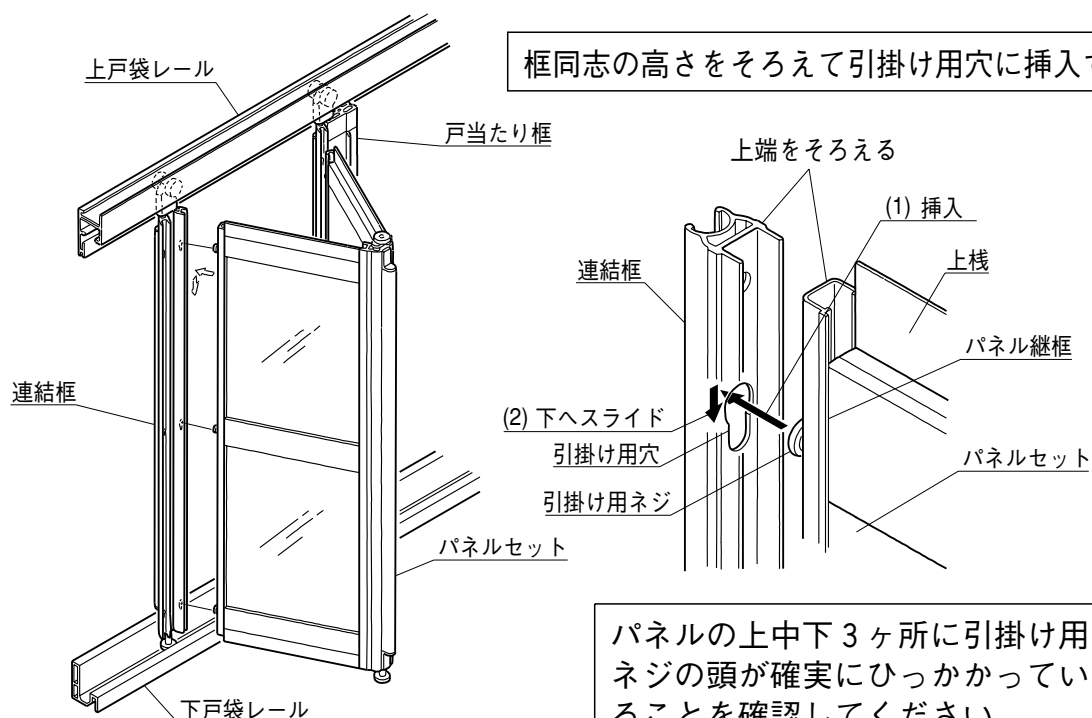
③化粧リングの凸部が表に来るようにはめ込み、ネジ止めしてください。

④サムターンをはめ、ネジ止めしてください。

<注意>

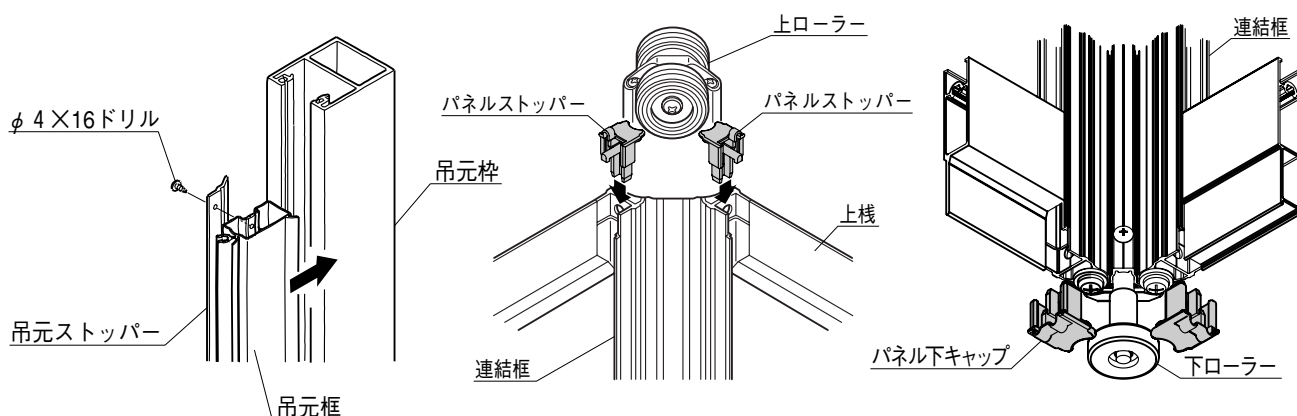
- ネジ止め部が上に来るように取付けてください。

7-2 パネルの吊込み



パネルの上中下3ヶ所に引掛け用ネジの頭が確実にひっかかっていることを確認してください。
引掛け用ネジの頭が完全に引っ掛かっていないと、パネルが脱落したり、破損の恐れがあります。

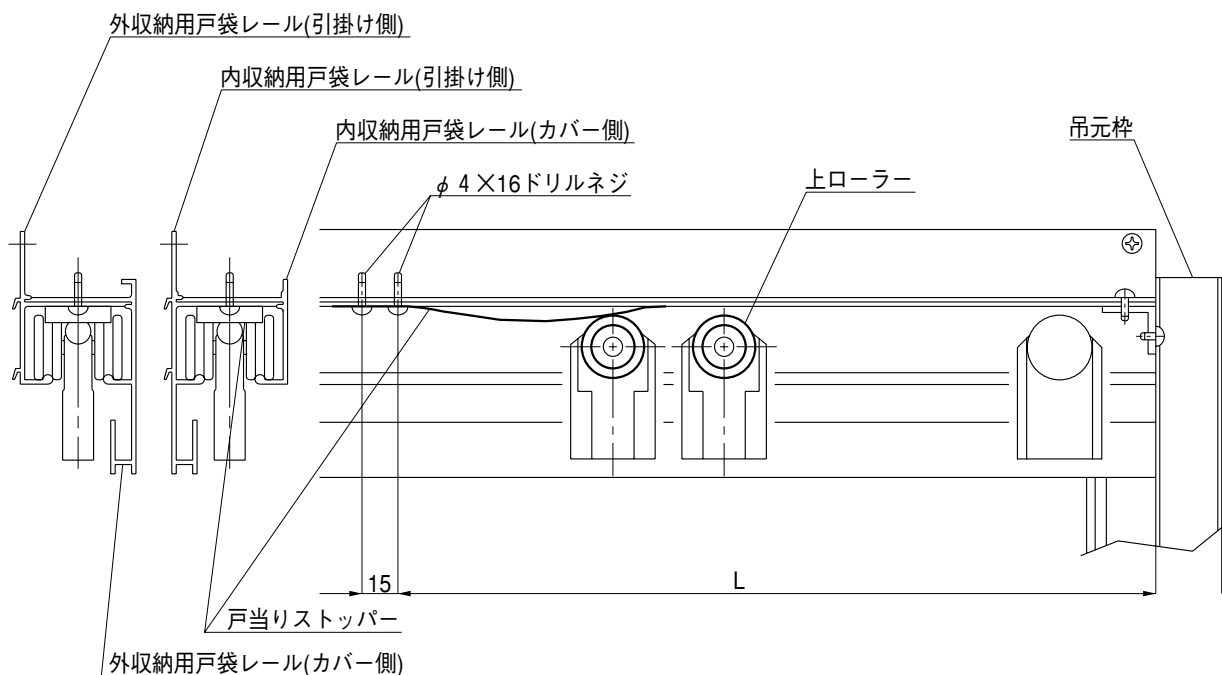
- 戸当り框側より順にパネルセット(必要な枚数)、ロックパネルセットをそれぞれ戸袋部より吊込んでください。
- 吊元框を吊元枠内へ挿入してください。
- 吊元ストッパーを吊元枠内へ挿入および吊元框へ取付けてください。
- パネル抜け止めのためのパネルストッパーを連結框上側へ取付けてください。
パネルストッパーがないと開閉時や地震時にパネルが脱落したり、強風ではずれてケガをする危険があります。
- エッジ保護のため、パネル下キャップを連結框下部へ取付けてください。



- ①パネルセットには、内収納セット、外収納セットがあります。吊込み時に注意してください。
(シール有り)
- ②パネルセットに上下が有ります。吊込み時、シールの指示に従って吊り込んでください。

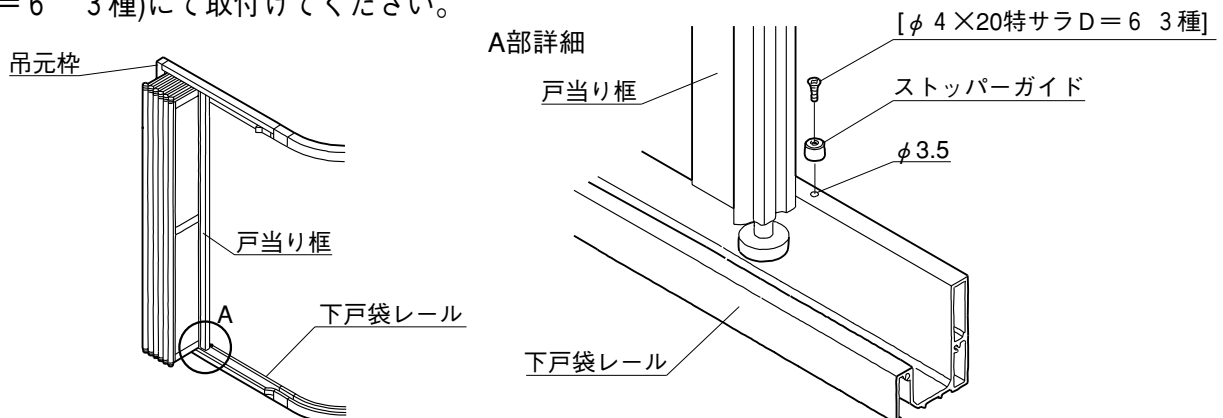
7-3 戸当りストッパーおよびストッパーガイドの取付け

- 上下レールの組付け、全パネルの吊込み後、戸当りストッパーを戸袋レール内に挿入し $\phi 4 \times 16$ ドリルネジにて固定してください。



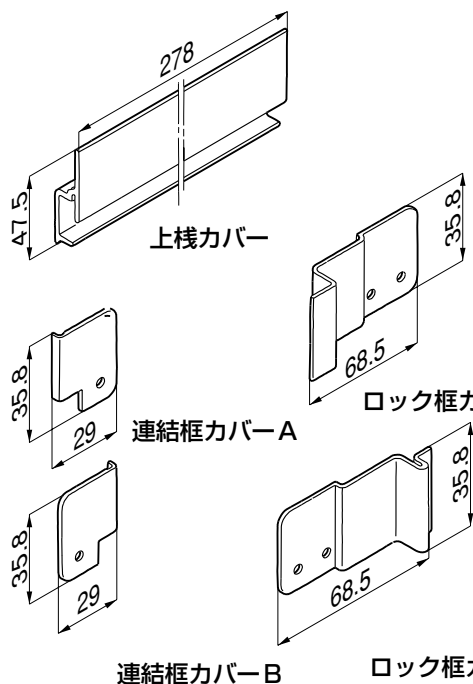
戸袋サイズ	L	備考
パネル10枚用	349	1.5間7尺, 1.5間9尺, 2間7尺
パネル12枚用	391	2.5間7尺, 2間9尺, 2.5間9尺
パネル14枚用	433	3間7尺, 3間9尺

- 図のように戸袋下レールに $\phi 3.5$ の下穴をあけ、ストッパーガイドを同梱されているネジ ($\phi 4 \times 20$ 特サラ D=6 3種) にて取付けてください。



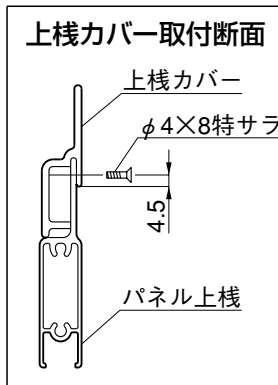
※ [] 印のネジは梱包在中

7-4 パネル上棧への戸袋水切りカバーの取付け(外収納のみ)



①上棧カバーを各パネルに合わせカットし、パネル上棧へ取付けます。

名 称	カット寸法
パ ネ ル セ ッ ト(1)	—
パ ネ ル セ ッ ト(2)	249
パ ネ ル セ ッ ト(3)	227
ロ ッ ク パ ネ ル セ ッ ト(1)	—
ロ ッ ク パ ネ ル セ ッ ト(3)	227



②下の框カバーの納まり図を参考にして、框カバーの穴の上からφ3.5のドリルで取付穴をあけてください。この時、穴は上棧カバーのV溝に合わせてください。

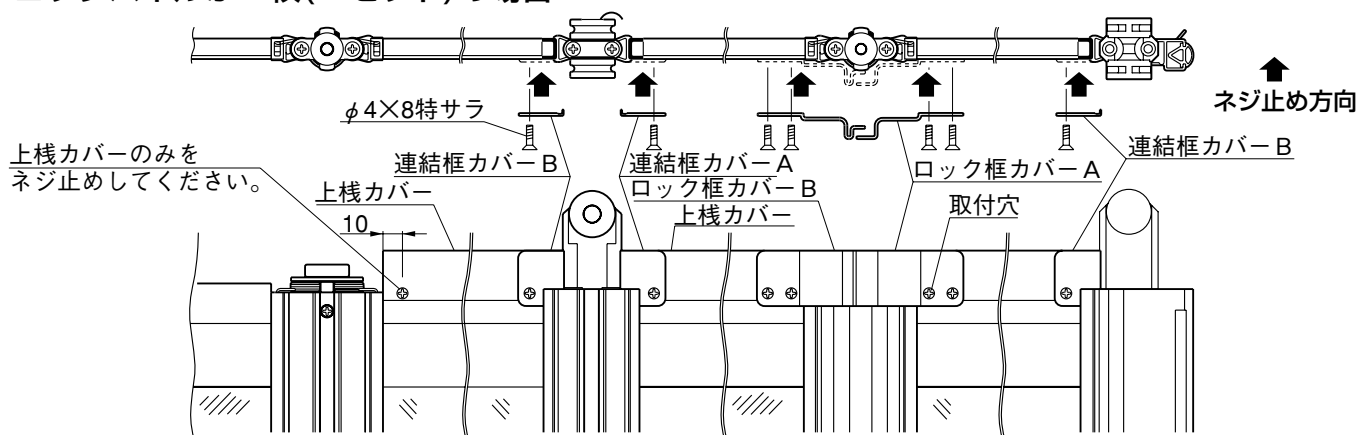
③同梱のネジ(φ4×8特サラD=6 3種)にて取付けてください。

<注 意>

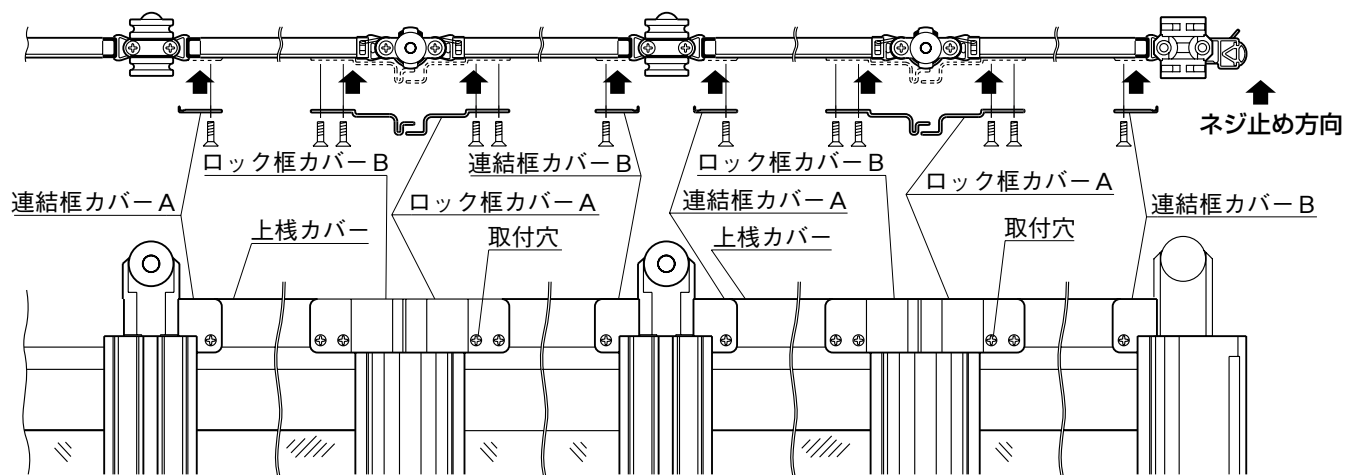
●戸袋水切りカバーは戸袋レール内に納まるパネルおよび框に取付け、雨の吹き込みを防ぐためのものです。

●框カバー納まり図

ロックパネルが2枚(1セット)の場合

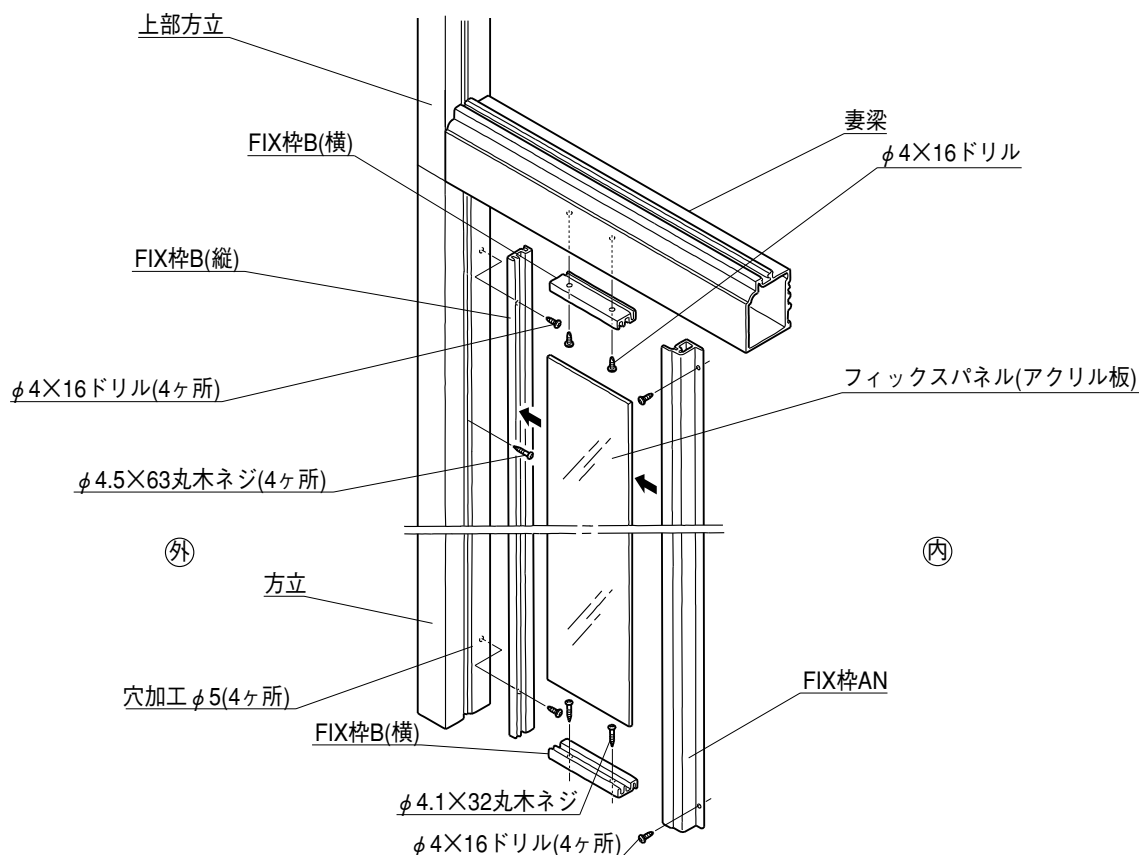


ロックパネルが4枚(2セット)の場合



本図は右を示します(左は対称)

7-5 フィックスパネルの取付け

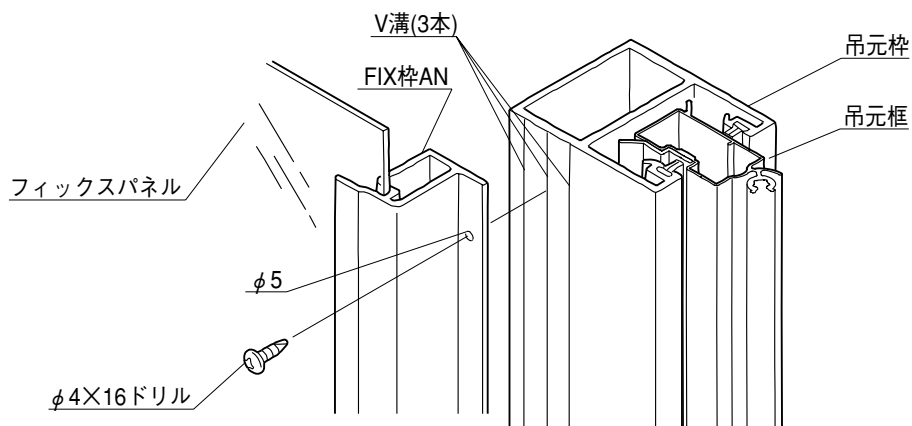


- フィックスパネル、F I X 枠 A N、F I X 枠 B (横)(縦)、方立は吊元枠端と躯体との寸法および高さ方向の寸法に合せてP.50別表を参照し現場にて加工してください。
- 方立を躯体側に取付けてください。
- F I X 枠 B (縦)を方立の内側の面に合せて取付けてください。
- F I X 枠 B (横)妻梁の内側の面に合せて取付けてください。同時に床板部へも取付けてください。
- フィックスパネルを挿入してください。
- フィックスパネルにF I X 枠 A Nを挿入し、吊元枠に固定してください。

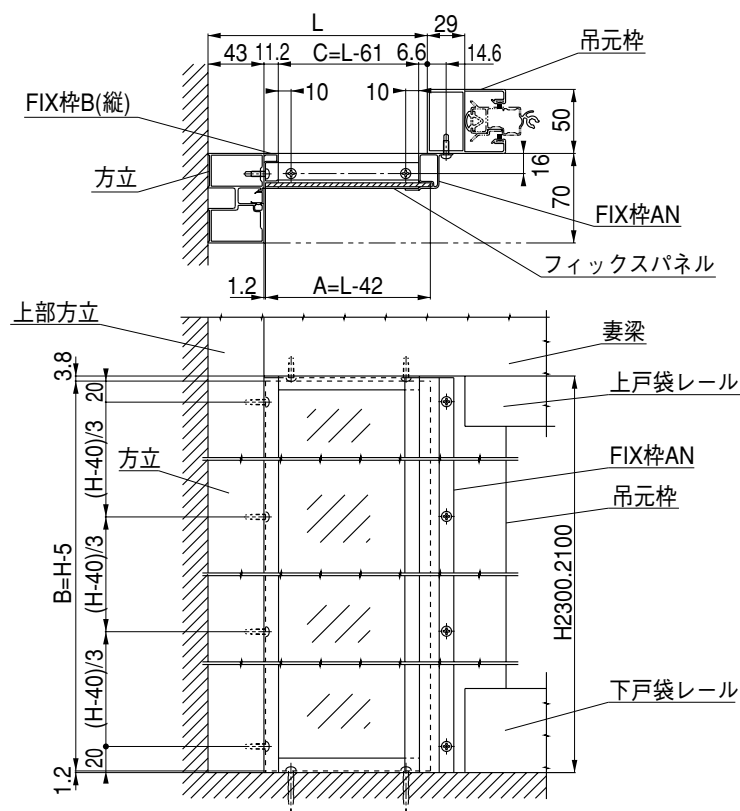
<注 意>

- 3間7尺サイズでは妻梁レールは使用いたしません。
- 方立、F I X 枠 A N、F I X 枠 B (縦)、F I X 枠 B (横)は穴加工されていません。必要に応じて現場にてφ5の穴加工をしてください。

吊元枠へのF I X 枠 A Nの固定は、下図のように吊元枠側面の3本のV溝内に納まる位置で固定してください。V溝よりはずれると折戸パネルの開閉に不具合を生じるおそれがあります。

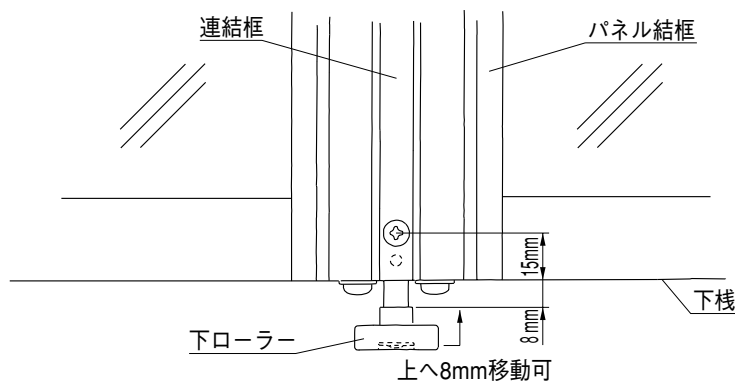


7-5 つづき



H	間口	出幅	L	FIXパネル		FIX枠B(横)
				A	B	
2100 ・ 2300	1.5間	7尺	198	156	2095 (H=2100)	137
		9尺	165	123		103
	2.0間	7尺	166	124		105
		9尺	248	206		187
	2.5間	7尺	142	100	2295 (H=2300)	81
		9尺	236	194		175
	3.0間	7尺	170	128		109
		9尺	308	266		247

7-6 パネルの調整

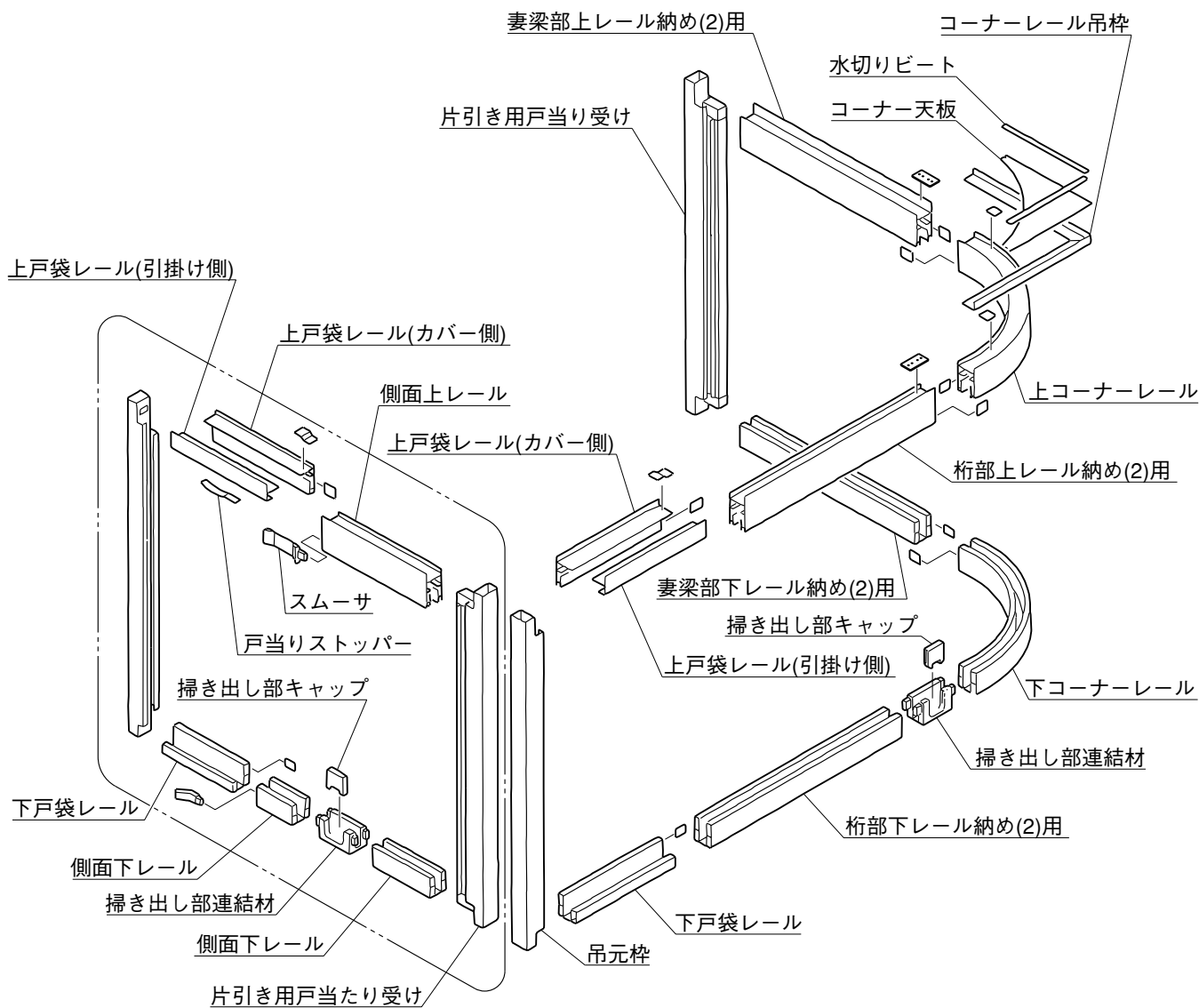


- パネルの下ローラーは2段階の調整式となっています。通常の設置の場合には問題の無いように設定されていますが、様々の条件により、下ローラーが下レール固定ネジと干渉する場合には、ローラーを1段上へ上げてください。ただし、戸袋部でパネルの折りたたみの機能に支障の無い範囲で調整を行ってください。

[illegible]

8 自然浴家族

納め(2)仕様上下レールの施工方法



内、側面部材

側面部材は以下3種類選択できます。

- 自然浴パネル仕様
- F I X 仕様

※本図はパネル左収納、側面自然浴パネル仕様

8-1 妻梁レール納め(2)用・側面レールの加工

妻梁レール納め(2)用、側面レールを以下に従って切断および穴加工を行なってください。

●レールの切断

妻梁レール納め(2)用

間口	L	
	出幅 7 尺	出幅 9 尺
1.5間	1072	1554
2.0間	944	1569
2.5間	1019	1420
3.0間	1072	1388

側面レール(側面自然浴パネル仕様のみ使用)

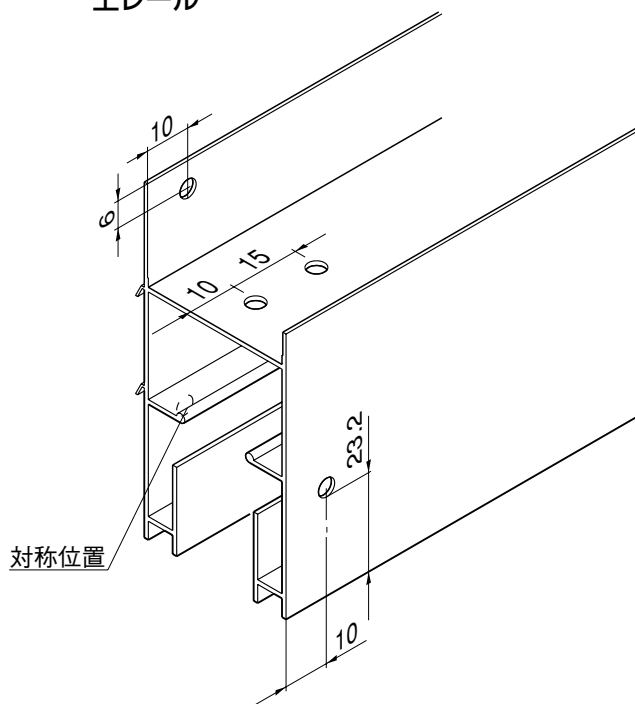
出幅	L		
	上レール	下レール	
		1	2
7 尺	1047	320.5	626.5
9 尺	1353	626.5	626.5

注 1) 側面レール 9 尺の場合切断なし

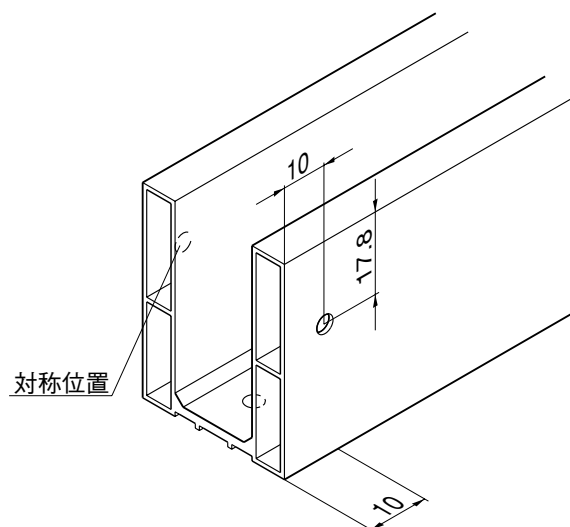
注 2) 妻梁上レール納め(2)用および側面上レールの切断は片引き用戸当り受けと反対側で行なってください。

●レール穴加工

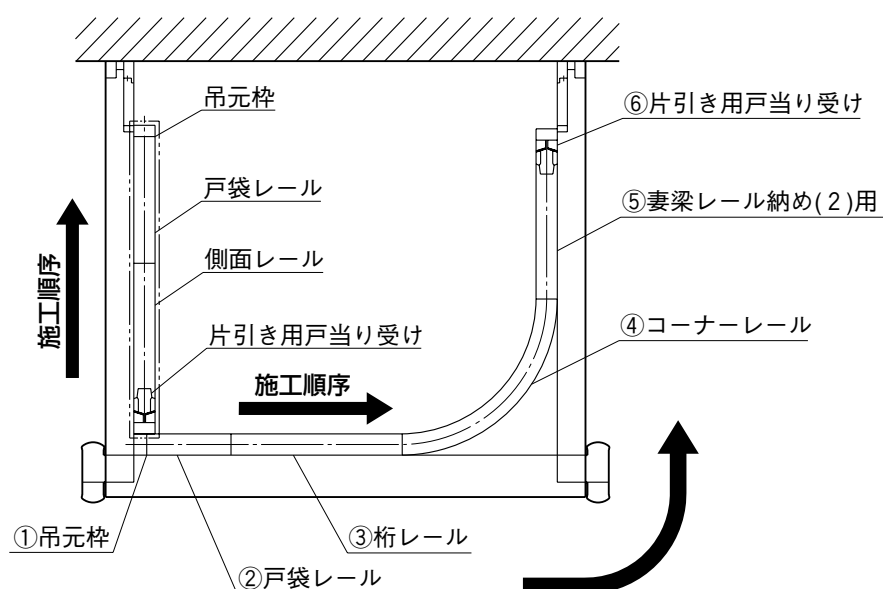
上レール



下レール



8-2 各レールの納まりおよび片引き戸当り受けの取付け



図中の□内は側面選択部材

※本図はパネル左収納・側面自然浴パネル仕様

●左図の納まりを参考にして、パネル左収納は左(右収納は右)よりレールの取付けを行なってください。

※図中番号順(矢印方向)に施工を行なってください。

施工順が違いますと、①の吊元枠と柱の間に隙間が生じることがあります。

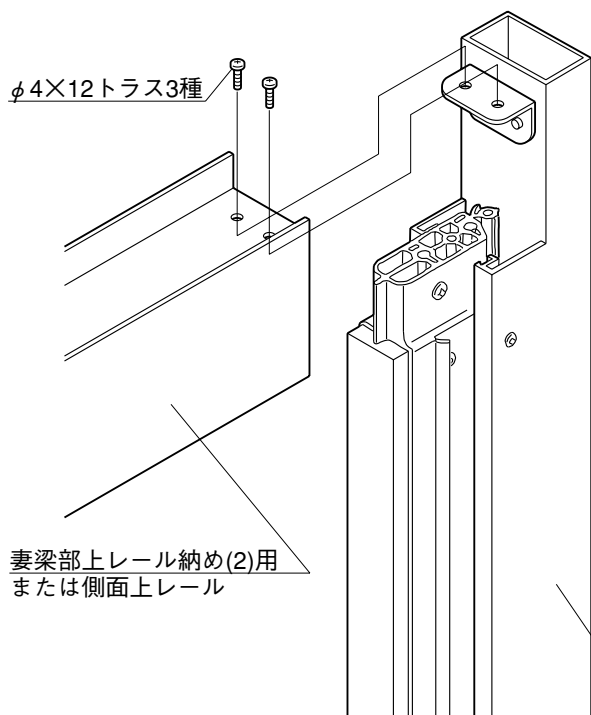
●側面部材の自然浴パネルは片引き戸当り受けより取付けてください。

●片引き戸当り受けの取付け

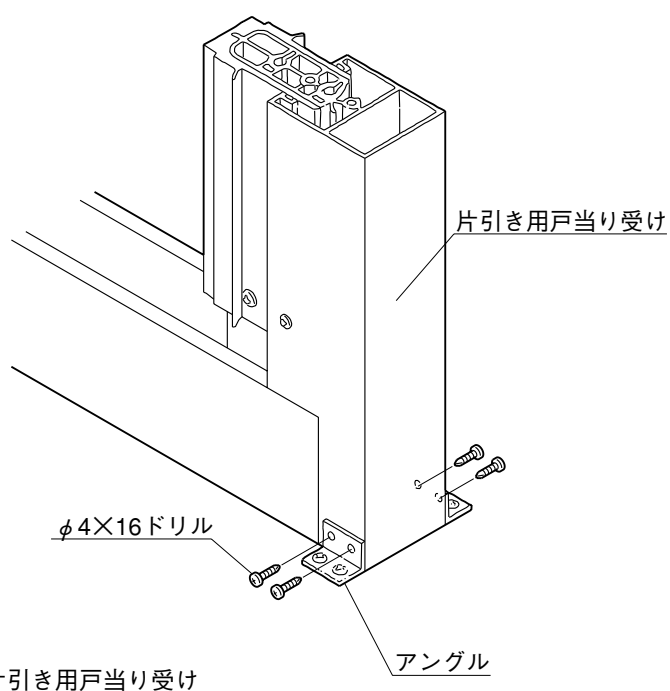
①片引き戸当り受けを以下のように妻梁部上レール納め(2)用に組付けてください。

②片引き戸当り受けを同梱されているアングルで固定します。この時アングルは、図のように側面に、取付けてください。

上レール側



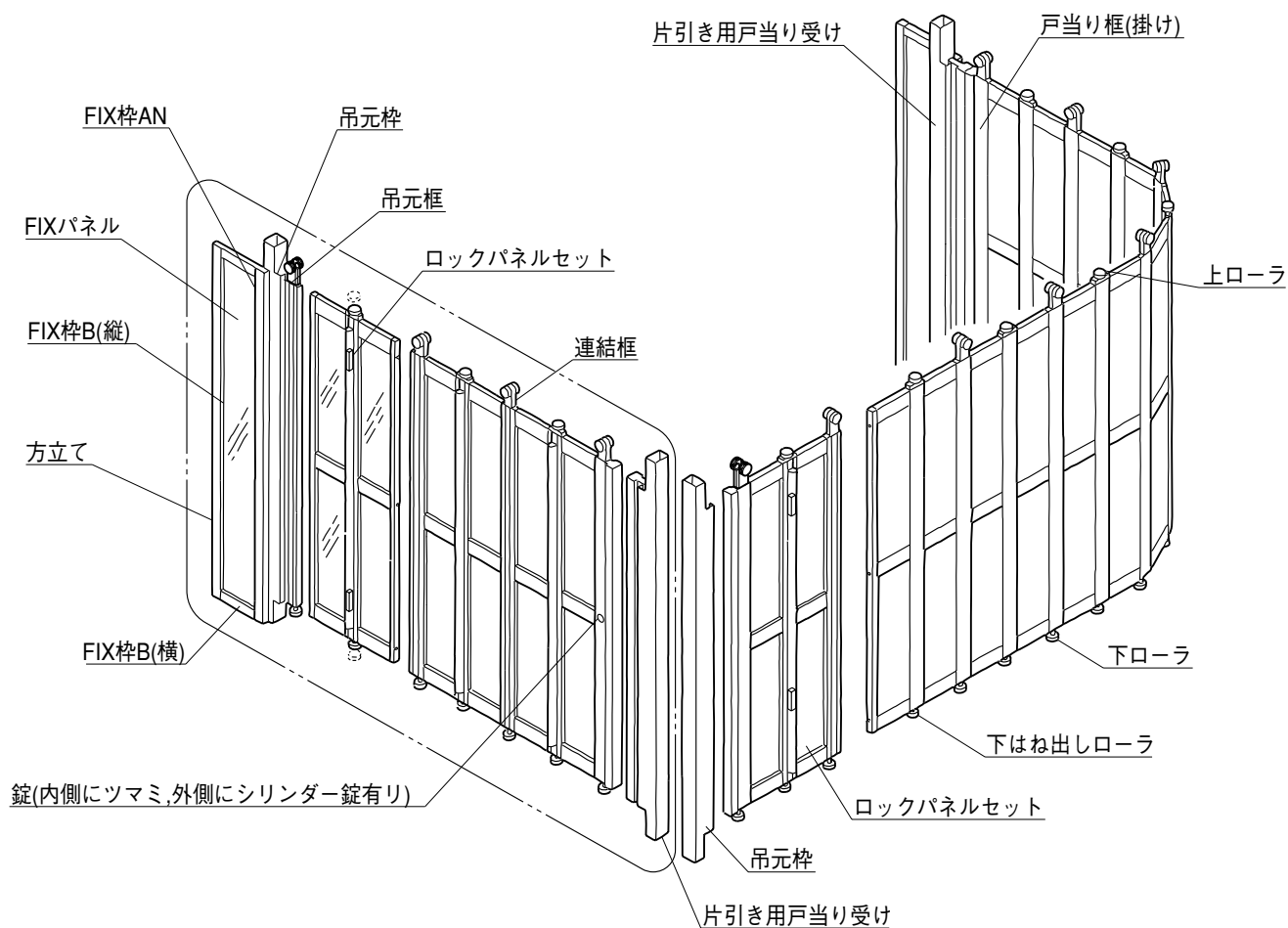
下レール側



各レールの取付詳細は、両開き(P44～50)参照

9 自然浴家族

納め(2)仕様パネルの施工方法



内、側面部材

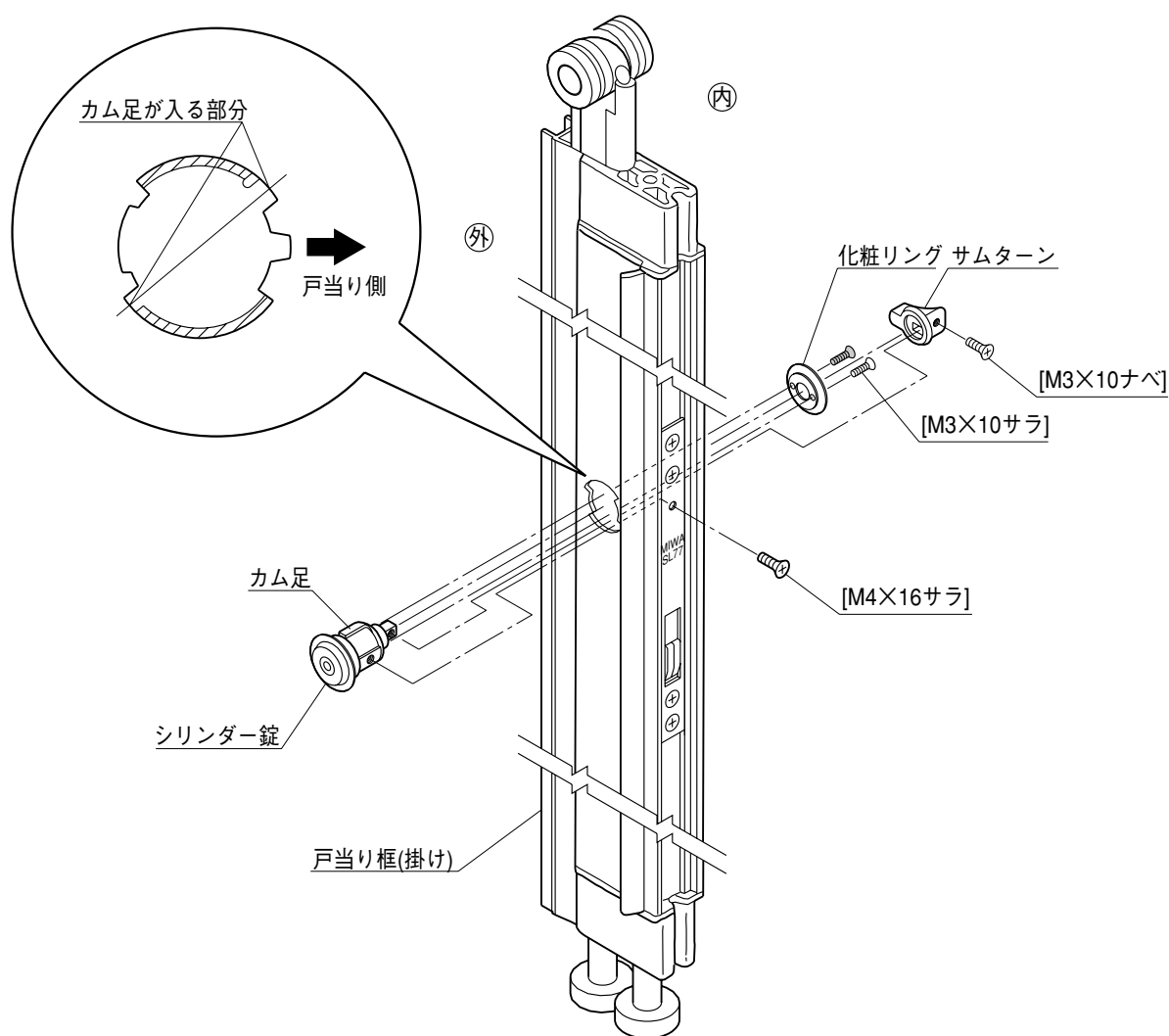
側面部材は以下3種類選択できます。

- 自然浴パネル仕様
- F I X 仕様

※本図はパネル左収納、側面自然浴パネル仕様

9-1 戸当り框への錠の取付け

●戸当り枠(掛け)へシリンダー錠を取付ける場合、シリンダー錠が外側にくるように取付けてください。



※[]印のネジは、梱包在中

①シリンダー錠が外側に来るように框の向きを調整し、框の穴に挿入してください。

注1) シリンダー錠側面にあるネジ穴を戸当り側へ向けてください。

注2) シリンダー錠の挿入部分の形状を框の中の穴形状に合わせてください。

②シリンダー挿入後、框戸当り側からシリンダーをネジ止めしてください。

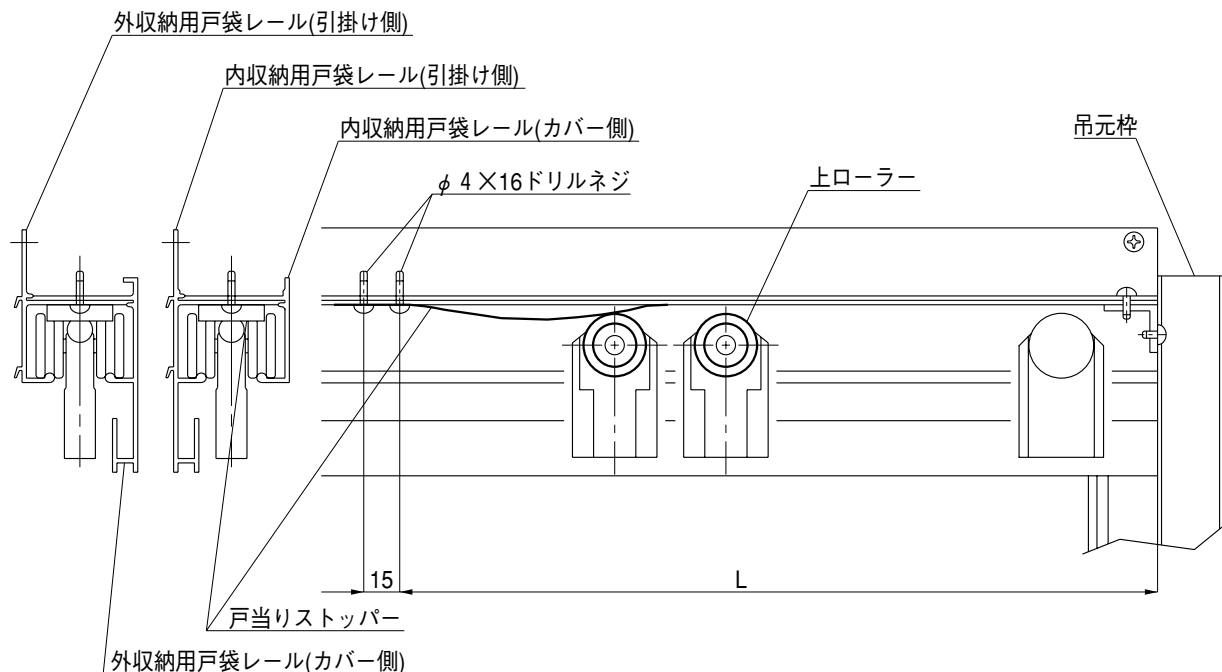
③化粧リングの凸部が表に来るようにはめ込み、ネジ止めしてください。

④サムターンをはめ、ネジ止めしてください。

注) ネジ止め部が上に来るように取付けてください。

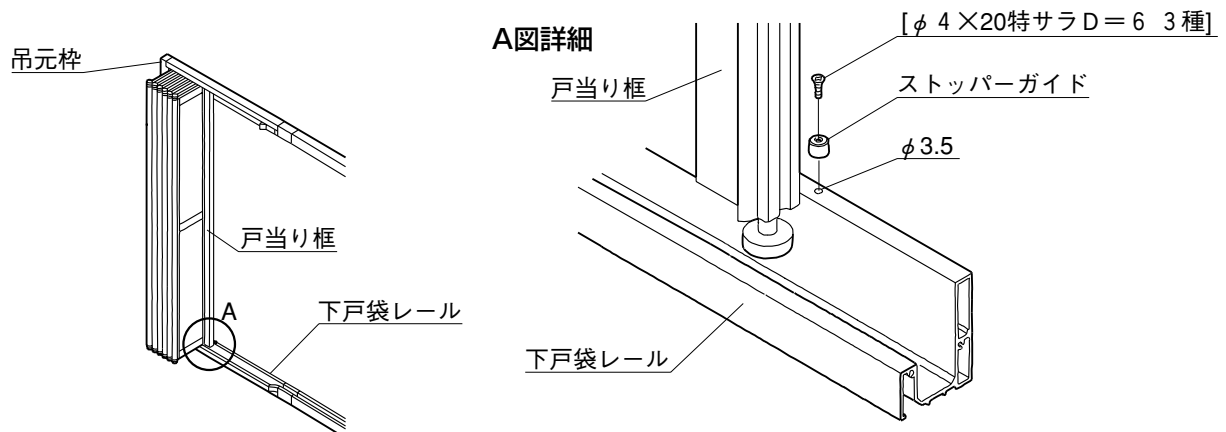
9-2 戸当りストッパーおよびストッパーガイドの取付け

- 上下レールの組付け、全パネルの吊込み後、戸当りストッパーを戸袋レール内に挿入し $\phi 4 \times 16$ ドリルネジにて固定してください。



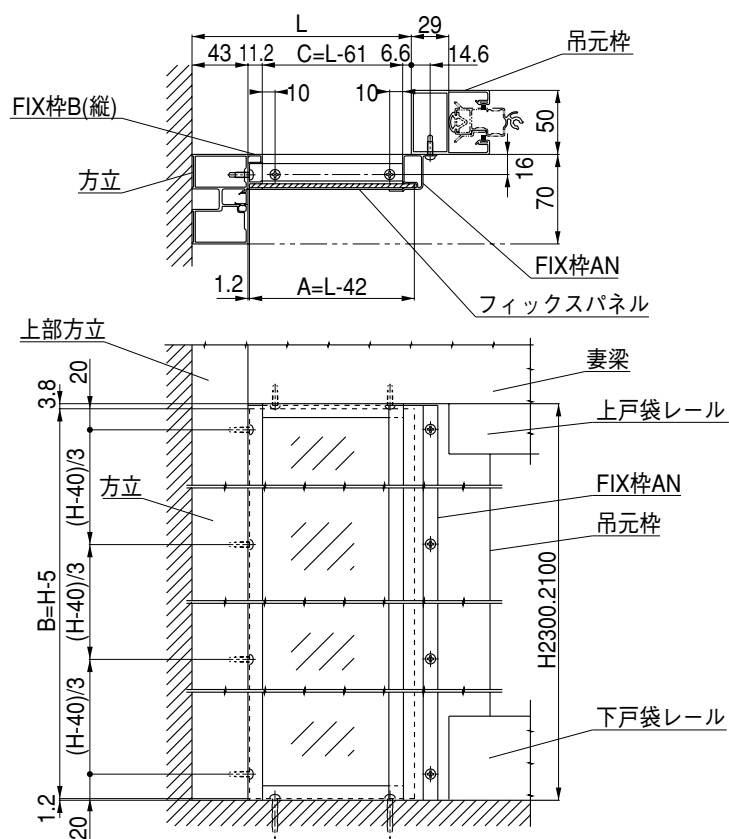
戸袋サイズ	L	備考
パネル6枚用	265	7尺側面, 9尺側面
パネル14枚用	433	1.5間7尺(2), 1.5間9尺(2)
パネル16枚用	475	2間7尺(2)
パネル18枚用	517	2.5間7尺(2), 2間9尺(2), 2.5間9尺(2)
パネル22枚用	601	3間7尺(2)
パネル24枚用	625	3間9尺(2)

- 図の様に戸袋下レールに $\phi 3.5$ の下穴をあけ、ストッパーガイドを同梱されているネジ($\phi 4 \times 20$ 特サラ D=6 3種)にて取付けてください。



※[]印のネジは梱包在中

9-3 フィックスパネルの取付け



●納め(2)仕様

妻梁レール側

H	間口	出幅	L	FIXパネル		FIX棒B(横)
				A	B	
2100 ・ 2300	1.5間	7尺	159	117	2095 (H=2100)	98
		9尺	157	115		96
	2.0間	7尺	287	245		226
		9尺	142	100		81
	2.5間	7尺	212	170	2295 (H=2000)	151
		9尺	291	249		230
	3.0間	7尺	158	116		97
		9尺	323	281		262

側面レール側

H	出幅	L	FIXパネル		FIX棒B(横)
			A	B	
2300	7尺	150	108	2295	89
	9尺	324	282		263
2100	7尺	150	108	2095	89
	9尺	324	282		263

その他、施工方法は両開き(P49)参照

9-4 側面部材すべて F I X の場合の取付け

■70角戸当り柱の取付け

①戸当り柱をH寸法に合わせて切断してください。

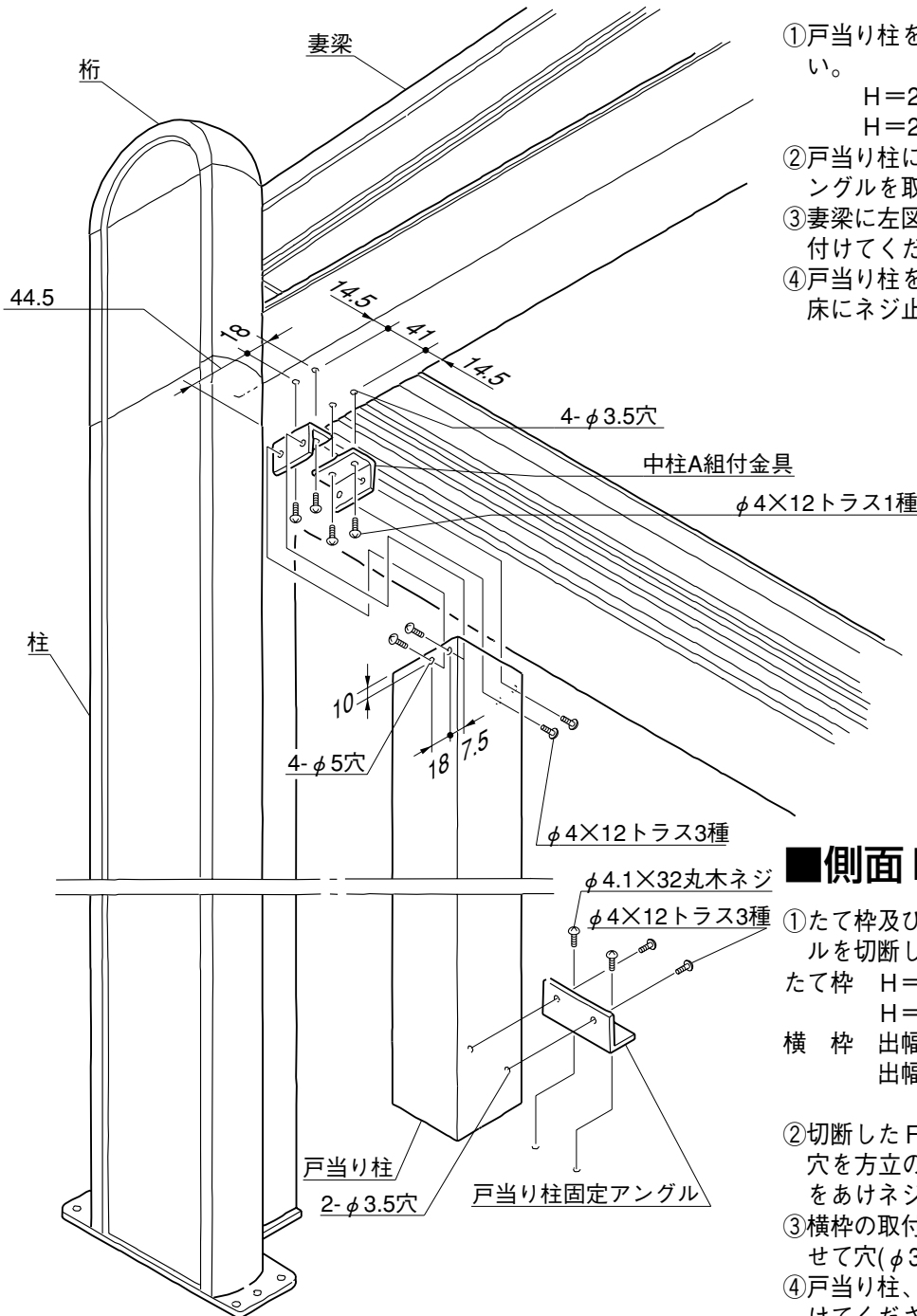
H=2300 切断必要なし

H=2100 リッ=2100

②戸当り柱に左図の加工をして戸当り柱固定アングルを取付けてください。

③妻梁に左図の加工をして中柱A組付金具を取付けてください。

④戸当り柱を挿入しネジ止めし下もアングルを床にネジ止めしてください。



■側面 F I X の取付け

①たて枠及び横枠に使用する F I X 取付アングルを切断してください。

たて枠 H=2300の時切断の必要なし

H=2100 リッ=2100

横 枠 出幅 7 尺の時 リッ=2012

出幅 9 尺の時 リッ=2300

リッ=192

4 本

②切断した F I X 取付アングルのたて枠の取付穴を方立の外側のV溝に合わせて穴(φ3.5)をあけネジ止めしてください。

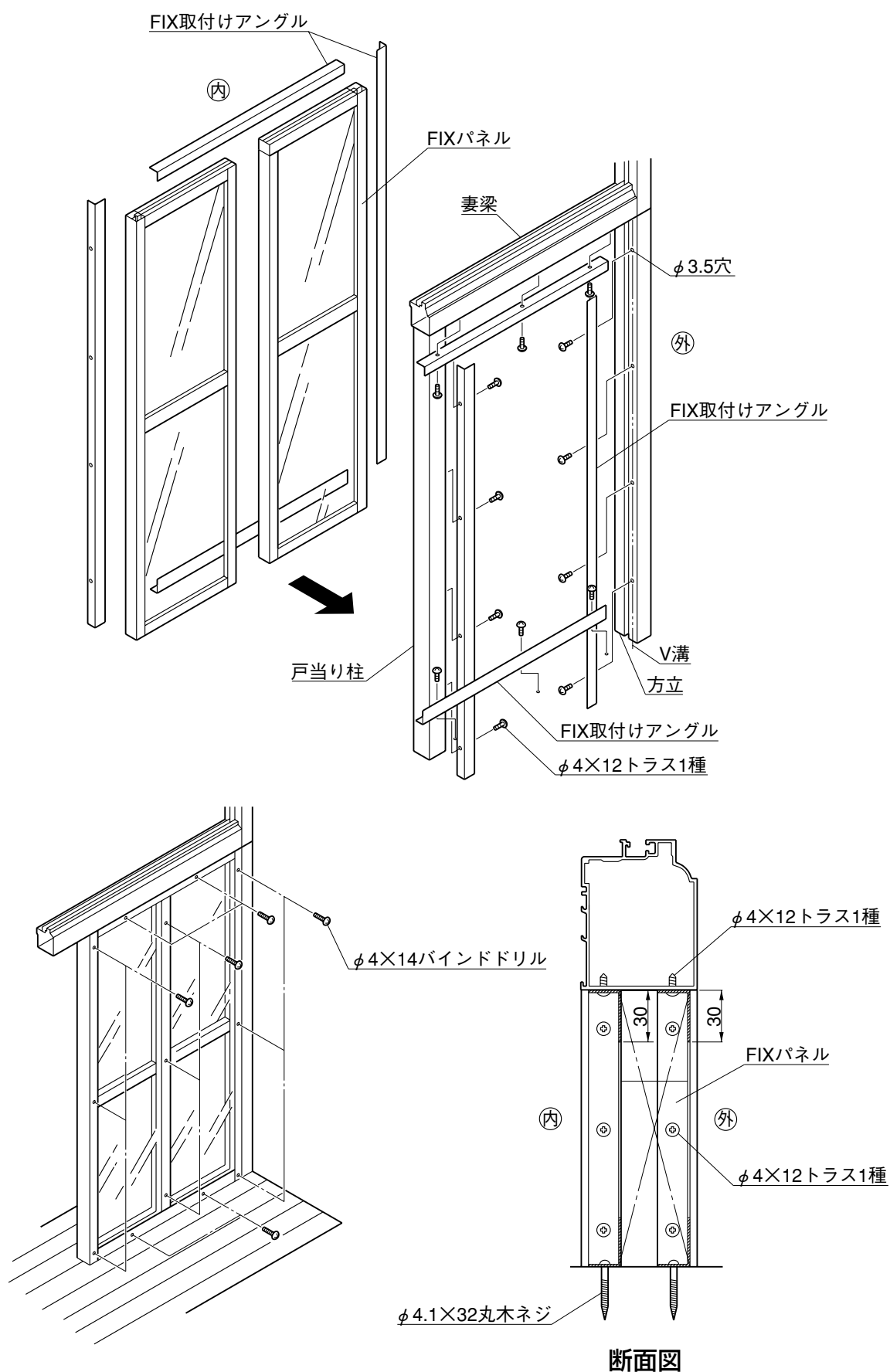
③横枠の取付穴を妻梁の一番外側のV溝に合わせて穴(φ3.5)をあけネジ止めしてください。

④戸当り柱、床にも同じ様に同レベルで取り付けてください。

⑤ F I X パネルをたて込み、 F I X 取付アングルをパネルにあてて方立、妻梁、戸当り柱、床に固定してください。

⑥ F I X パネルと枠、 F I X パネルどうしをネジ止めしてください。

9-4 つづき

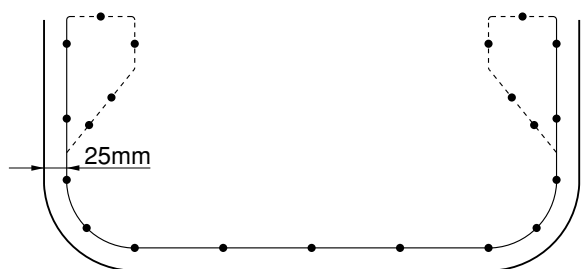


10 自然浴家族

オプションの施工方法

下レール調整金具の 取付け(10ヶ入)

床をテラス仕様にする際、下レールと下地コンクリート面の間を浮かして仮止め施工する場合にご利用下さい。



下レールのマーク線

- ①桁部上レールから下げ振りにより下地コンクリート床面にマーキングしてください。(P.38参照)
- ※2点以上のマークをつけマーク間を線引きしてください。
- ②あらかじめ下レールは組付してセットしておいてください。
- ③下レールの穴位置を床面にマークしてください。
- ④次に下レール調整金具Bと下レール調整金具Aを $\phi 4 \times 10$ トラス3種で仮止めしてください。
- ⑤下レールの穴と下レール調整金具Aの2ヶの穴の内一方を合わせ、調整金具Aの長穴のセンターに印をして $\phi 6$ の穴を下地コンクリートにあけS6フィッシャーを入れてネジで固定してください。
- ⑥最後に調整ネジで高さを調整してください。

($\phi 4 \times 12$ トラス3種)

下レール

下レール調整金具B
(上下の高さ調節)

下レール調整金具A

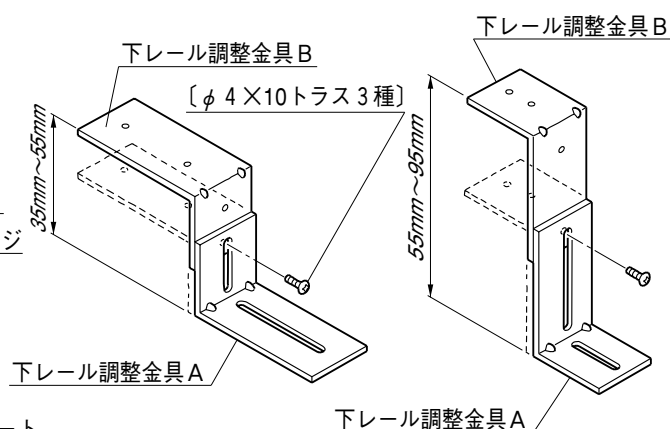
($\phi 4 \times 10$ トラス3種)

$\phi 4.1 \times 45$ サラ木ネジ

S6フィッシャー

下地コンクリート

※下レールの調整金具のA、Bを下図のように、組変えることにより、35mm～95mmの範囲で高さ調整ができます。



メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

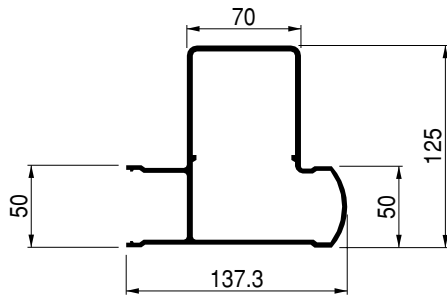
.....

.....

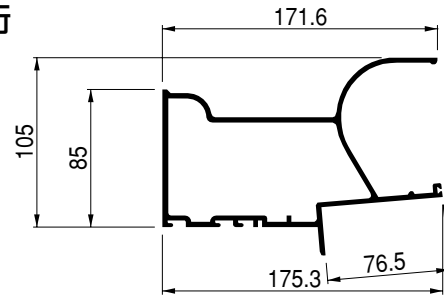
11 自然浴家族

形材一覧表

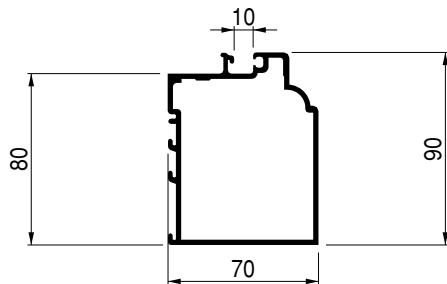
主柱



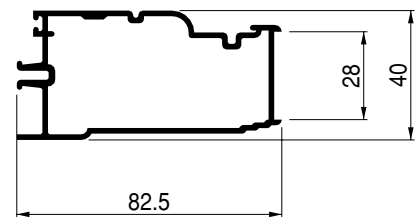
桁



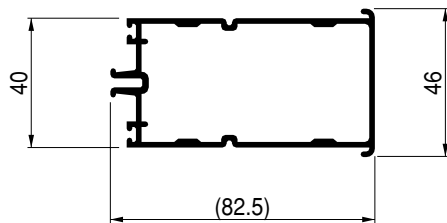
妻梁



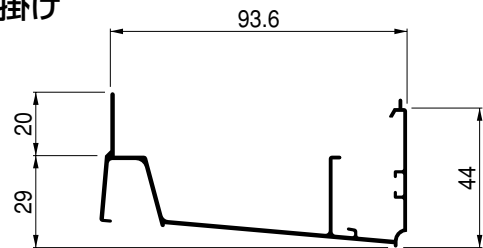
妻垂木



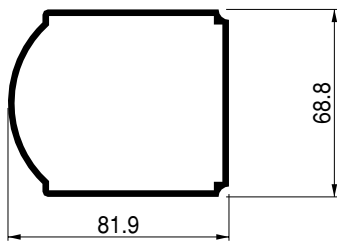
垂木



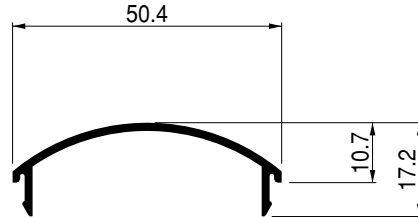
垂木掛け



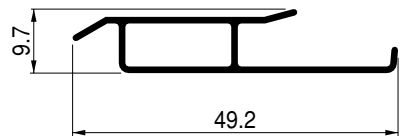
中間柱



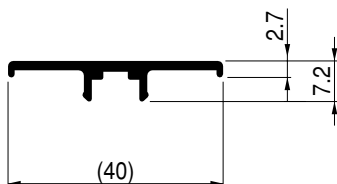
柱カバー



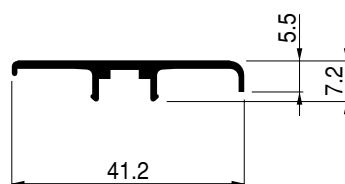
垂木掛け屋根材受け



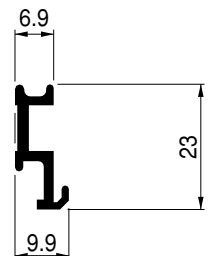
垂木カバー



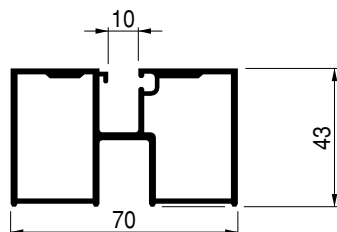
妻垂木カバー



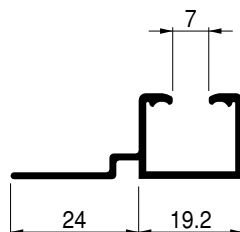
押え縁



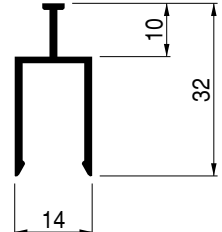
方立



日除けレールA

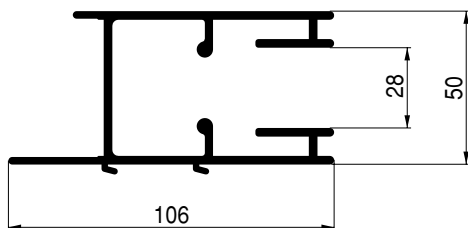


中骨

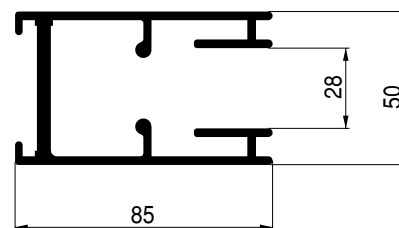


形材一覧表

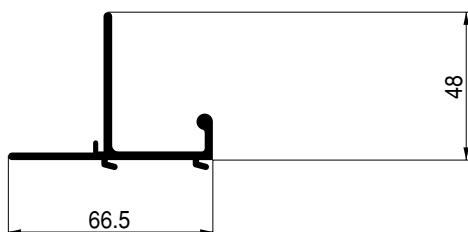
上レールA (直線)



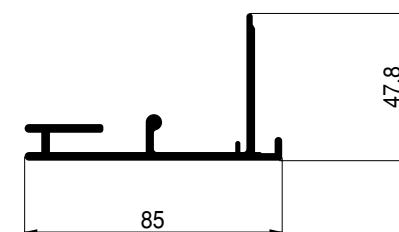
上コーナーレール



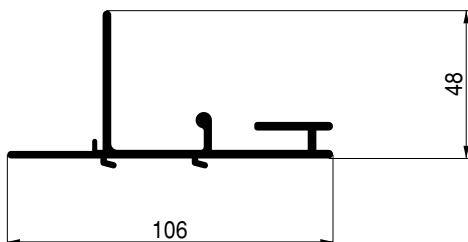
外収納用戸袋レール(引っ掛け側)



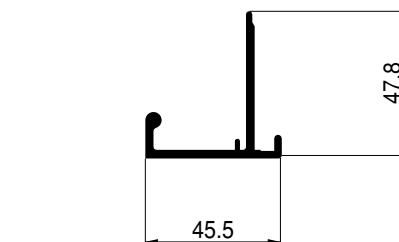
外収納用戸袋レール(カバー側)



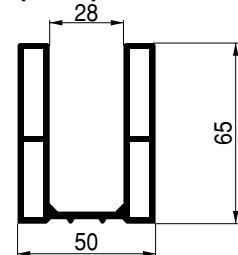
内収納用戸袋レール(引っ掛け側)



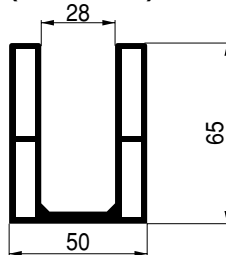
内収納用戸袋レール(カバー側)



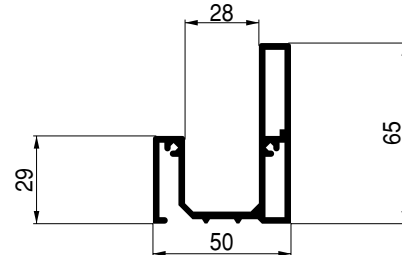
下レール(直線)



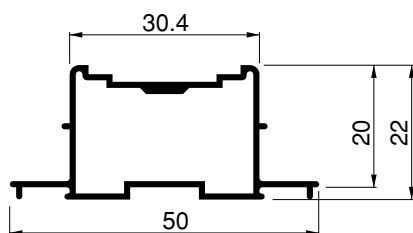
下レール(コーナー)



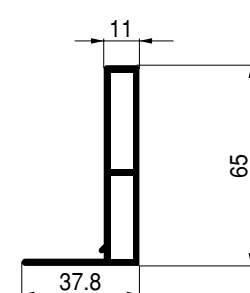
下戸袋レール



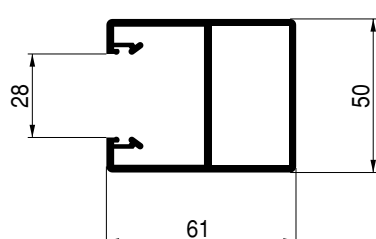
戸当り枠(4尺側面用)



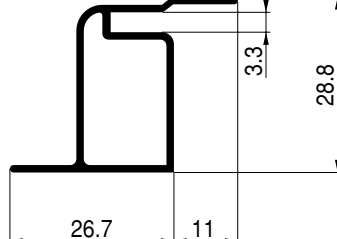
戸袋枠



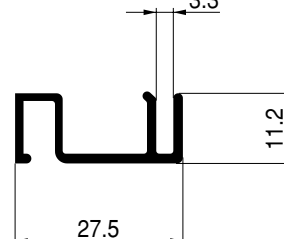
吊元枠



FIX枠AN



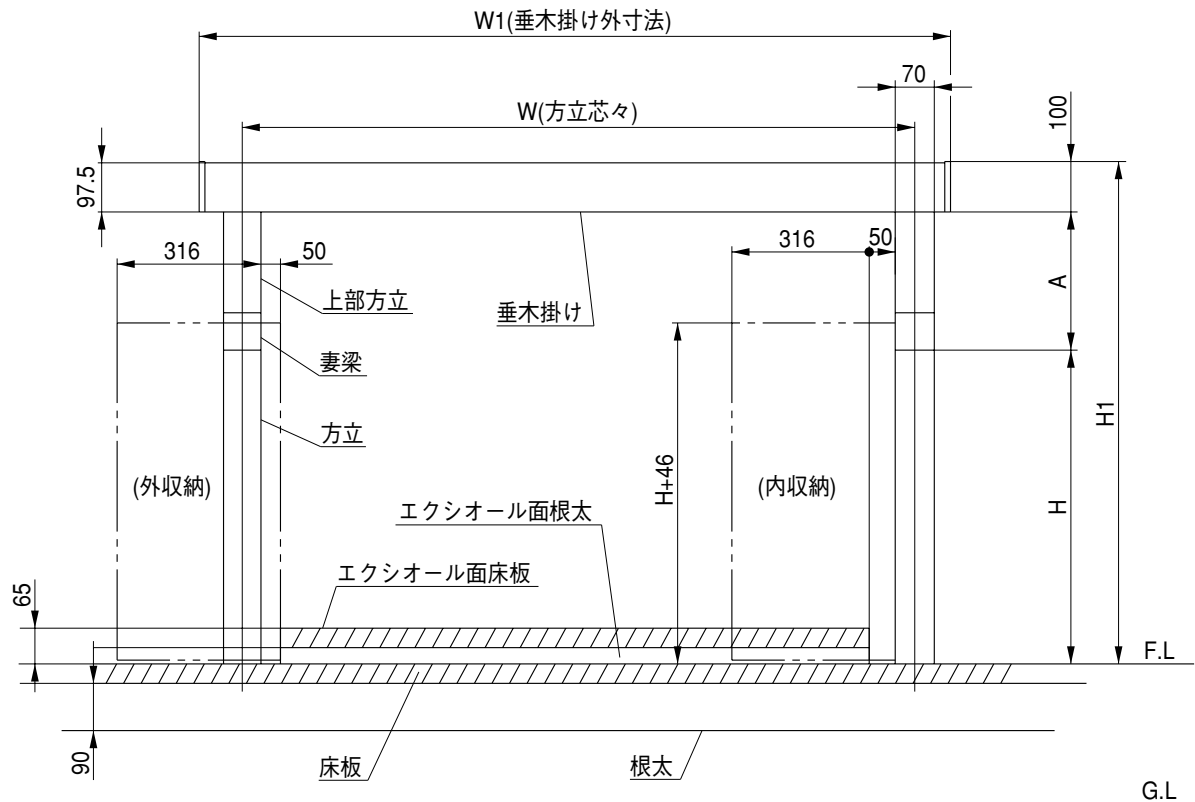
FIX枠B



12 自然浴家族

自然浴家族取付寸法図

出幅 = 7 尺, 9 尺

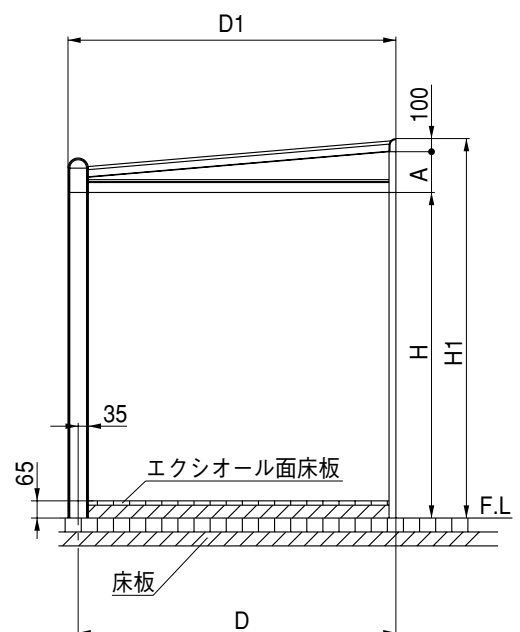


※印で示した部分は折戸パネルの戸袋収納時の寸法を示します。
この部分に干渉するものがある場合は取付けおよび収納方向についてご注意ください。
詳細については、P-66～P-69の断面納まり図および基本図集等を参考にしてください。

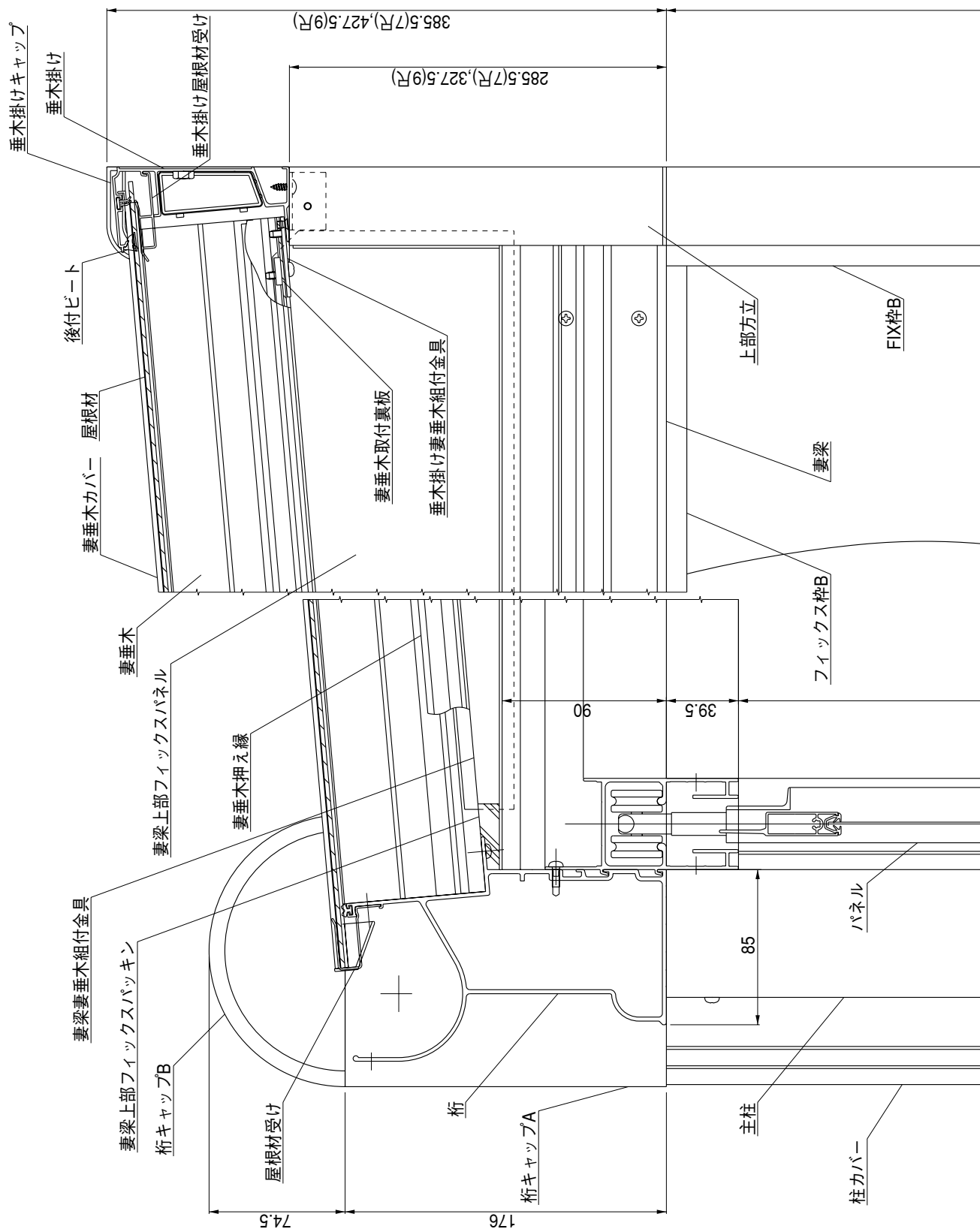
間口	1.5間	2間	2.5間	3間
W	2989	3744.5	4500	6011
W1	3079	3834.5	4590	6101

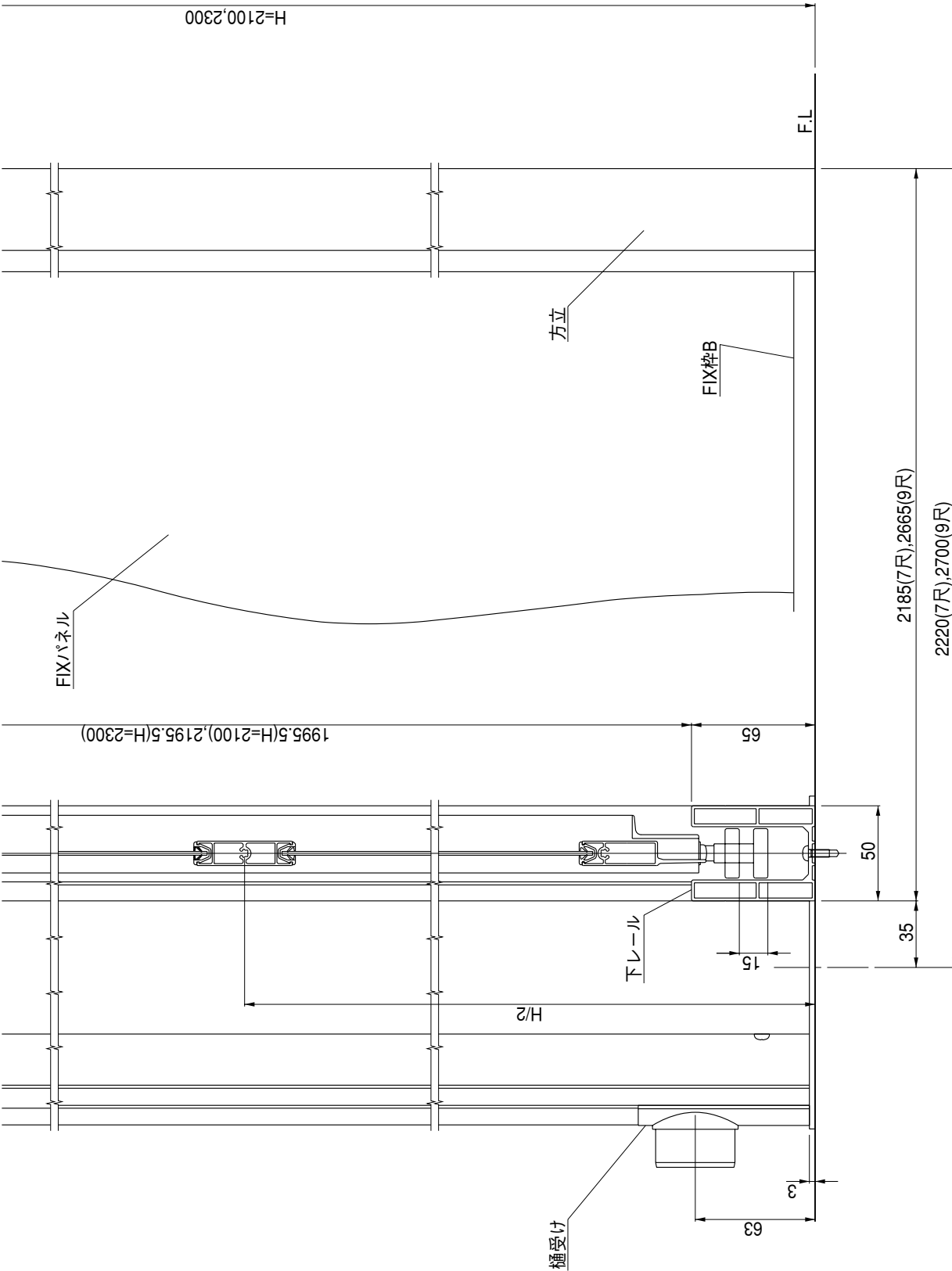
出幅 7 尺の場合				
H	H1	A	D	D1
2300	2685.5	285.5	2220	2303
2100	2485.5			

出幅 9 尺の場合				
H	H1	A	D	D1
2300	2727.5	327.5	2700	2783
2100	2527.5			

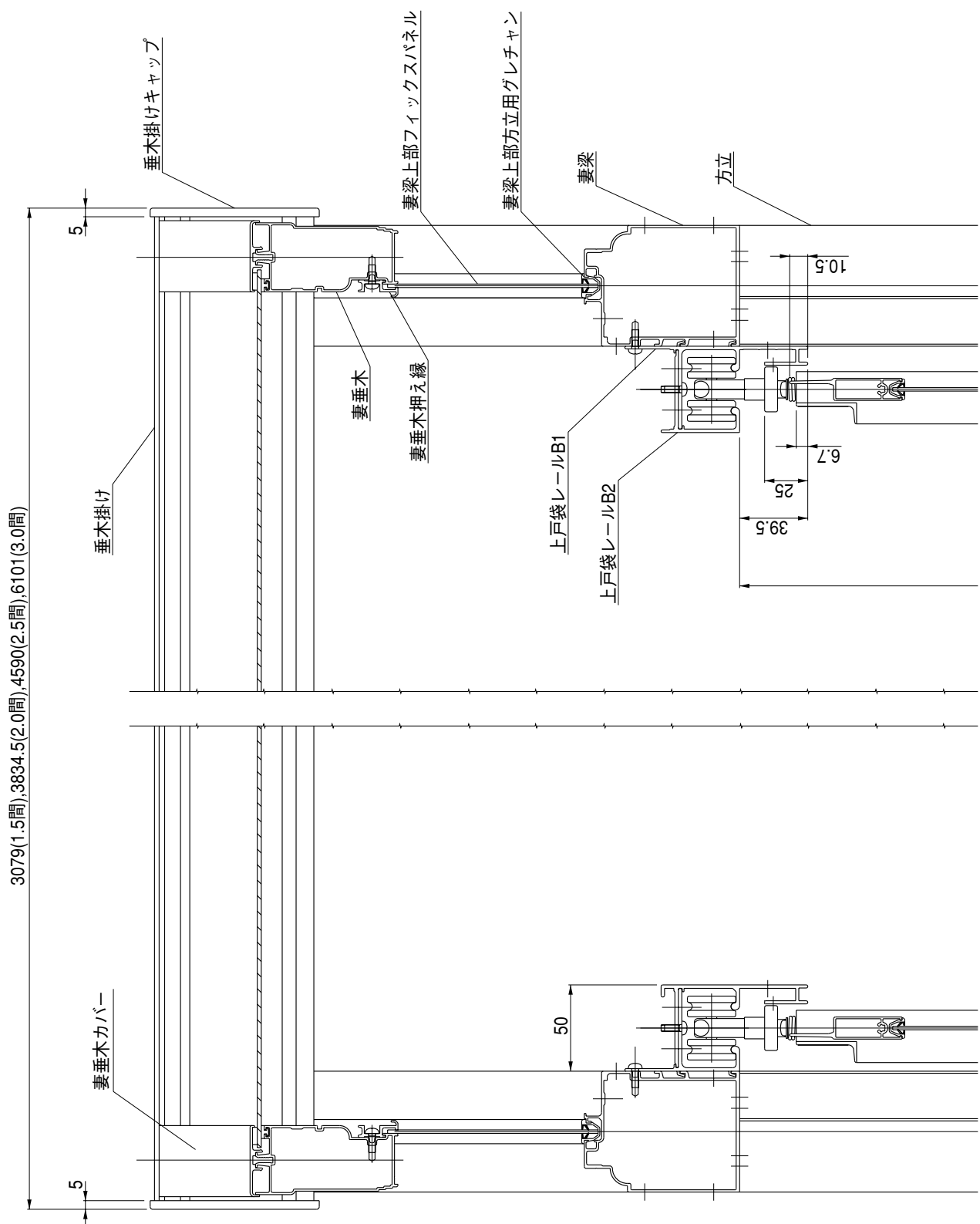


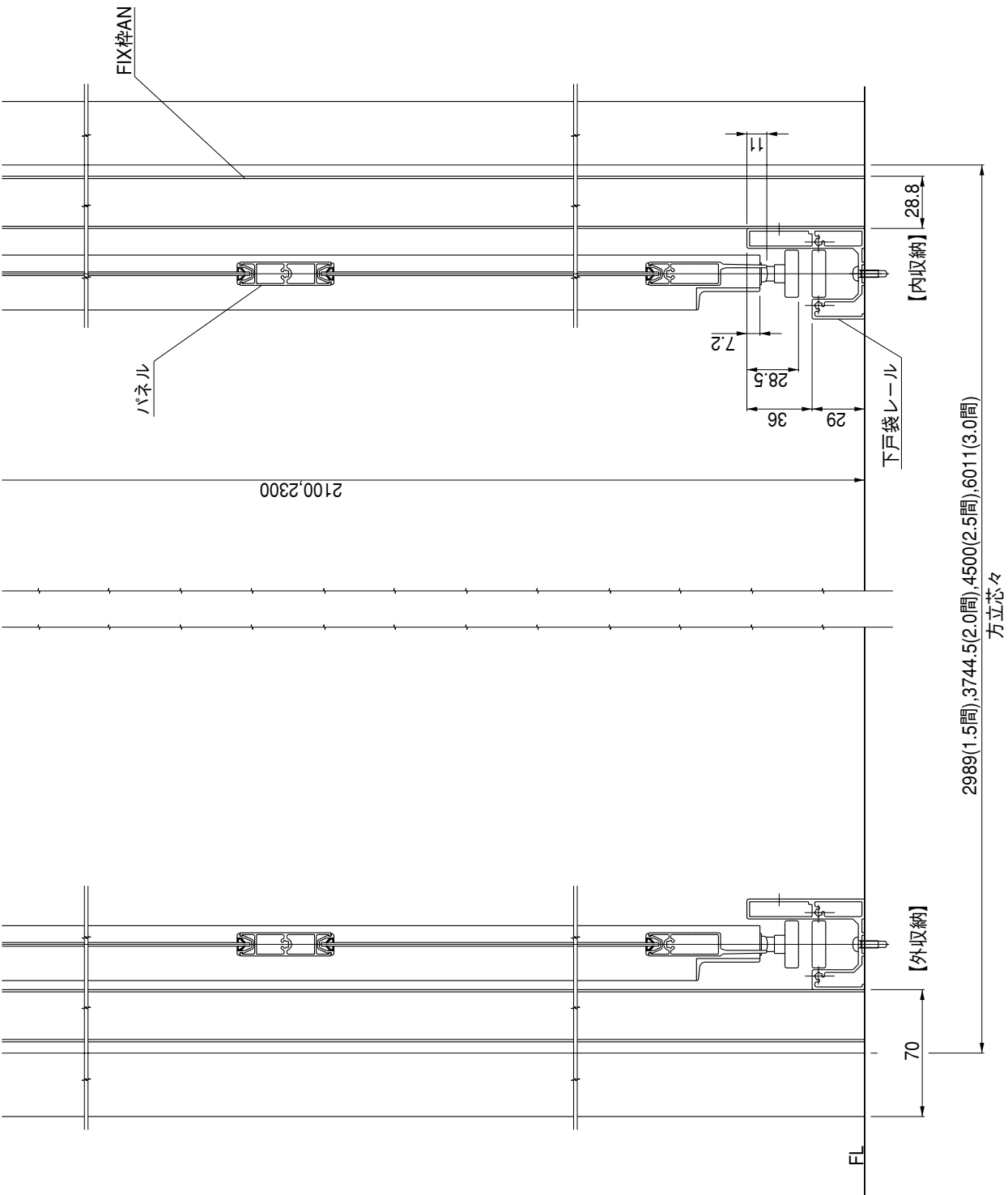
自然浴家族出幅断面納まり図





自然浴家族間口断面納まり図





15 自然浴家族 チェックリスト

15-1 本体関係

チェック項目	チェック欄	参照ページ	発生すると思われる不具合点
(1) 垂木掛けの高さ、水平が正しく設置されているか		22	●パネルの開閉動作の不具合 ●各部材の組付不具合
(2) 上部方立の垂直は正しくとれているか		22	●パネルの開閉動作の不具合 ●各部材の組付不具合
(3) 妻梁、桁、柱の水平、垂直は正しくとれているか		23 24	●パネルの開閉動作の不具合 ●各部材の組付不具合
(4) 妻垂木は桁キャップパッキンを押しつけるように取付けられているか		26	●雨もり
(5) 桁キャップと桁雨樋部とのコーキングは正しく施されているか		27	●雨もり ●裏板の腐食
(6) 屋根材は桁側の屋根材受け金具の先端まで引出されて取付けられているか		29	●雨もり
(7) 垂木カバーは垂木掛けの奥まで(先付ビートに当るまで)挿入して取付けられているか (桁側の垂木カバーの先端が屋根材の先端と合っているか)		29	●雨もり
(8) 妻垂木カバーと桁の組付部へコーキングは正しく施されているか		29	●雨もり

15-2 レール関係

チェック項目	チェック欄	参照ページ	発生すると思われる不具合点
(1) 上レールの天板側連結部に使用のネジは全てφ4×12トラス(D=8)3種を使用しているか		38 42	●パネルの開閉動作の不具合 ●ネジのゆるみ
(2) 上レール、下レールの側板側連結部に使用のネジは全てφ4×8トラス(D=8)3種を使用しているか (レール内側壁が飛び出す)		38 42	●パネルの開閉動作の不具合
(3) 上戸袋レール部にスムーサ、下戸袋レール部にパネルガイドA又はBは正しく取付けられているか		40 42	●パネルの開閉動作の不具合 ●パネルの破損
(4) 戸当りストッパーは正しく取付けられているか		47 57	●パネルの開閉動作の不具合 パネルの破損 ●スムーサの破損
(5) 上レール、下レールそれぞれの連結部は内側壁が段差無く連結されているか		38 41	●パネルの開閉動作の不具合
(6) 上コーナーレール、下コーナーレールは正しく取付けられているか		38 40	●パネルの開閉動作の不具合 ●パネル上下棧のレール面への強い接触 (パネル開閉が重くなる、異音発生、などが でます。)

15-3 パネル関係

チェック項目	チェック欄	参照ページ	発生すると思われる不具合点
(1) 折戸パネルの上中下3ヶ所の引掛け嵌合部は確実にセットされているか		46	●パネル連結框の破損 ●パネル開閉動作の不具合
(2) 折戸パネルの上下方向は正しくセットされているか (連結框端にバネのある方が上部となる。)		46	●パネル開閉の不具合 ●バネの破損
(3) 折戸パネル抜け防止のためにパネルストッパーは全て取付けられているか		46	●折戸パネルの抜けおよび連結框の破損
(4) 折戸パネルの全閉、全開はスムーズに行なえるか 重い、異音、ひっかかり等の異常はないか		46 47	●パネルの破損
(5) 折戸パネルの内収納、外収納は正しくセットされているか		46	●折戸パネルの開閉不可 ●折戸パネルの破損
(6) フィックスパネル枠（AN）の吊元枠への固定は吊元枠側面のV溝（3本）の間にネジ止めされているか		49	●折戸パネルの開閉不具合 ●吊元枠の破損
(7) 錠は正しく取付けられているか		45 56	●パネルの施錠・解錠の不具合



工事店様へ

- 仕上後、本体についているモルタルを完全に拭き取ってください。
硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。
- みだりに改造、変更はしないでください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。
- ご使用いただきましてありがとうございました。

施主様へ

- 月に一度程度のお手入れで美しさが長く保てます。汚れの軽い場合は水にぬらした柔らかいぞうきんで拭き取ってください。
また汚れのひどい場合はうすめた中性洗剤で拭き取ったのち洗剤が残らないように拭き取ってください。

取説コード

E028

LGE816623M

ID-D①

200810M_1039